



# TR-4951: AWS FSx ONTAP上の Microsoft SQL Server のバックアップとリカバリ

## NetApp database solutions

NetApp  
August 18, 2025

# 目次

|  |    |
|--|----|
| TR-4951: AWS FSx ONTAP上の Microsoft SQL Server のバックアップとリカバリ ..... | 1  |
| SnapCenter の構成 .....   | 1  |
| SnapCenterの新しくインストールされたユーザーインターフェイス .....                        | 1  |
| バックアップポリシーを構成する .....  | 10 |
| MSSQL Serverデータベースの構成と保護 .....                                   | 17 |
| SnapCenterバックアップ操作 .....   | 19 |
| バックアップジョブを監視する .....   | 20 |
| 複数のデータベースのバックアップ操作 .....   | 21 |
| 複数の SQL Server データベースを構成および保護する .....                            | 30 |
| 複数の SQL Server データベースのオンデマンド バックアップをトリガーする .....                 | 33 |
| 複数のデータベースのバックアップジョブを監視する .....                                   | 35 |
| 複数のデータベースのバックアップのためのトランザクション ログ バックアップ .....                     | 36 |
| 複数の MSSQL Server データベースを構成および保護する .....                          | 42 |
| 複数の SQL Server データベースのオンデマンド トランザクション ログ バックアップをトリガーする ..        | 45 |
| 監視 .....   | 47 |
| リストアとリカバリ .....  | 47 |
| SQL Server データベース上の削除されたテーブルを特定の時点に復元する .....                    | 48 |
| 復元の進行状況の監視 .....   | 53 |
| 詳細情報の入手方法 .....  | 55 |

# TR-4951: AWS FSx ONTAP上の Microsoft SQL Server のバックアップとリカバリ

このドキュメントでは、SnapCenterを使用してAWS FSx ONTAP上のMicrosoft SQL Serverのバックアップとリカバリを実行するために必要な手順について説明します。これには次の情報が含まれます。

- NetApp SnapCenter の構成
- SnapCenterバックアップ操作
- FCI データベースのバックアップ操作
- 複数のデータベースのバックアップ操作
- リストアとリカバリ

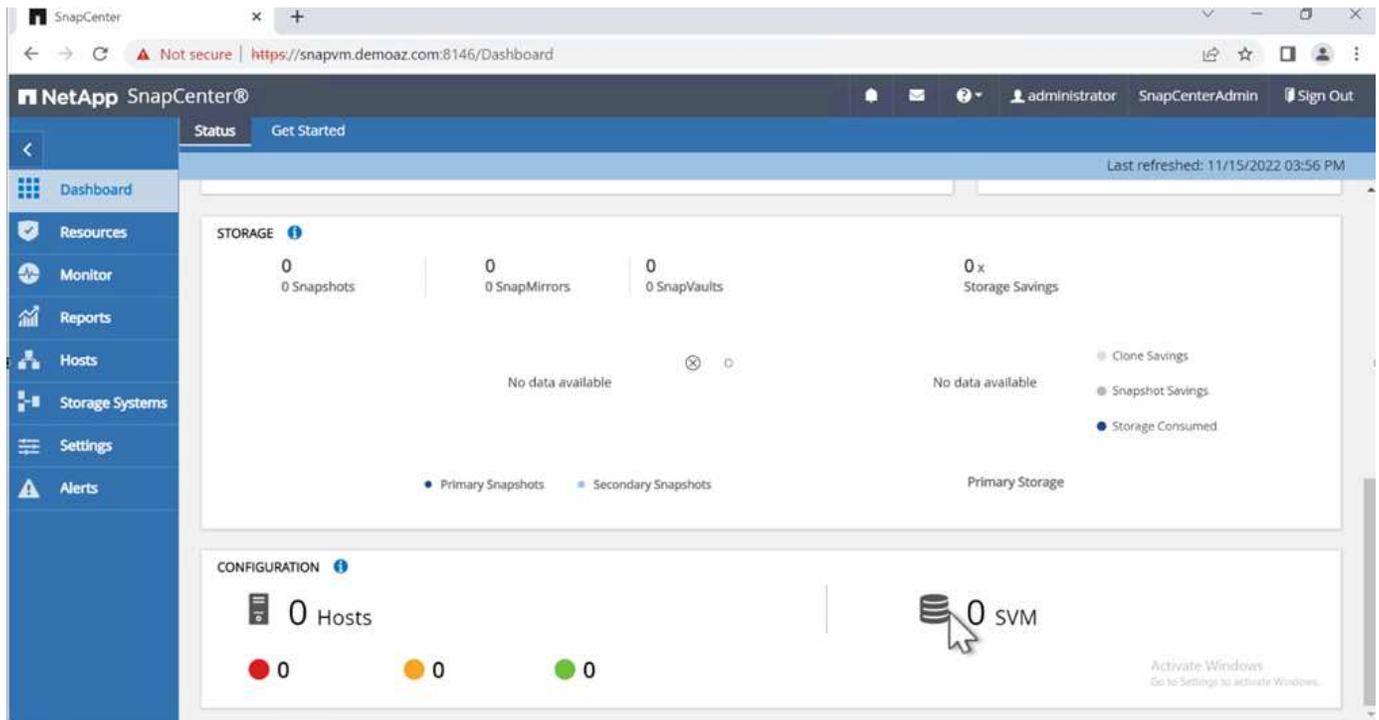
## SnapCenter の構成

SnapCenter の構成と Microsoft SQL Server リソースの保護のために、次の手順を実行する必要があります。以下の各ステップについては、以降のセクションで詳しく説明します。

1. SQL Server のバックアップおよび復元ユーザーの sysadmin 資格情報を構成します。
2. ストレージ設定を構成します。SnapCenterからAmazon FSx ONTAPストレージ仮想マシン (SVM) にアクセスするための Amazon Web Services (AWS) 管理認証情報を提供します。
3. SQL Server ホストをSnapCenterに追加します。必要なSnapCenterプラグインを展開してインストールします。
4. ポリシーを構成します。バックアップ操作の種類、保持期間、およびオプションのスナップショットバックアップのレプリケーションを定義します。
5. Microsoft SQL Server データベースを構成して保護します。

## SnapCenterの新しくインストールされたユーザーインターフェイス

SQL Server バックアップの資格情報を設定し、sysadmin 権限を持つユーザーを復元します。

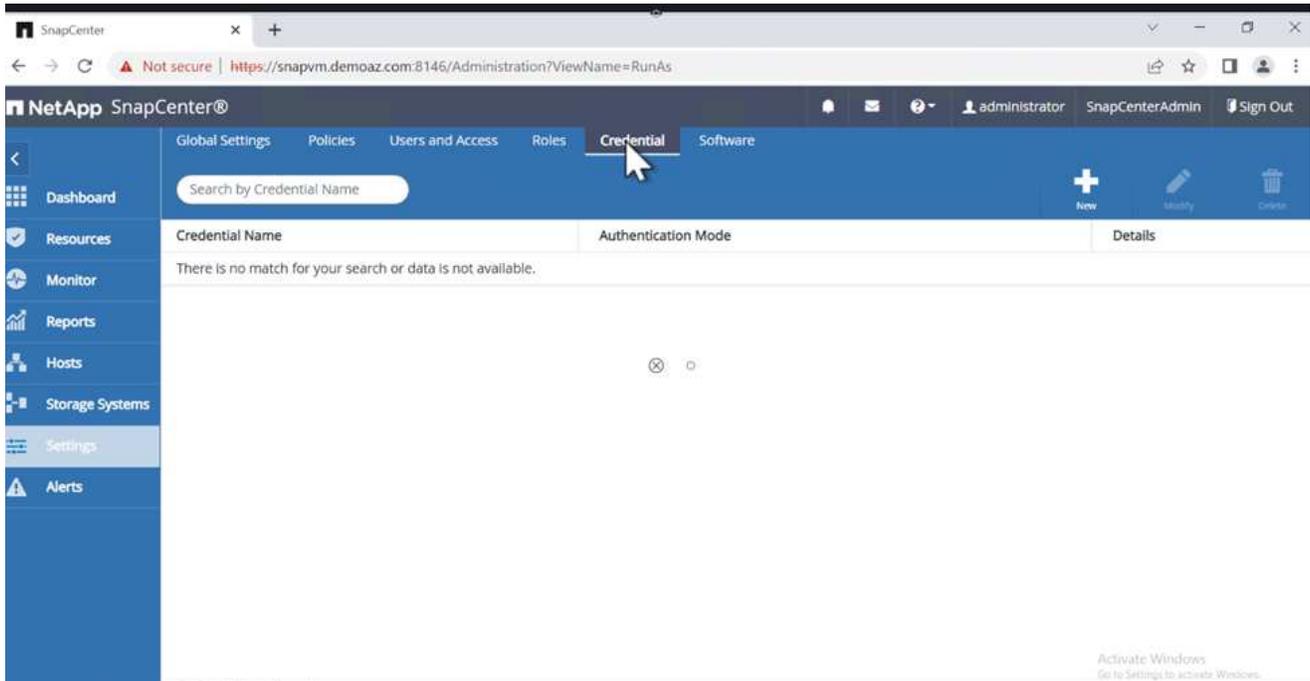


NetApp、ロールベースのアクセス制御 (RBAC) を使用して、SnapCenterおよび Windows ホスト全体の個々のユーザーにデータ保護および管理機能を委任することを推奨しています。ユーザーは、データベースをホストしている SQL Server にアクセスできる必要があります。ホストが複数ある場合、ユーザー名とパスワードは各ホスト間で同じである必要があります。さらに、SnapCenter が SQL Server ホストに必要なプラグインを展開できるようにするには、資格情報とホストを検証するための SnapCenter のドメイン情報を登録する必要があります。

次のセクションを展開すると、各ステップを完了する方法の詳細な手順が表示されます。

資格情報を追加する

設定 に移動し、資格情報 を選択して、(+) をクリックします。



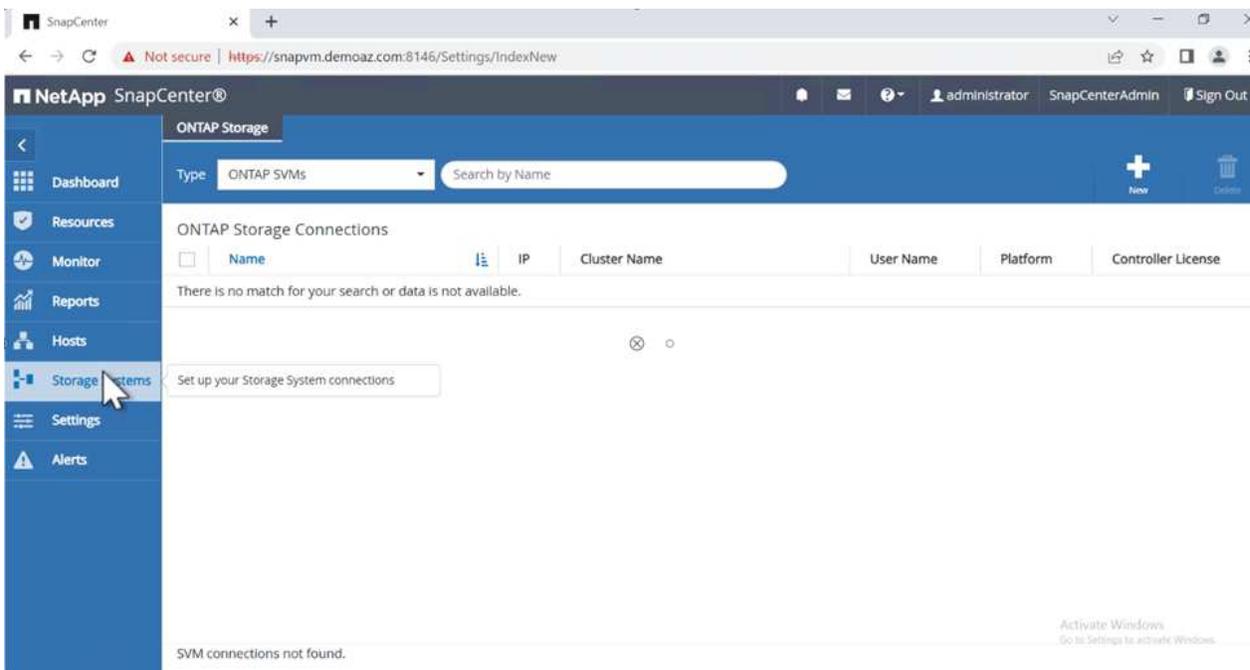
新しいユーザーには、SQL Server ホストに対する管理者権限が必要です。

A screenshot of the 'Credential' dialog box. It has a title bar 'Credential' with a close button. The form contains four fields: 'Credential Name' with the value 'Demoaz', 'Authentication Mode' with a dropdown menu set to 'Windows', 'Username' with the value 'demoaz\clusteradmin', and 'Password' with masked characters '\*\*\*\*\*'. There is an information icon (i) to the right of the Username field. At the bottom, there is a progress indicator 'Setting credential...' with a circular arrow, and two buttons: 'Cancel' and 'OK'. There are also close and refresh icons at the bottom center of the dialog.

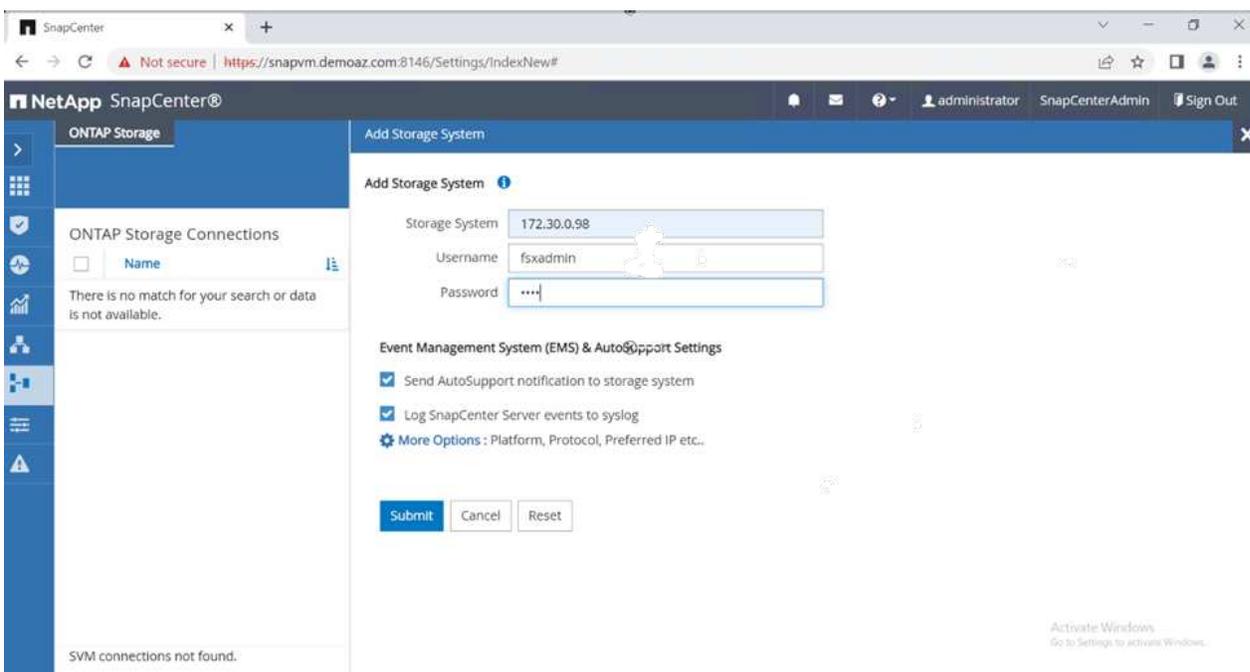
## ストレージを設定する

SnapCenterでストレージを構成するには、次の手順を実行します。

1. SnapCenter UI で、ストレージ システム を選択します。ストレージ タイプには、\* ONTAP SVM\* と \* ONTAP Cluster\* の 2 つがあります。デフォルトでは、ストレージ タイプは \* ONTAP SVM\* です。
2. (+) をクリックして、ストレージ システム情報を追加します。



3. \*FSx ONTAP管理\*エンドポイントを提供します。



4. SVM がSnapCenterで構成されました。

NetApp SnapCenter®

ONTAP Storage

Type: ONTAP SVMs Search by Name

ONTAP Storage Connections

| <input type="checkbox"/> | Name          | IP | Cluster Name | User Name | Platform | Controller License |
|--------------------------|---------------|----|--------------|-----------|----------|--------------------|
| <input type="checkbox"/> | ESNSVMTESTRDS |    | rdsfsxTest01 |           | FSx      | Not applicable     |

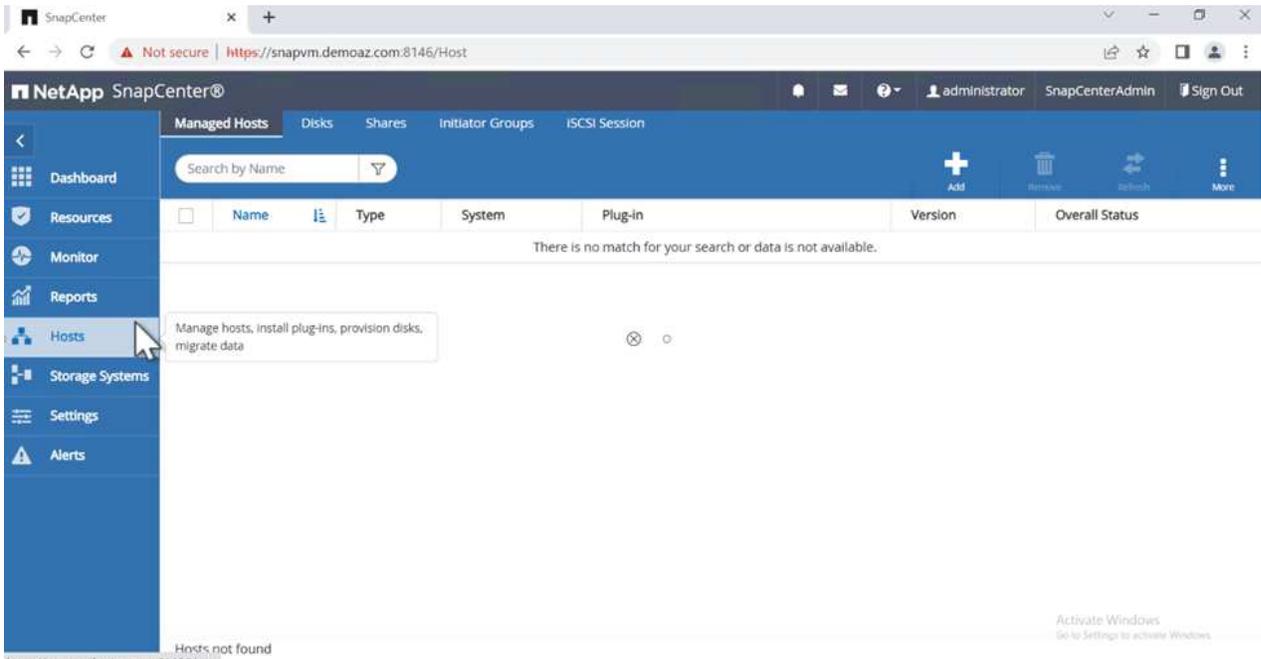
Total 1

Activate Windows  
Go to Settings to activate Windows.

## SnapCenterに SQL Server ホストを追加する

SQL Server ホストを追加するには、次の手順を実行します。

1. [ホスト] タブで (+) をクリックして、Microsoft SQL Server ホストを追加します。

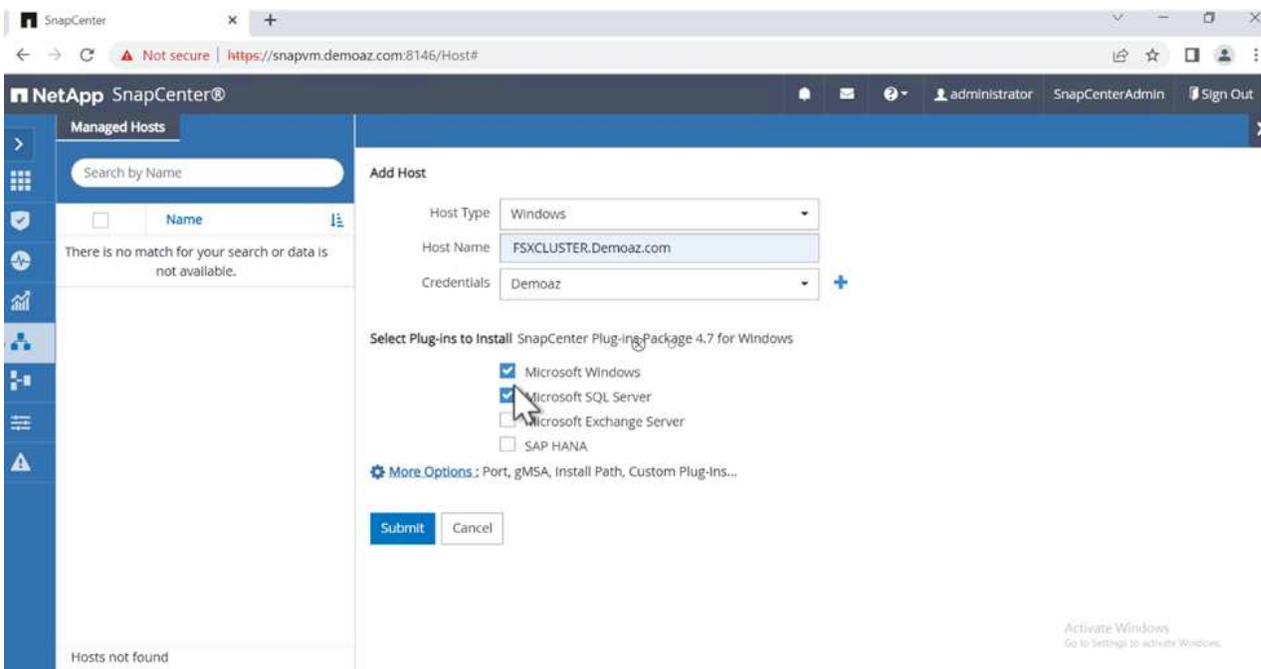


2. リモート ホストの完全修飾ドメイン名 (FQDN) または IP アドレスを指定します。

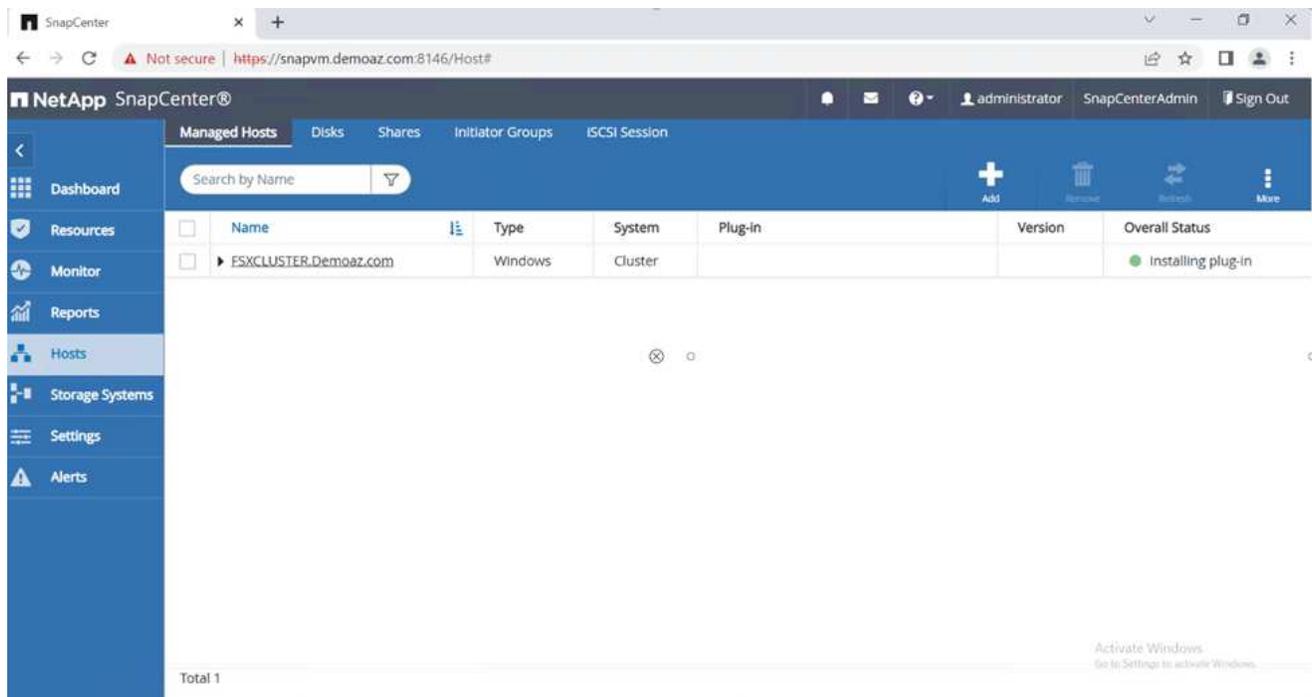


資格情報はデフォルトで入力されます。

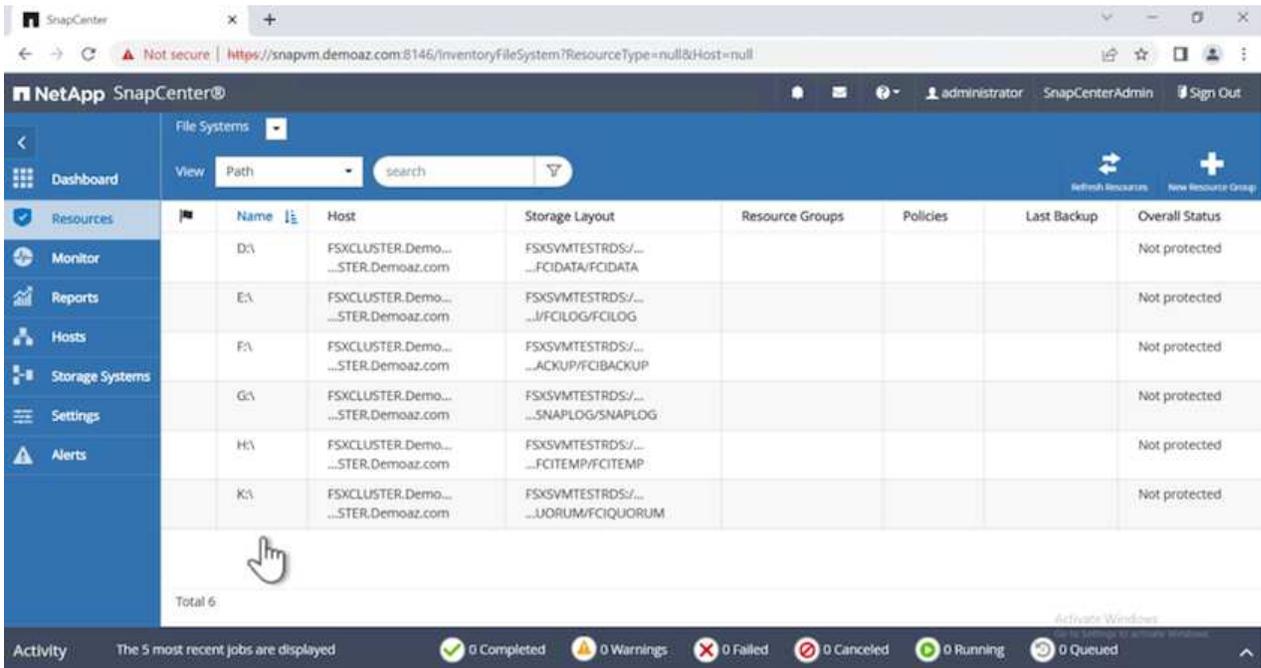
3. Microsoft Windows と Microsoft SQL Server のオプションを選択し、送信します。



SQL Server パッケージがインストールされています。



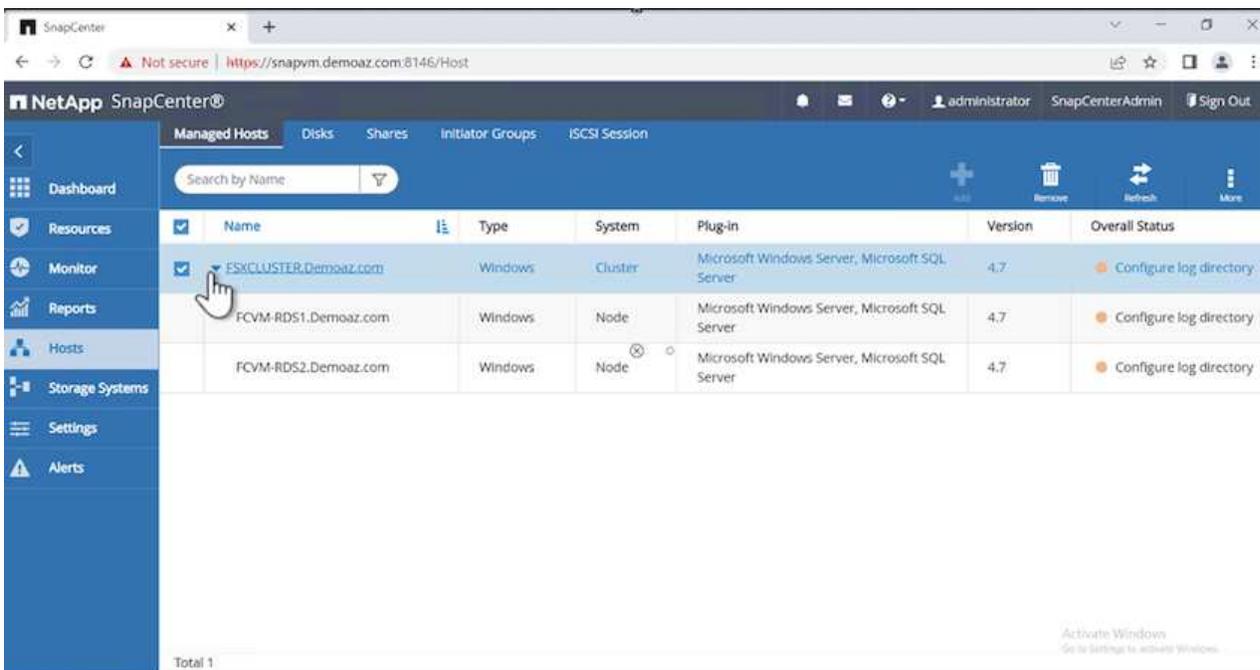
1. インストールが完了したら、[リソース] タブに移動して、すべての FSx ONTAP iSCSI ボリュームが存在するかどうかを確認します。



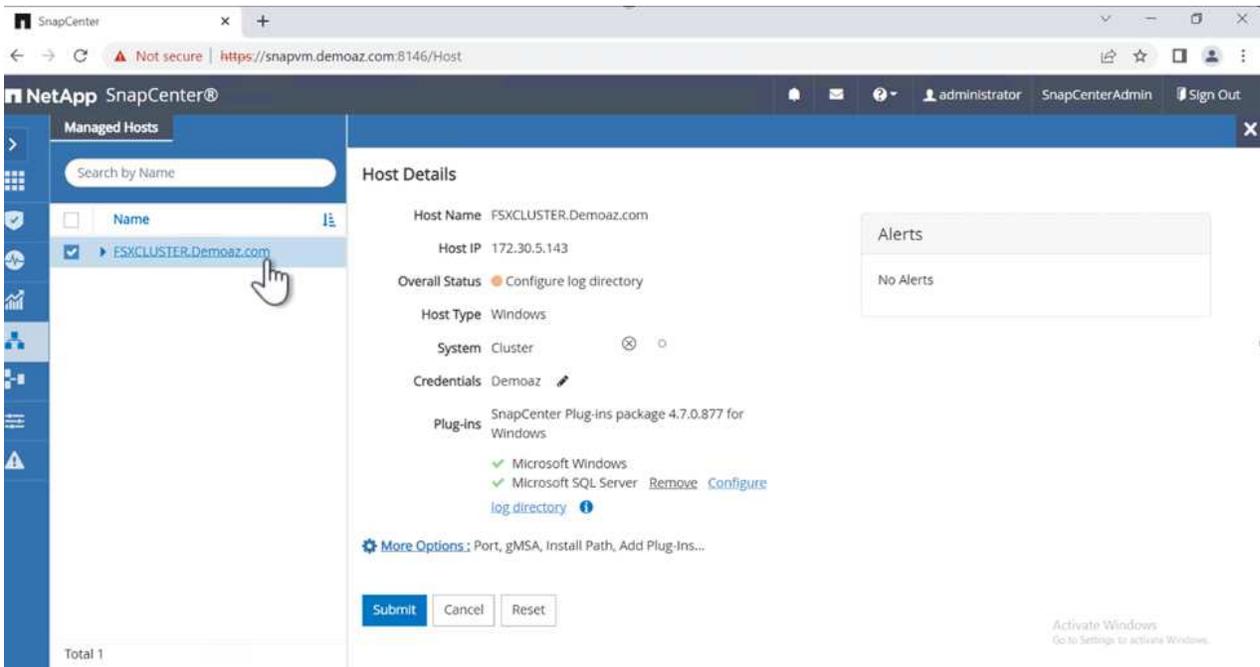
## ログ ディレクトリを設定

ホスト ログ ディレクトリを構成するには、次の手順を実行します。

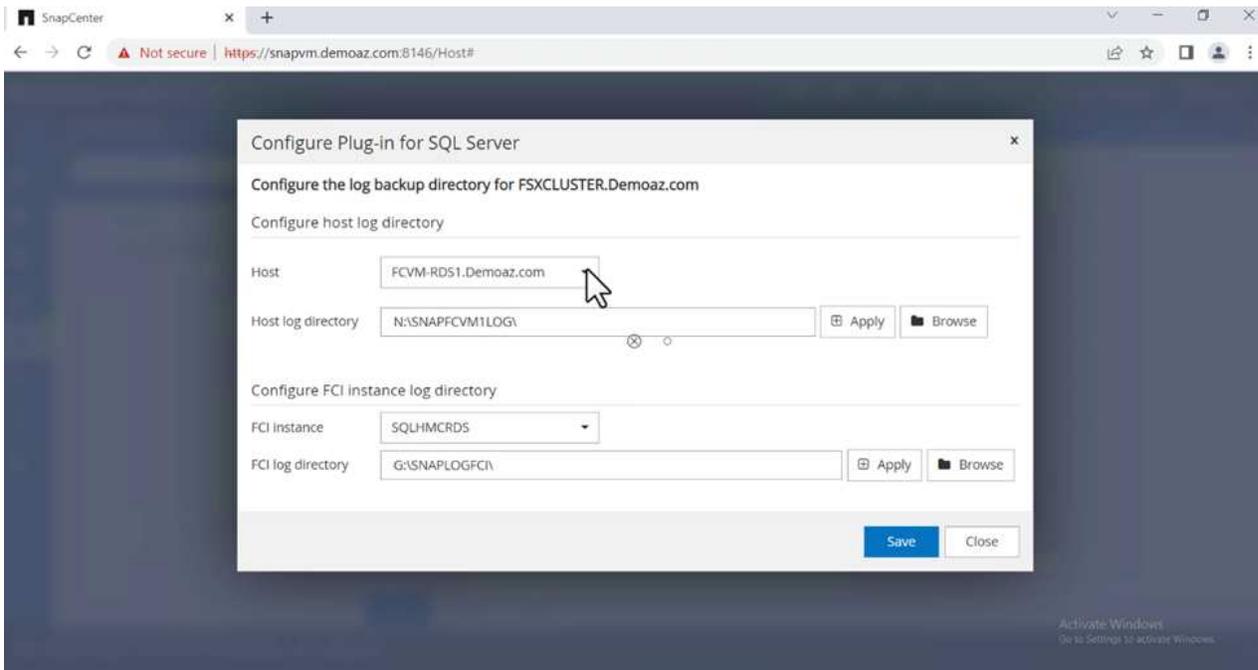
1. チェック ボックスをクリックします。新しいタブが開きます。



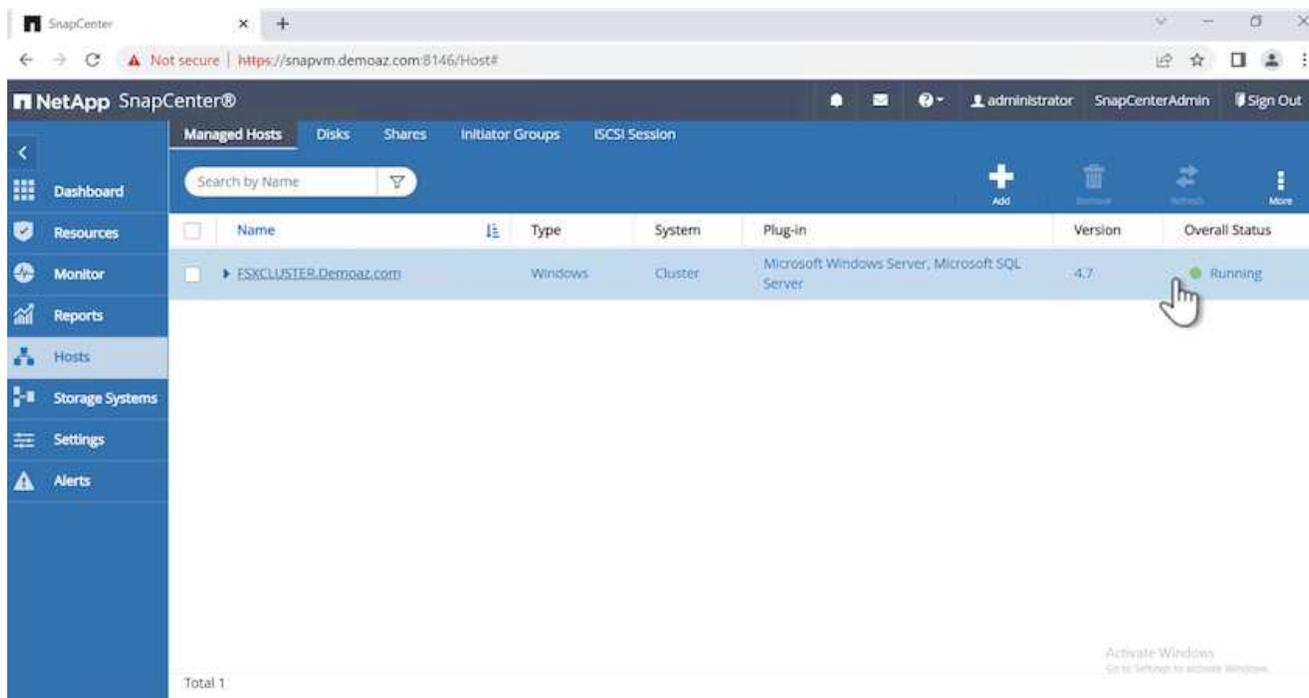
2. ログ ディレクトリの構成 リンクをクリックします。



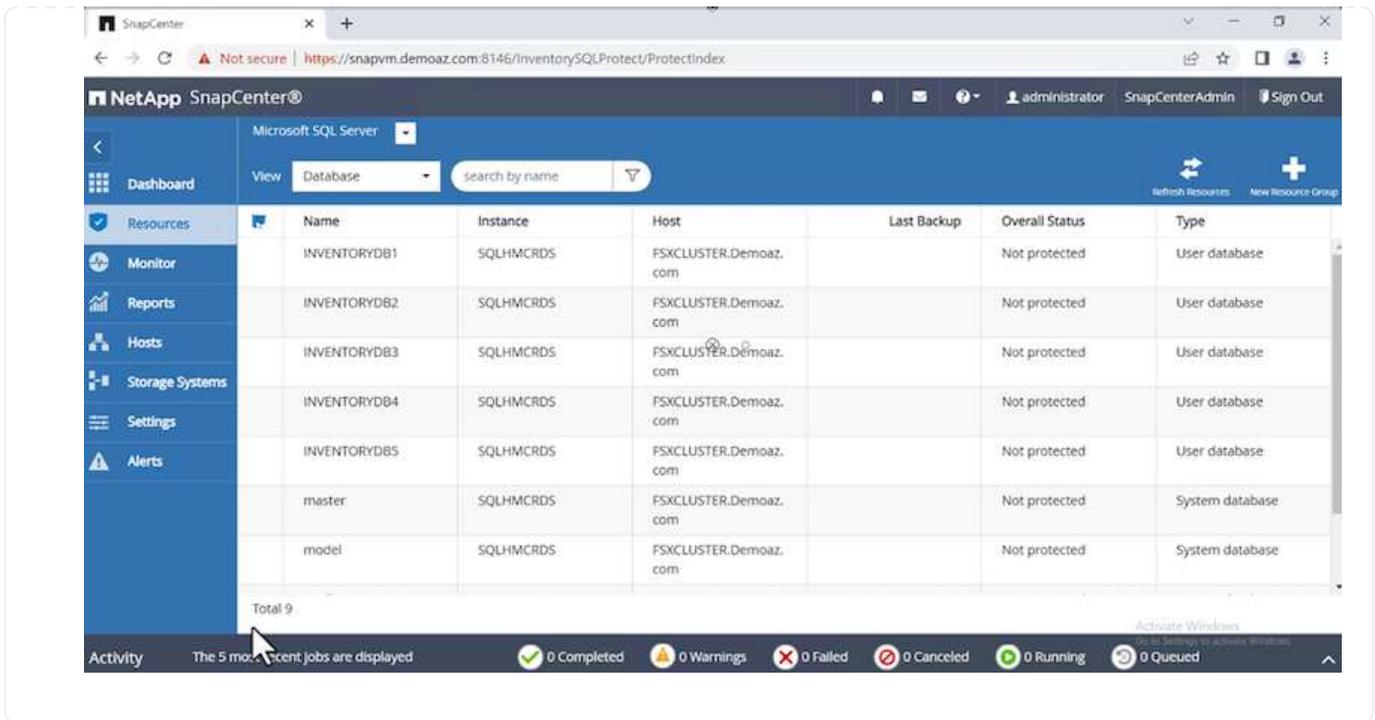
3. ホスト ログ ディレクトリと FCI インスタンス ログ ディレクトリのドライブを選択します。\*保存\* をクリックします。クラスター内の 2 番目のノードに対して同じプロセスを繰り返します。ウィンドウを閉じます。



ホストは現在実行状態にあります。



1. リソース タブには、すべてのサーバーとデータベースが表示されます。



## バックアップポリシーを構成する

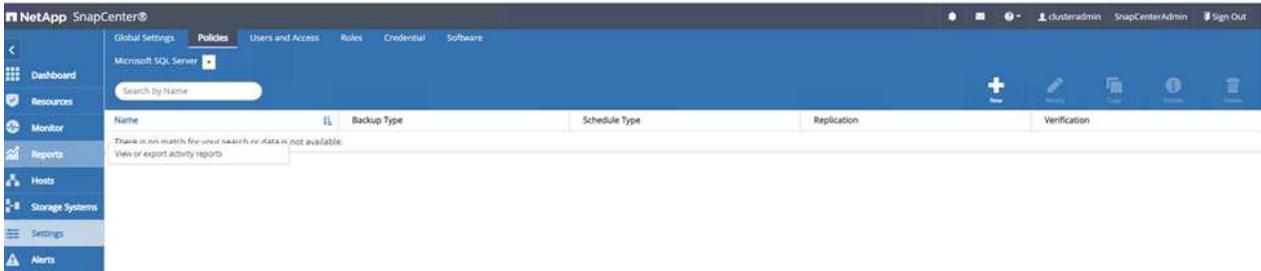
バックアップポリシーは、バックアップの管理、スケジュール、および保持の方法を制御する一連のルールです。会社の SLA に基づいてバックアップの種類と頻度を決定するのに役立ちます。

次のセクションを展開すると、各ステップを完了する方法の詳細な手順が表示されます。

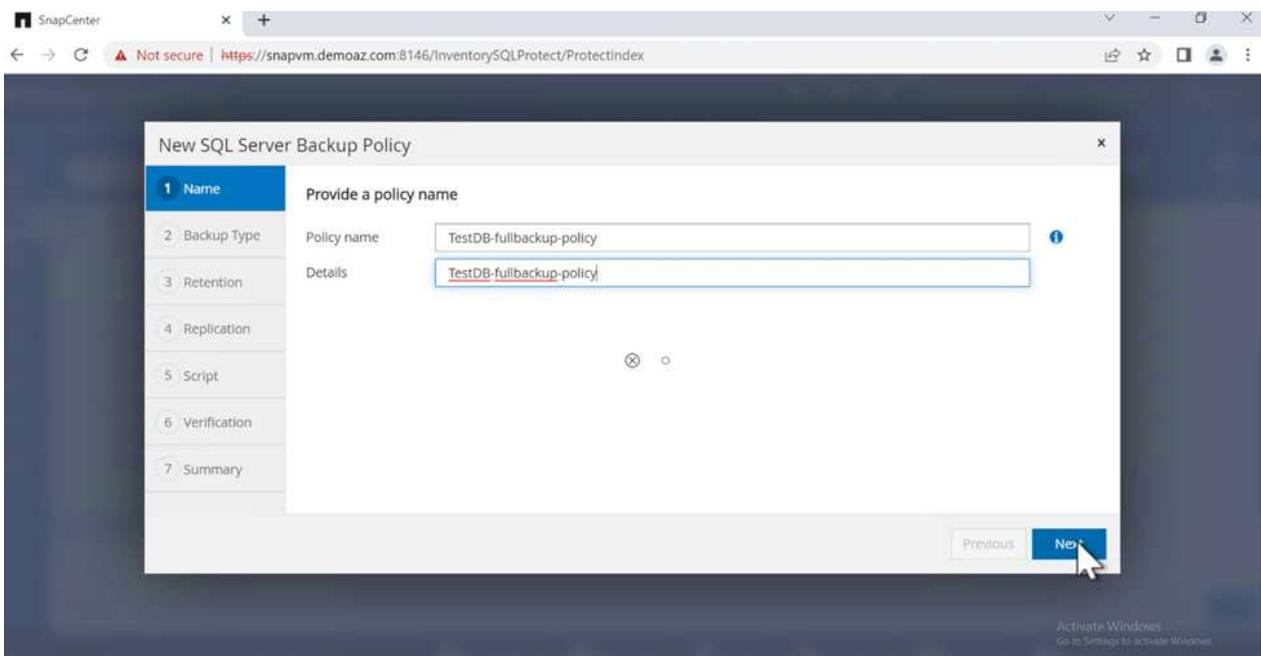
## FCI データベースのバックアップ操作を構成する

FCI データベースのバックアップ ポリシーを構成するには、次の手順を実行します。

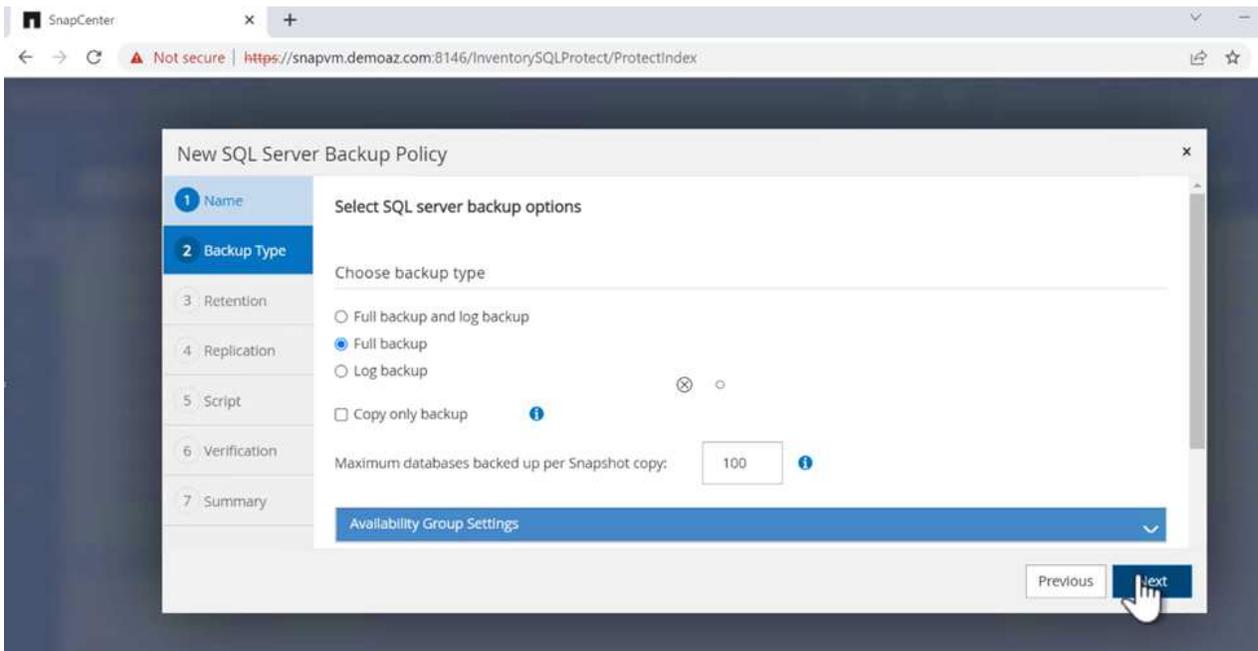
1. 設定 に移動し、左上の ポリシー を選択します。次に、[新規]をクリックします。



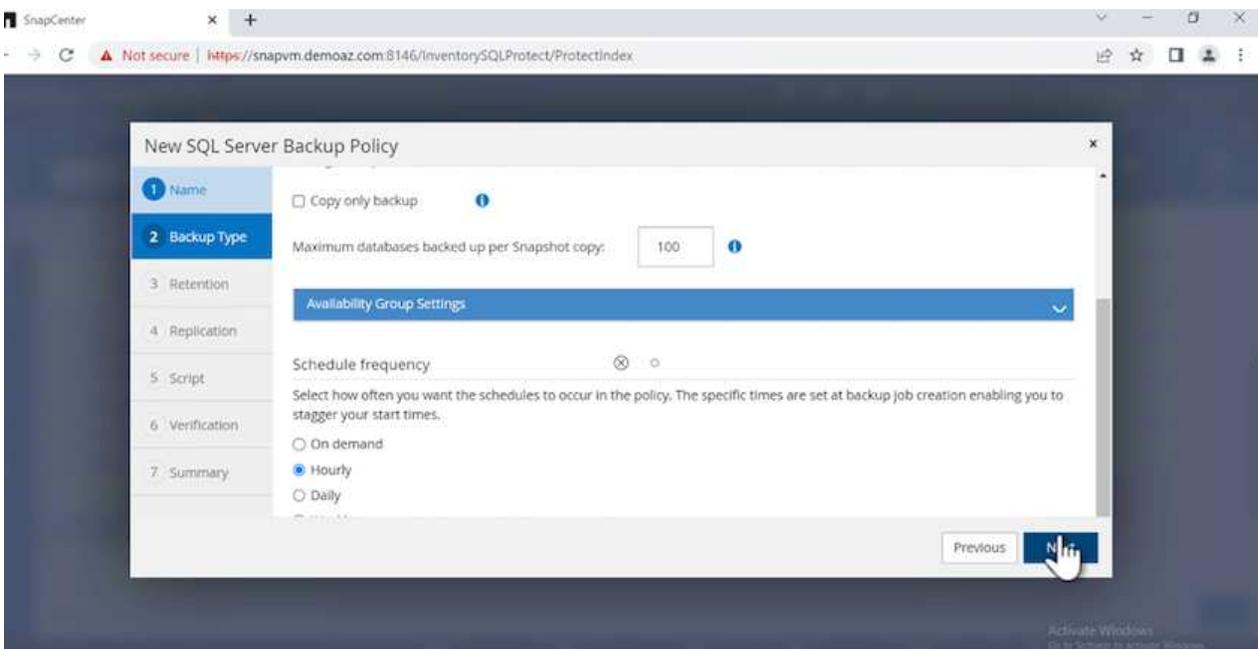
2. ポリシー名と説明を入力します。\*次へ\*をクリックします。



3. バックアップの種類として「完全バックアップ」を選択します。



4. スケジュール頻度を選択します (これは会社の SLA に基づきます)。\*次へ\*をクリックします。



5. バックアップの保持設定を構成します。

New SQL Server Backup Policy x

- 1 Name
- 2 Backup Type
- 3 Retention**
- 4 Replication
- 5 Script
- 6 Verification
- 7 Summary

### Retention settings

Retention settings for up-to-the-minute restore operation ⓘ

Keep log backups applicable to last  full backups

Keep log backups applicable to last  days

### Full backup retention settings ⓘ

Weekly

Total Snapshot copies to keep

Keep Snapshot copies for  days

6. レプリケーション オプションを構成します。

New SQL Server Backup Policy ×

**1** Name

**2** Backup Type

**3** Retention

**4** Replication

**5** Script

**6** Verification

**7** Summary

Select secondary replication options ⓘ

Update SnapMirror after creating a local Snapshot copy.

Update SnapVault after creating a local Snapshot copy.

Secondary policy label  ⓘ

Error retry count  ⓘ

7. バックアップ ジョブの実行前と実行後に実行する実行スクリプトを指定します (存在する場合)。

## New SQL Server Backup Policy

1 Name

2 Backup Type

3 Retention

4 Replication

5 Script

6 Verification

7 Summary

**Specify optional scripts to run before performing a backup job**

Prescript full path

Prescript arguments

**Specify optional scripts to run after performing a backup job**

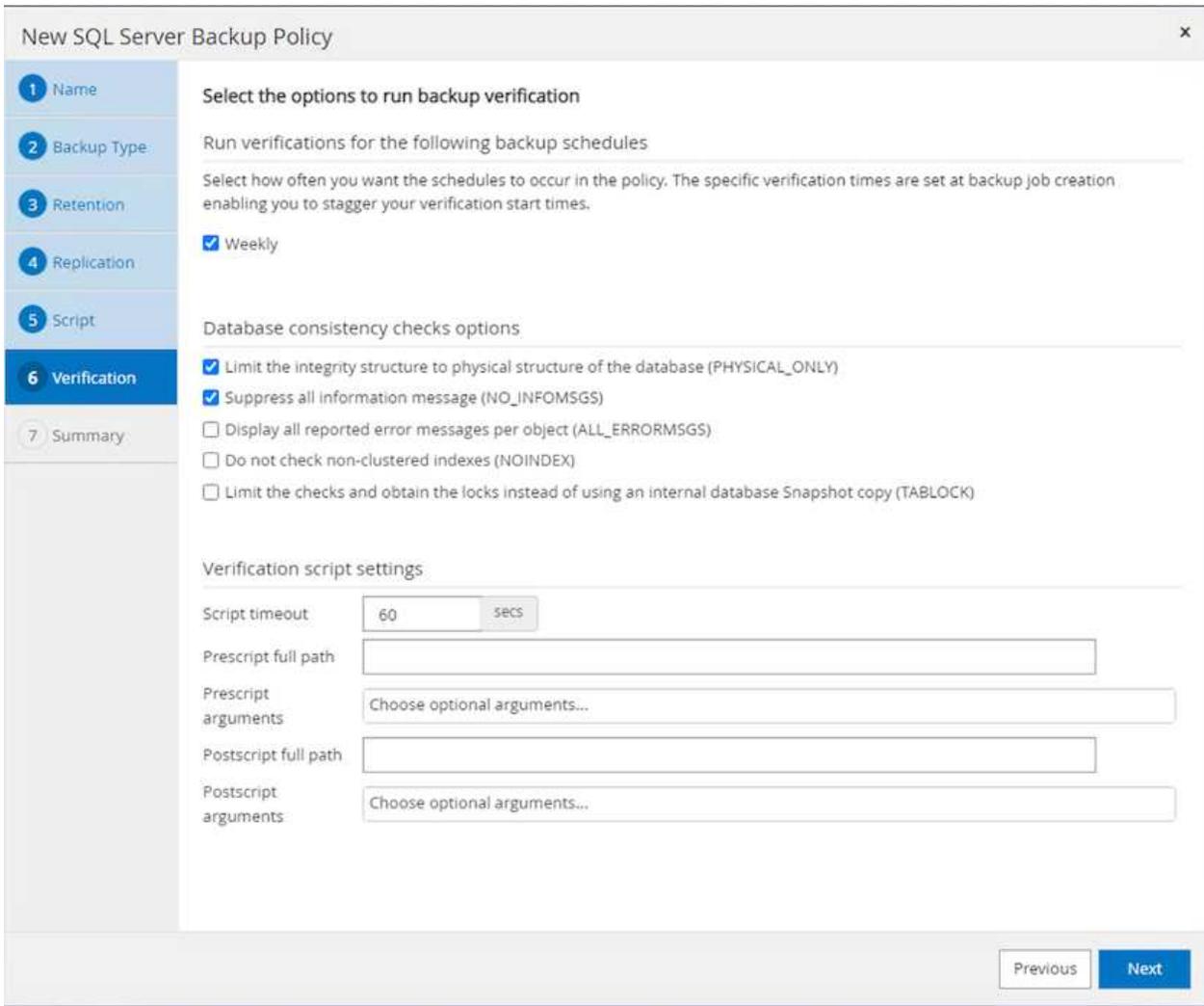
Postscript full path

Postscript arguments

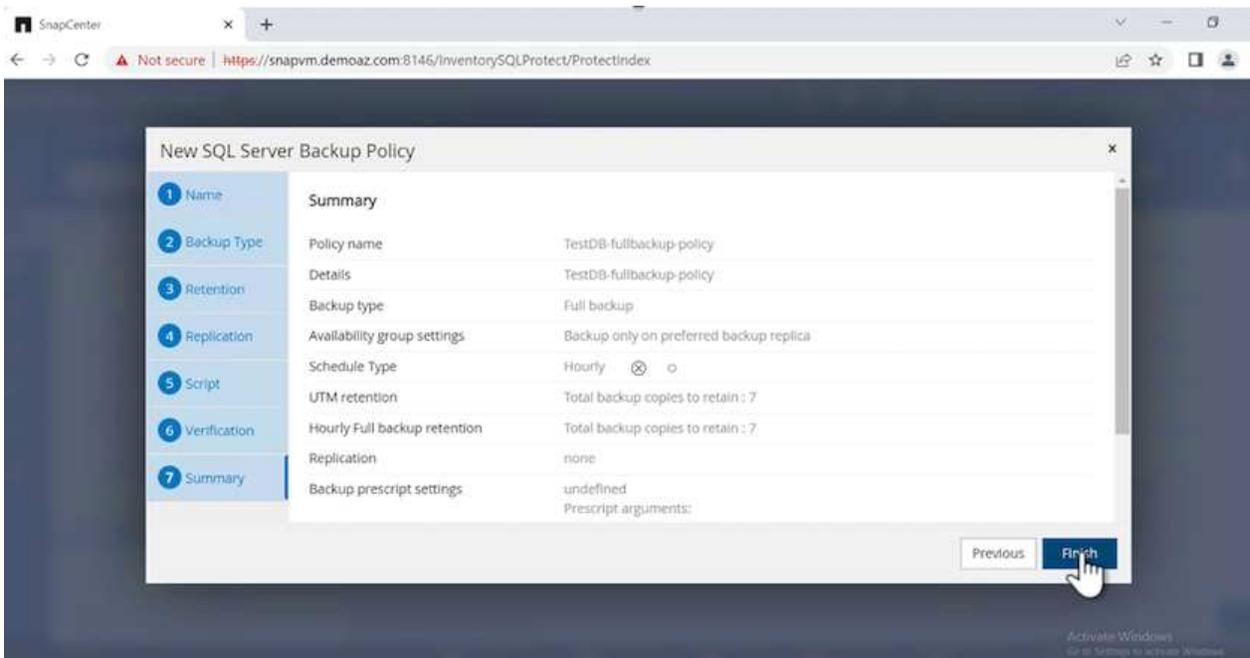
Script timeout  secs

Previous Next

8. バックアップ スケジュールに基づいて検証を実行します。

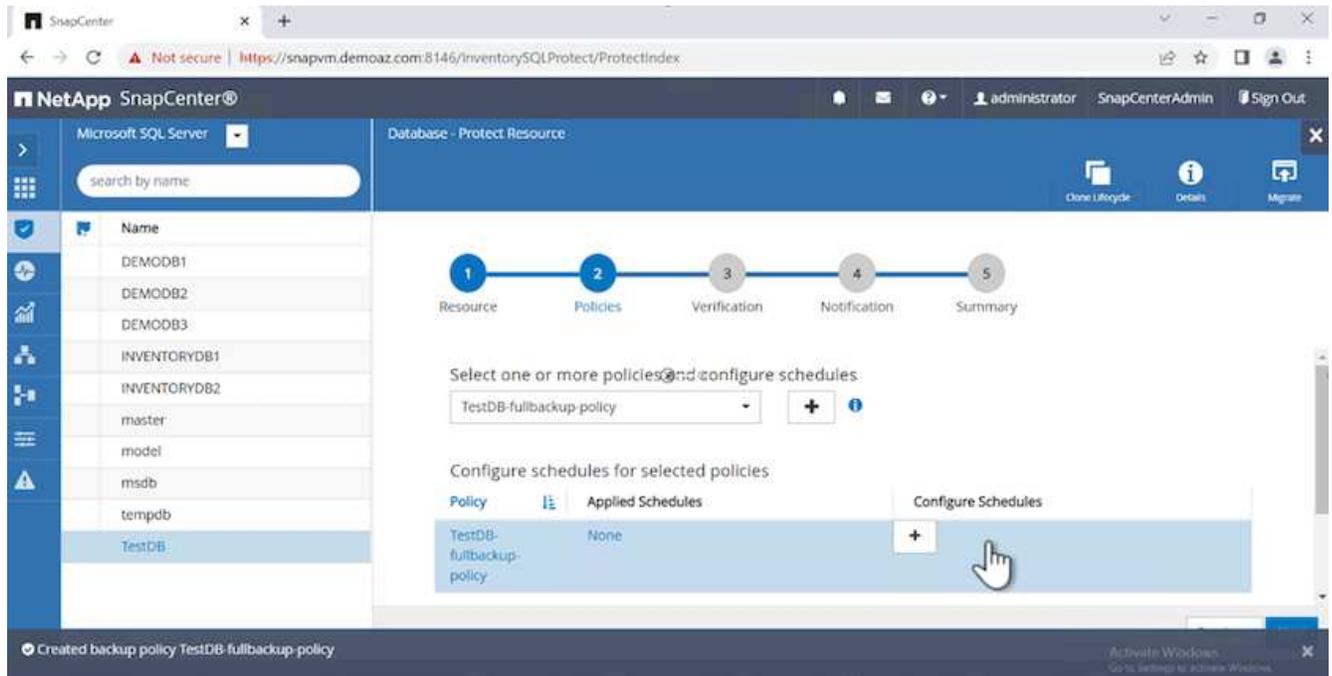


9. 概要 ページには、バックアップ ポリシーの詳細が表示されます。エラーがあればここで修正できます。

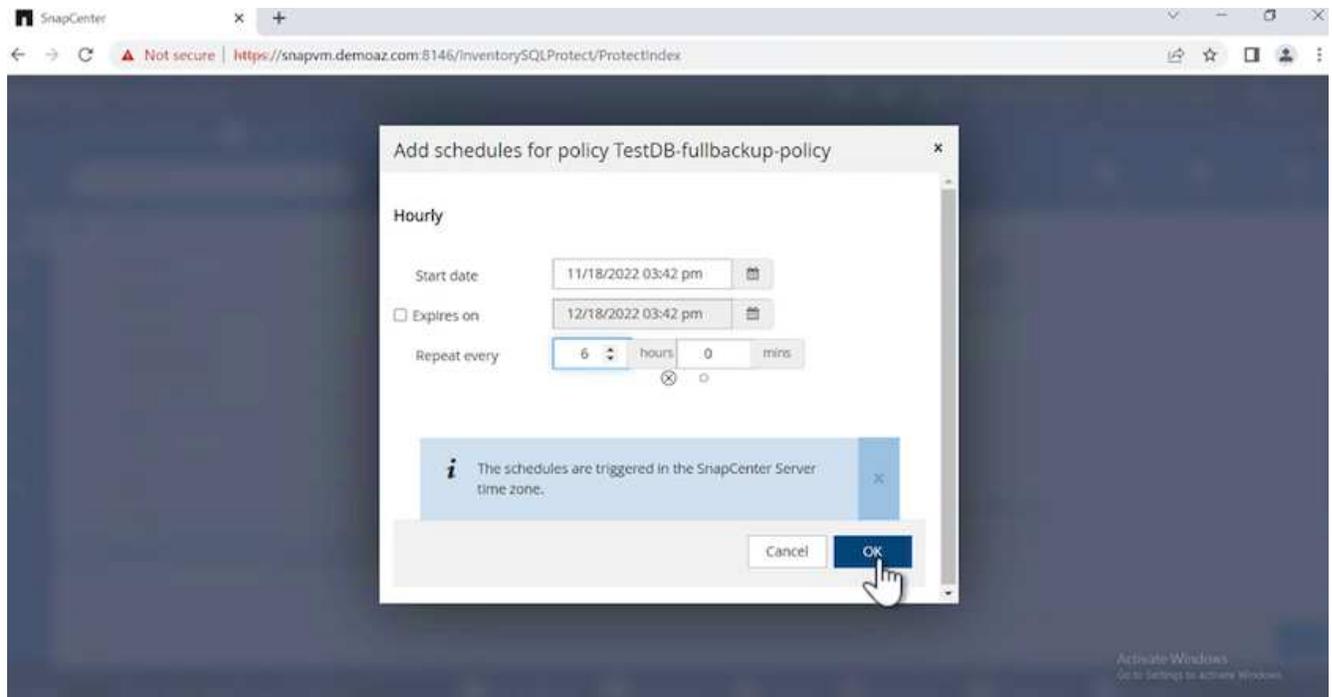


# MSSQL Serverデータベースの構成と保護

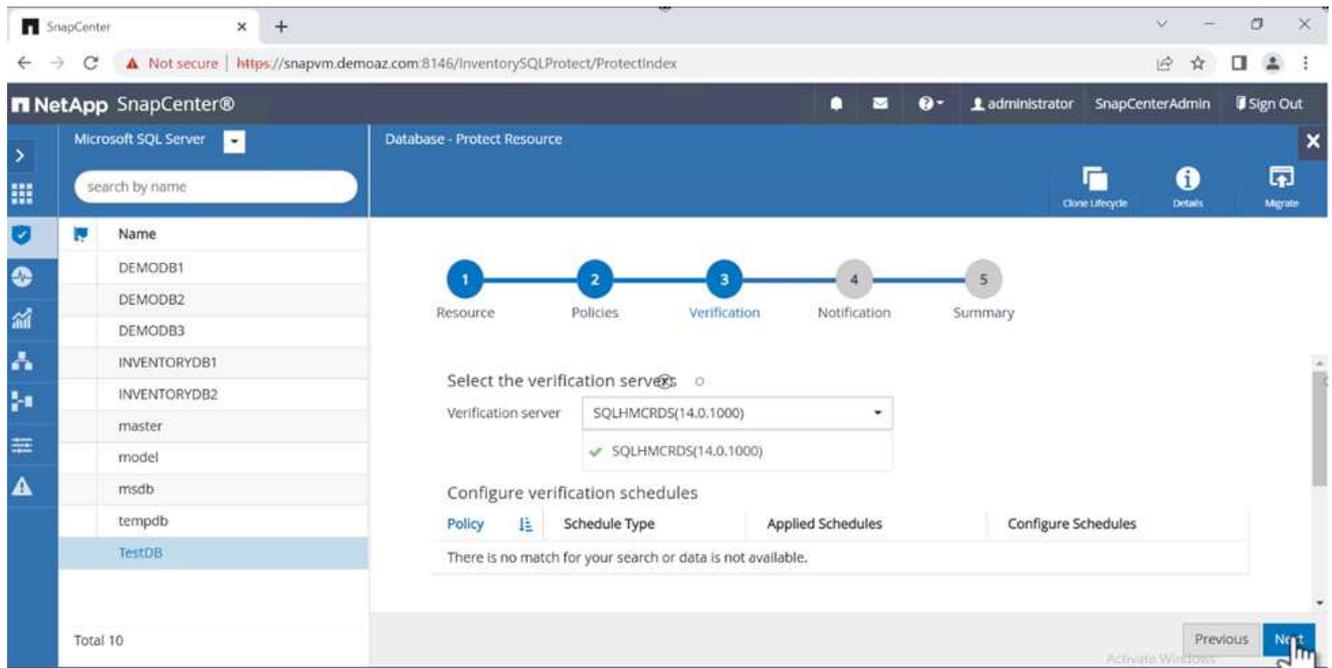
1. バックアップ ポリシーの開始日と有効期限を設定します。



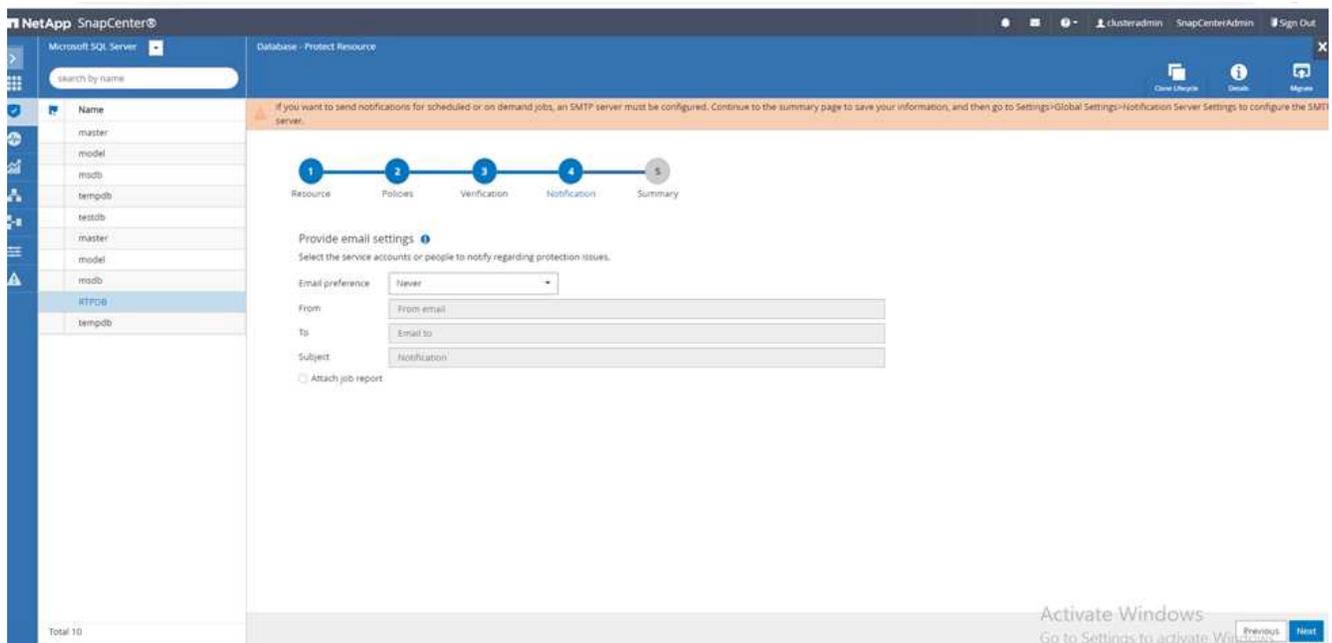
2. バックアップのスケジュールを定義します。これを行うには、(+) をクリックしてスケジュールを設定します。\*開始日\*と\*有効期限\*の日付を入力します。会社の SLA に基づいて時間を設定します。



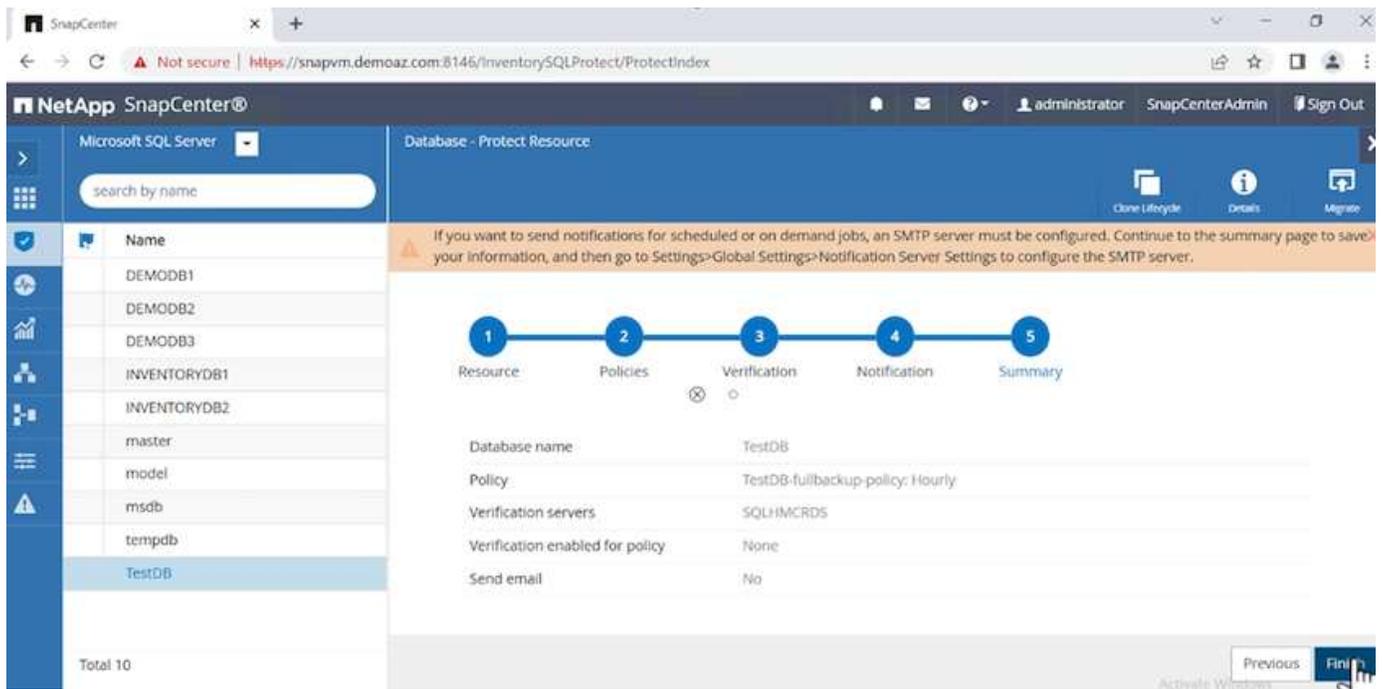
3. 検証サーバーを構成します。ドロップダウン メニューからサーバーを選択します。



4. プラス記号をクリックして確定し、構成されたスケジュールを確認します。
5. 電子メール通知の情報を入力します。\*次へ\*をクリックします。



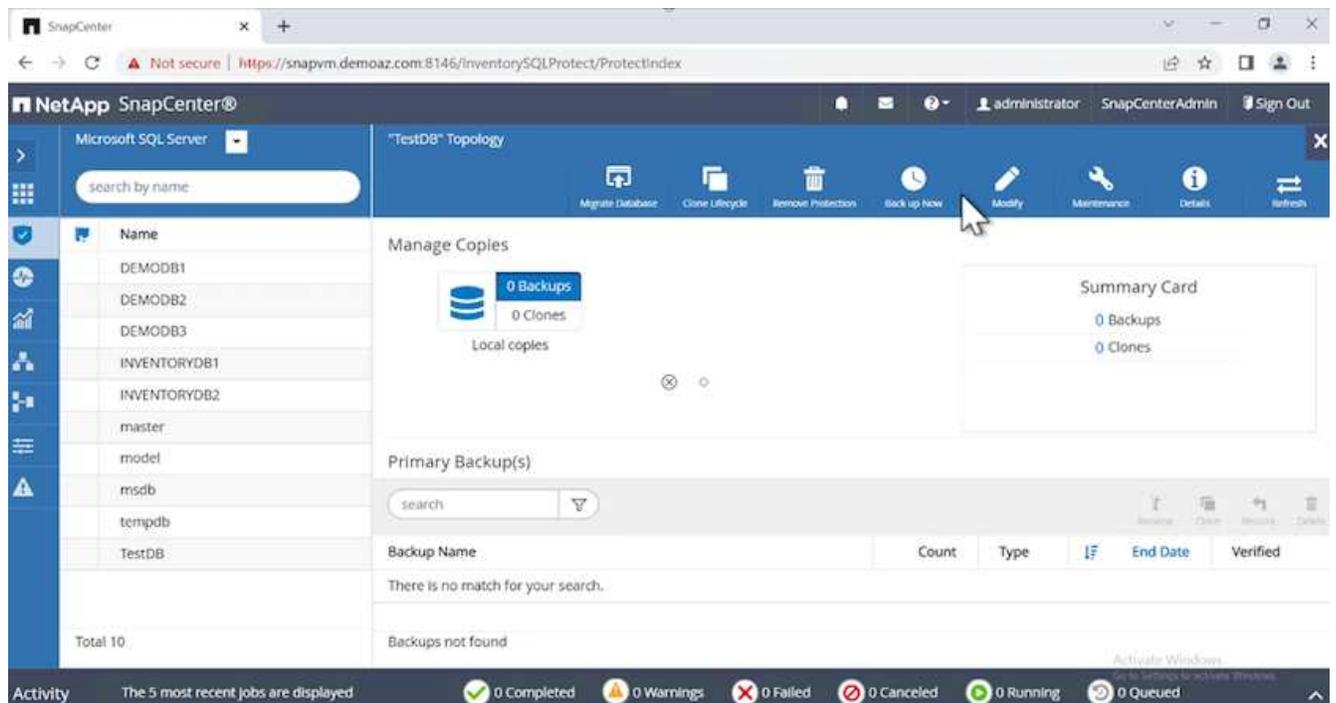
SQL Server データベースのバックアップ ポリシーの概要が構成されました。



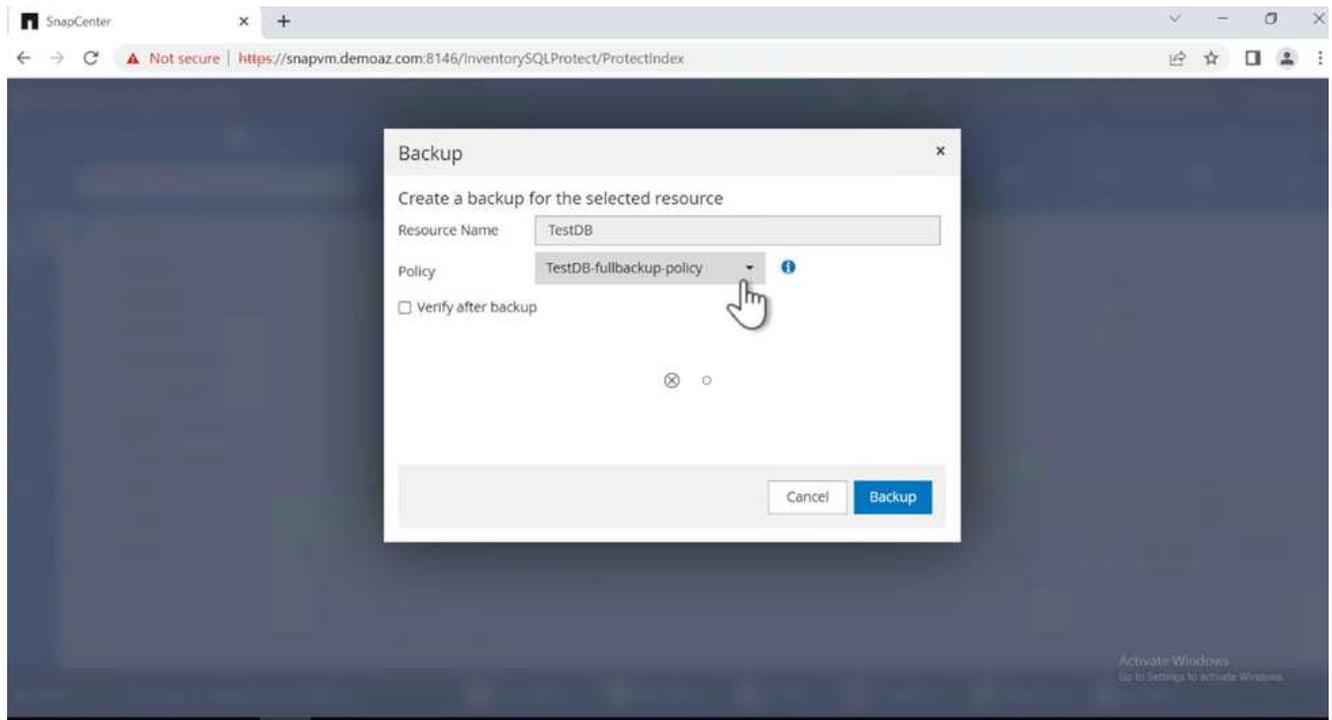
## SnapCenterバックアップ操作

オンデマンドの SQL Server バックアップを作成するには、次の手順を実行します。

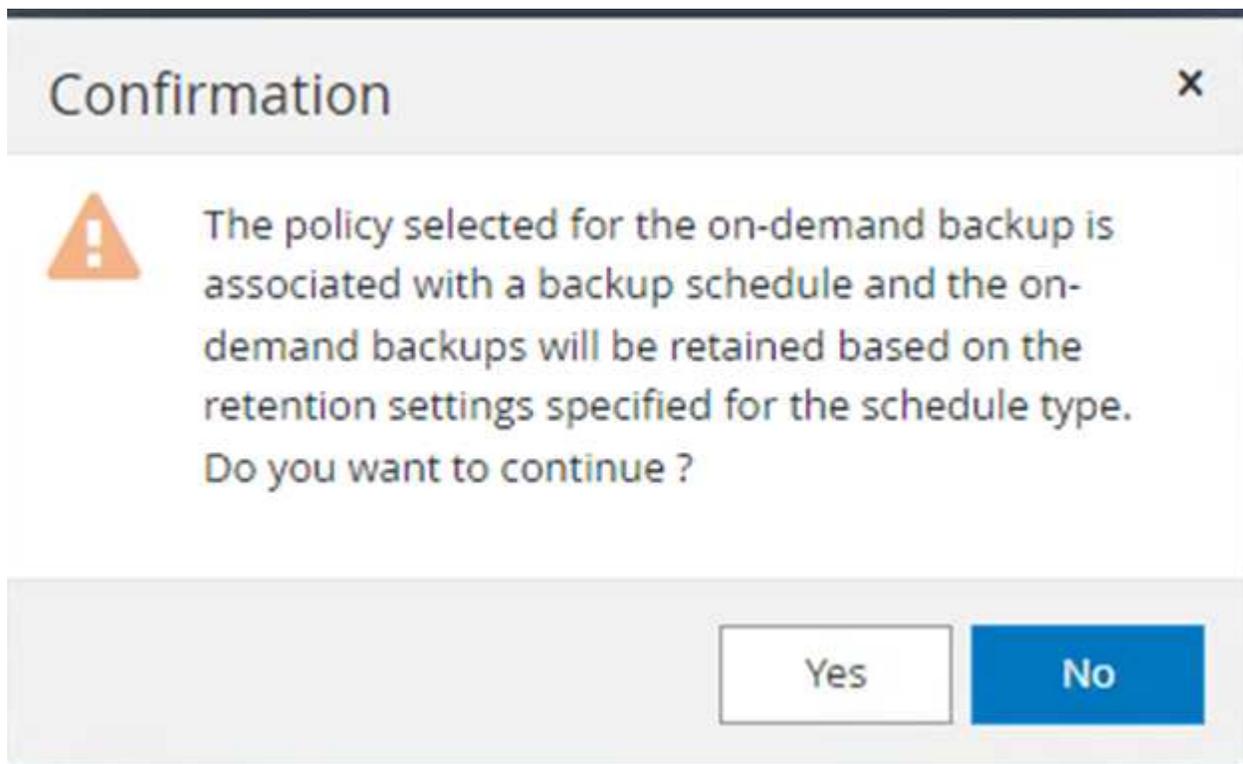
1. リソース ビューからリソースを選択し、今すぐバックアップ を選択します。



2. バックアップ ダイアログボックスで、バックアップ をクリックします。

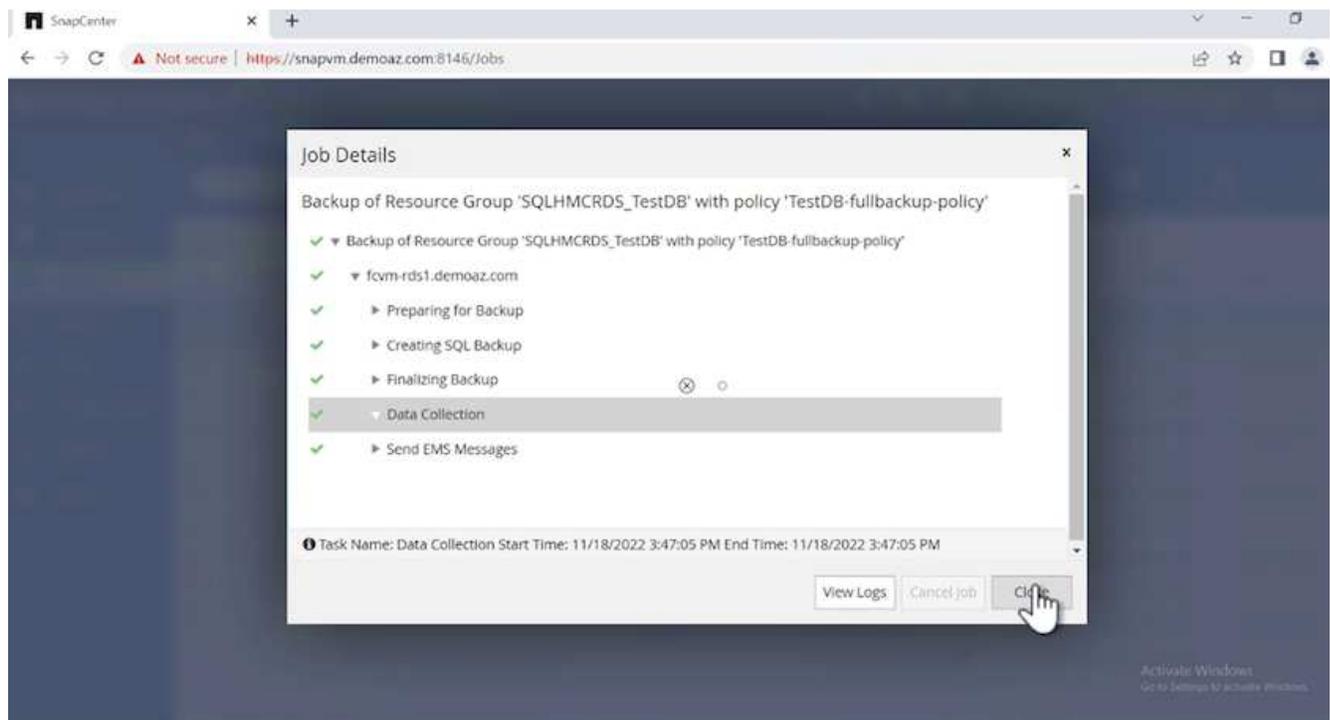
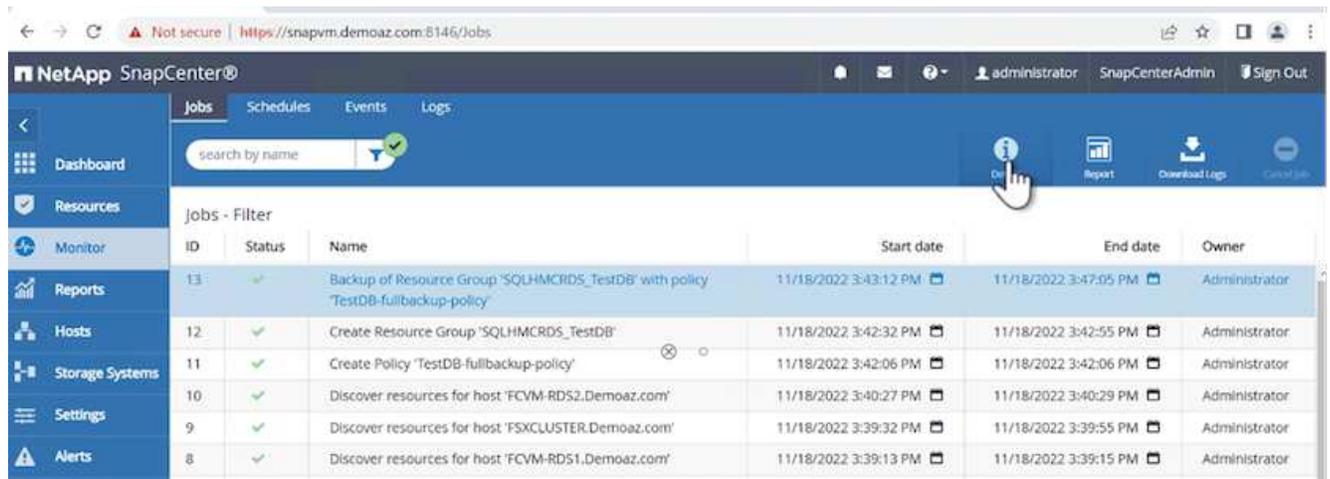


3. 確認画面が表示されます。確認するには「はい」をクリックします。



## バックアップジョブを監視する

1. \*モニター\*タブでジョブをクリックし、右側の\*詳細\*を選択してジョブを表示します。

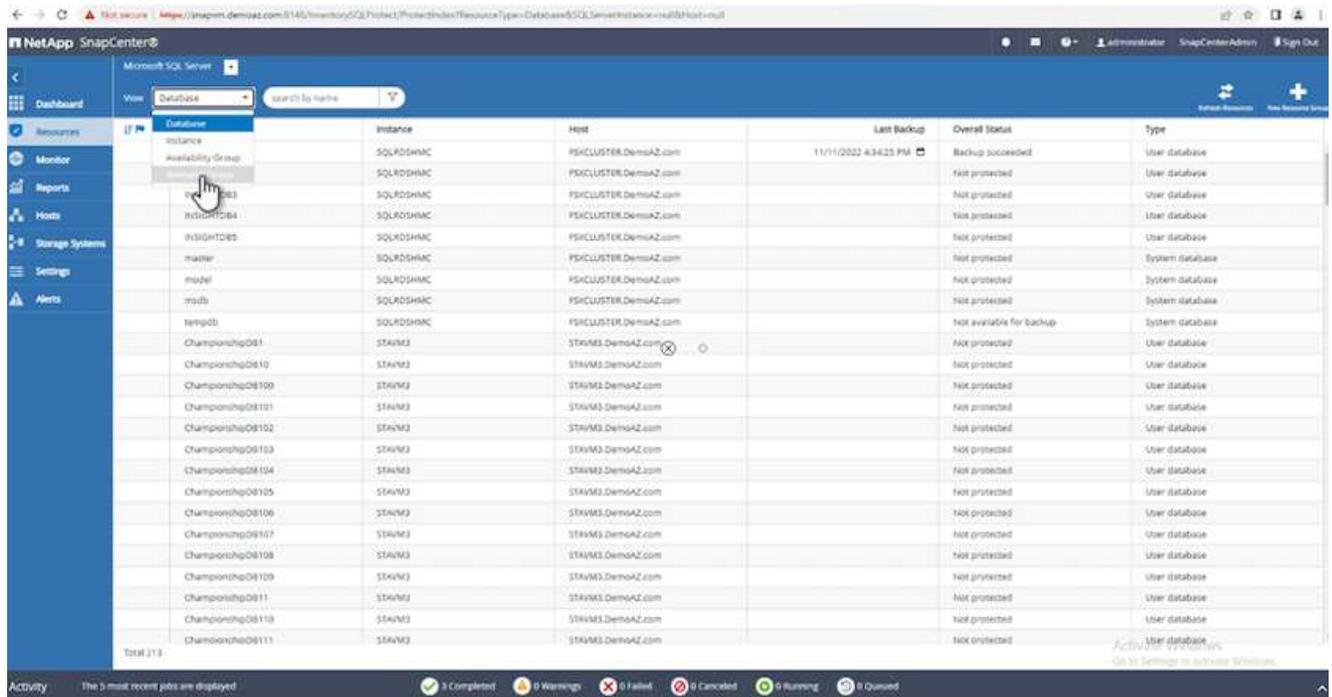


バックアップが完了すると、トポロジビューに新しいエントリが表示されます。

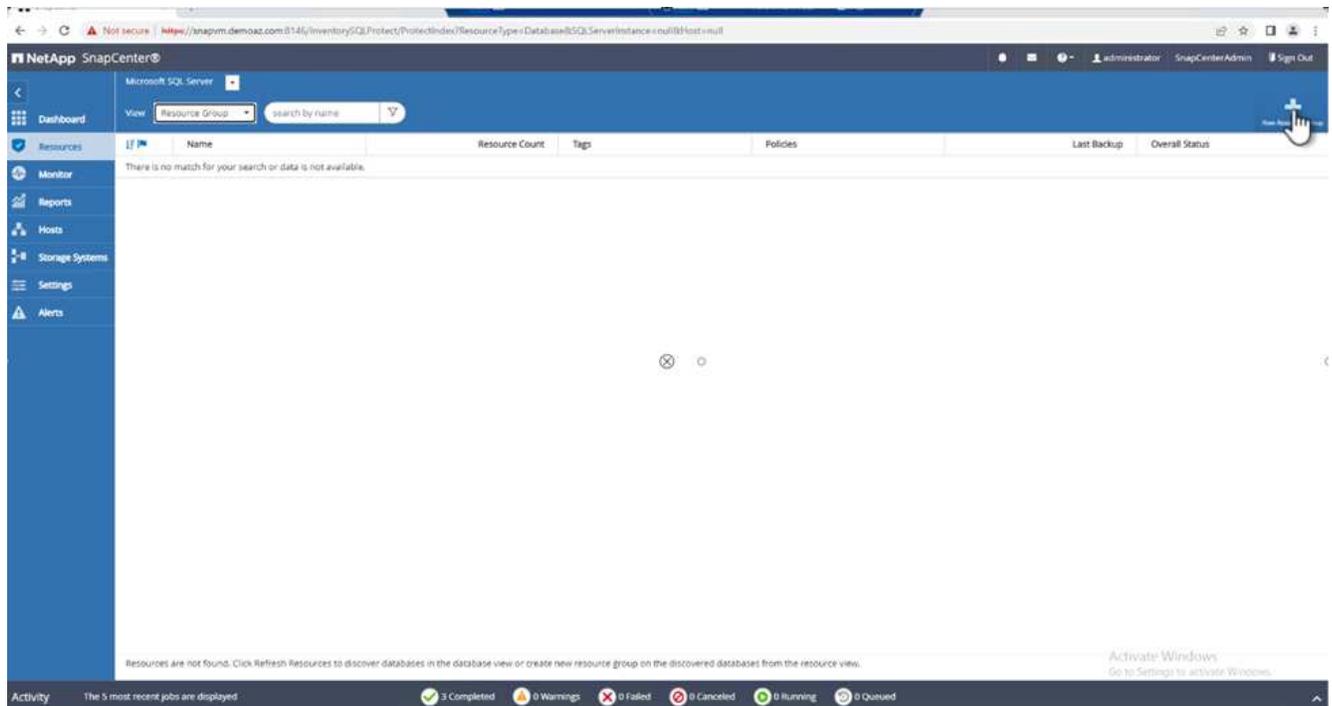
## 複数のデータベースのバックアップ操作

複数の SQL Server データベースのバックアップポリシーを構成するには、次の手順を実行してリソースグループポリシーを作成します。

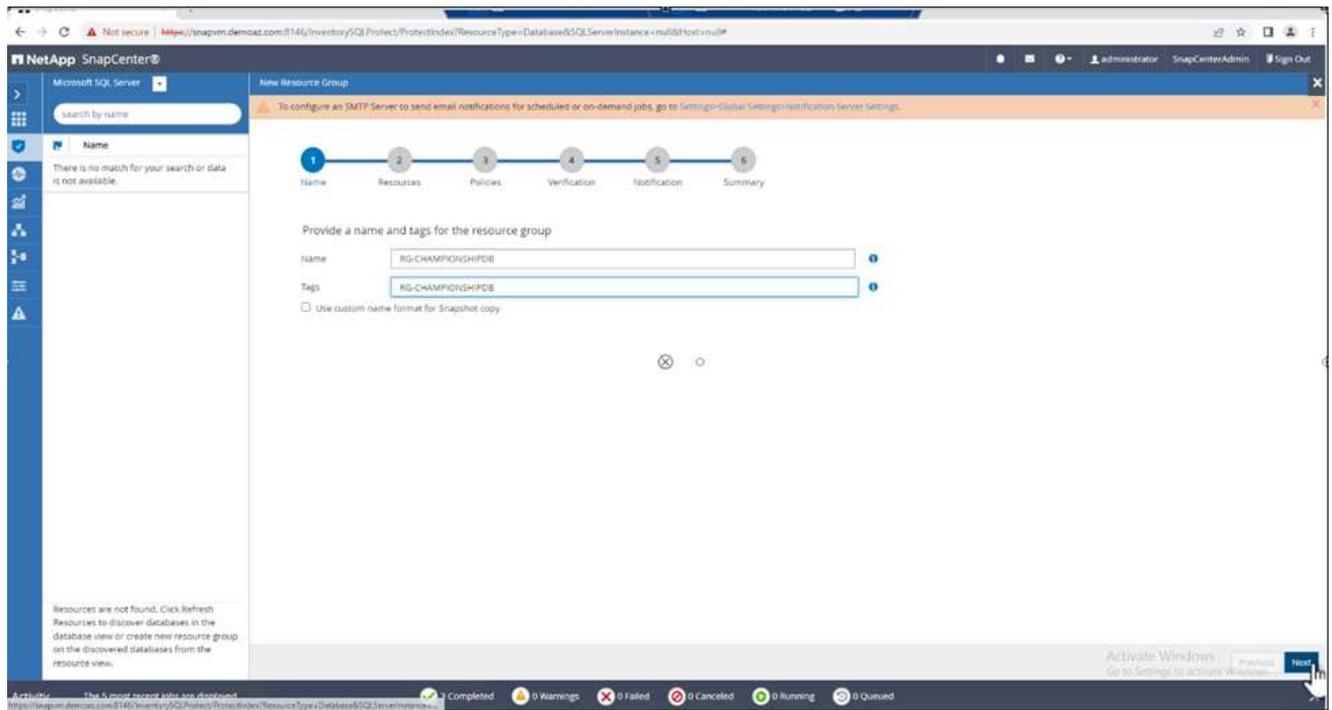
1. 表示メニューのリソースタブで、ドロップダウンメニューを使用してリソースグループに変更します。



2. 新しいリソースグループの場合は (+) をクリックします。

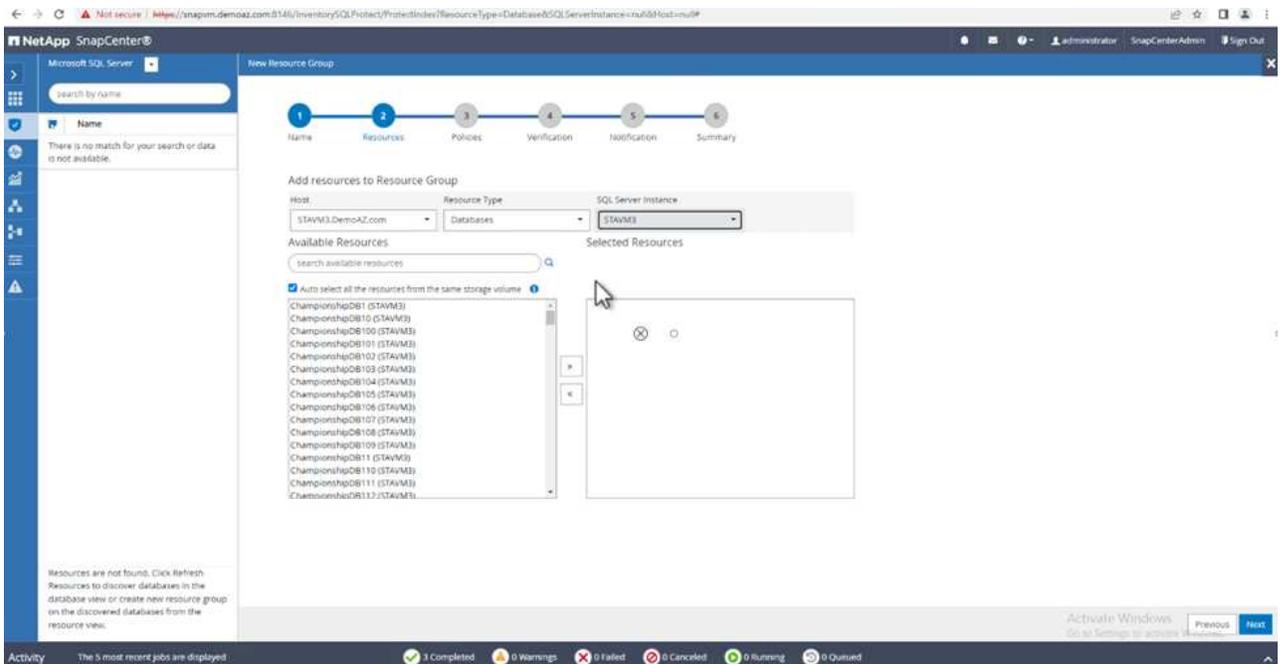


3. 名前とタグを入力します。\*次へ\*をクリックします。

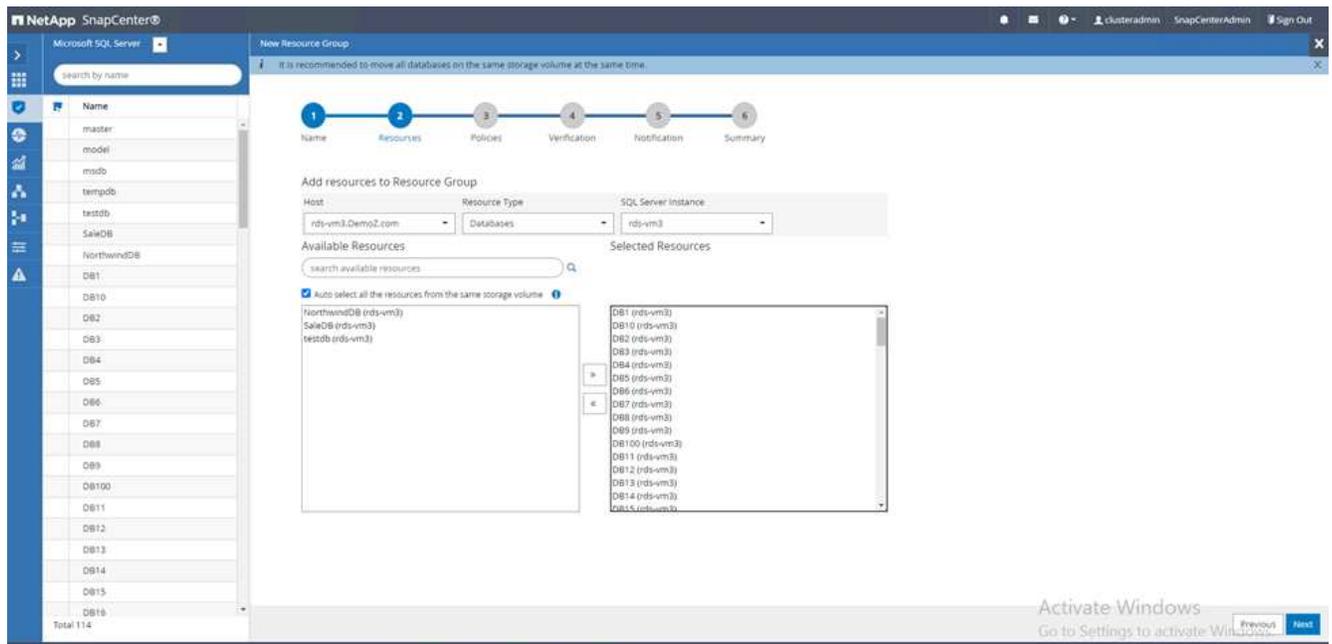


#### 4. リソース グループにリソースを追加します。

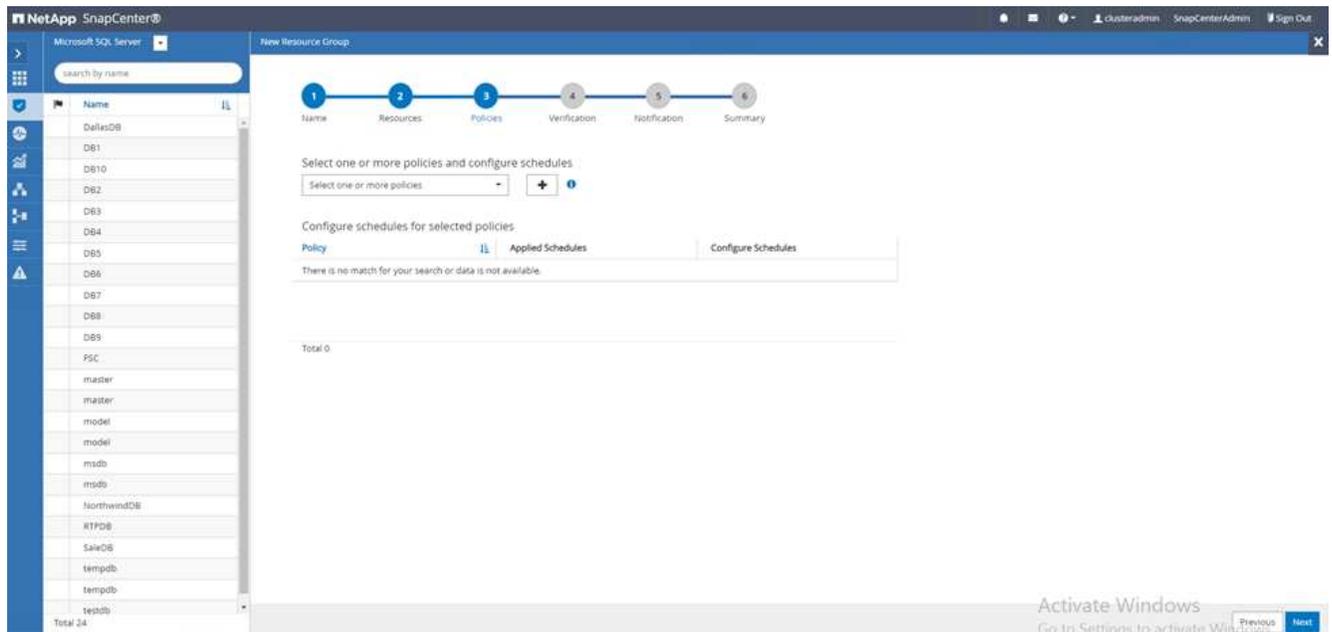
- \*ホスト。\*ドリップダウン メニューからデータベースをホストしているサーバーを選択します。
- リソースの種類\*ドリップダウン メニューから [\*データベース] を選択します。
- \*SQL Server インスタンス。\*サーバーを選択します。



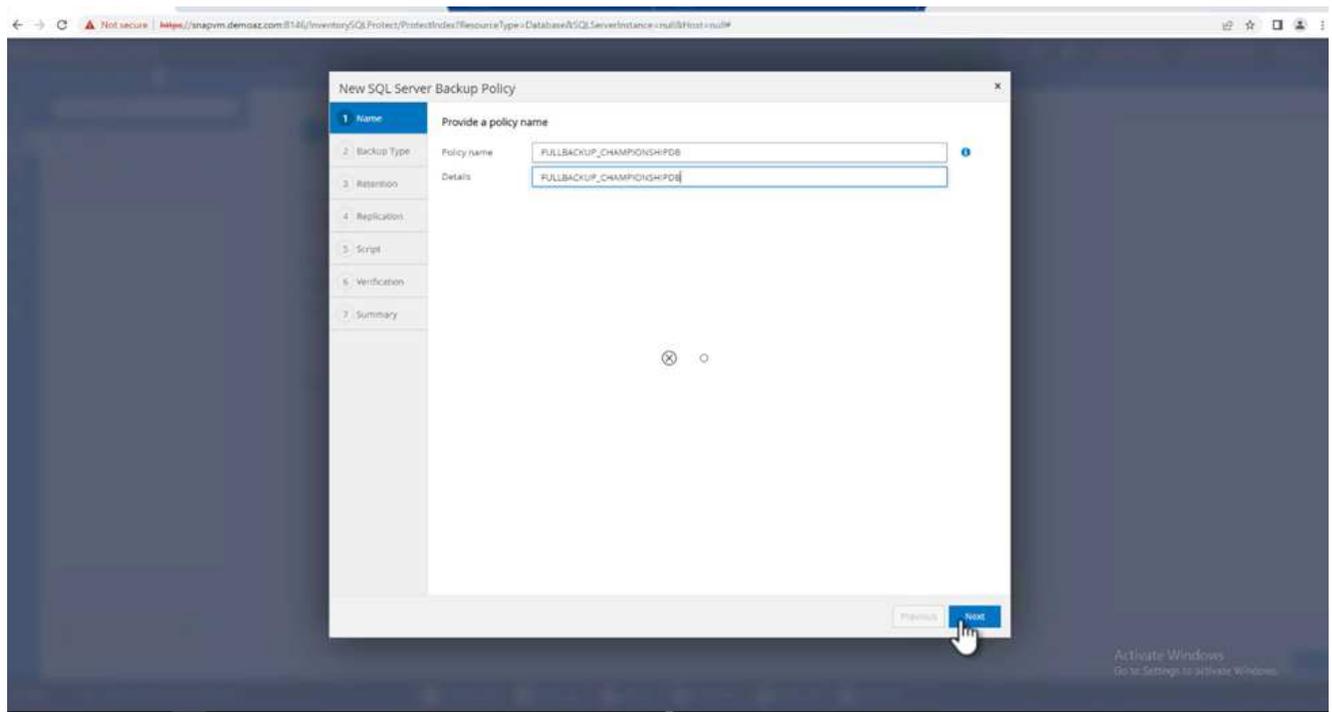
オプション「同じストレージボリュームからすべてのリソースを自動選択する」\*はデフォルトで選択されています。オプションをクリアし、リソース グループに追加する必要があるデータベースのみを選択し、矢印をクリックして追加し、[次へ] をクリックします。



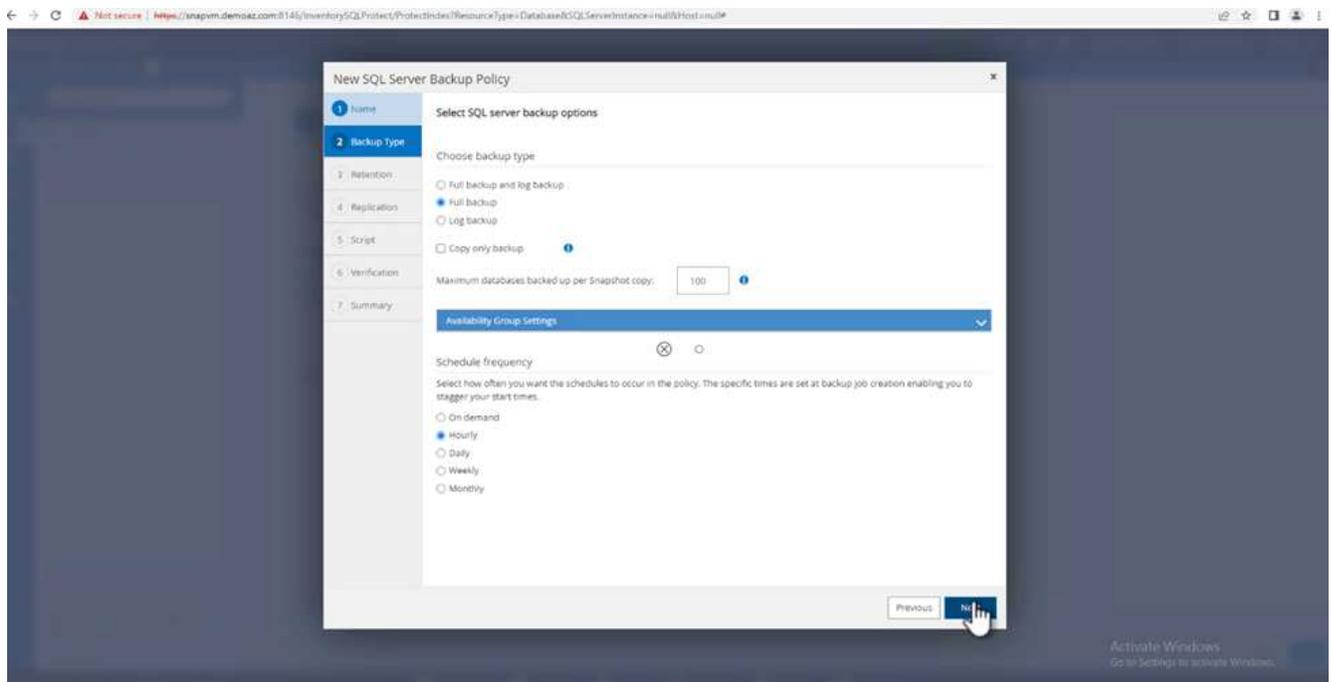
5. ポリシーで (+) をクリックします。



6. リソース グループ ポリシー名を入力します。



7. 会社の SLA に応じて、「完全バックアップ」とスケジュール頻度を選択します。



8. 保持設定を構成します。

New SQL Server Backup Policy x

- 1 Name
- 2 Backup Type
- 3 Retention**
- 4 Replication
- 5 Script
- 6 Verification
- 7 Summary

### Retention settings

Retention settings for up-to-the-minute restore operation ⓘ

Keep log backups applicable to last  full backups

Keep log backups applicable to last  days

### Full backup retention settings ⓘ

Weekly

Total Snapshot copies to keep

Keep Snapshot copies for  days

9. レプリケーション オプションを構成します。

New SQL Server Backup Policy x

**1** Name

**2** Backup Type

**3** Retention

**4** Replication

**5** Script

**6** Verification

**7** Summary

**Select secondary replication options** ⓘ

Update SnapMirror after creating a local Snapshot copy.

Update SnapVault after creating a local Snapshot copy.

Secondary policy label: Choose ⓘ

Error retry count: 3 ⓘ

Previous Next

10. バックアップを実行する前に実行するスクリプトを構成します。\*次へ\*をクリックします。

New SQL Server Backup Policy x

- Name
- Backup Type
- Retention
- Replication
- Script**
- Verification
- Summary

**Specify optional scripts to run before performing a backup job**

Prescript full path

Prescript arguments

**Specify optional scripts to run after performing a backup job**

Postscript full path

Postscript arguments

Script timeout  secs

11. 次のバックアップ スケジュールの検証を確認します。

New SQL Server Backup Policy x

- 1 Name
- 2 Backup Type
- 3 Retention
- 4 Replication
- 5 Script
- 6 Verification**
- 7 Summary

**Select the options to run backup verification**

Run verifications for the following backup schedules

Select how often you want the schedules to occur in the policy. The specific verification times are set at backup job creation enabling you to stagger your verification start times.

Hourly

**Database consistency checks options**

- Limit the integrity structure to physical structure of the database (PHYSICAL\_ONLY)
- Suppress all information message (NO\_INFOMSGS)
- Display all reported error messages per object (ALL\_ERRORMSG5)
- Do not check non-clustered indexes (NOINDEX)
- Limit the checks and obtain the locks instead of using an internal database Snapshot copy (TABLOCK)

Verification script settings ⓘ

Script timeout:  SECS

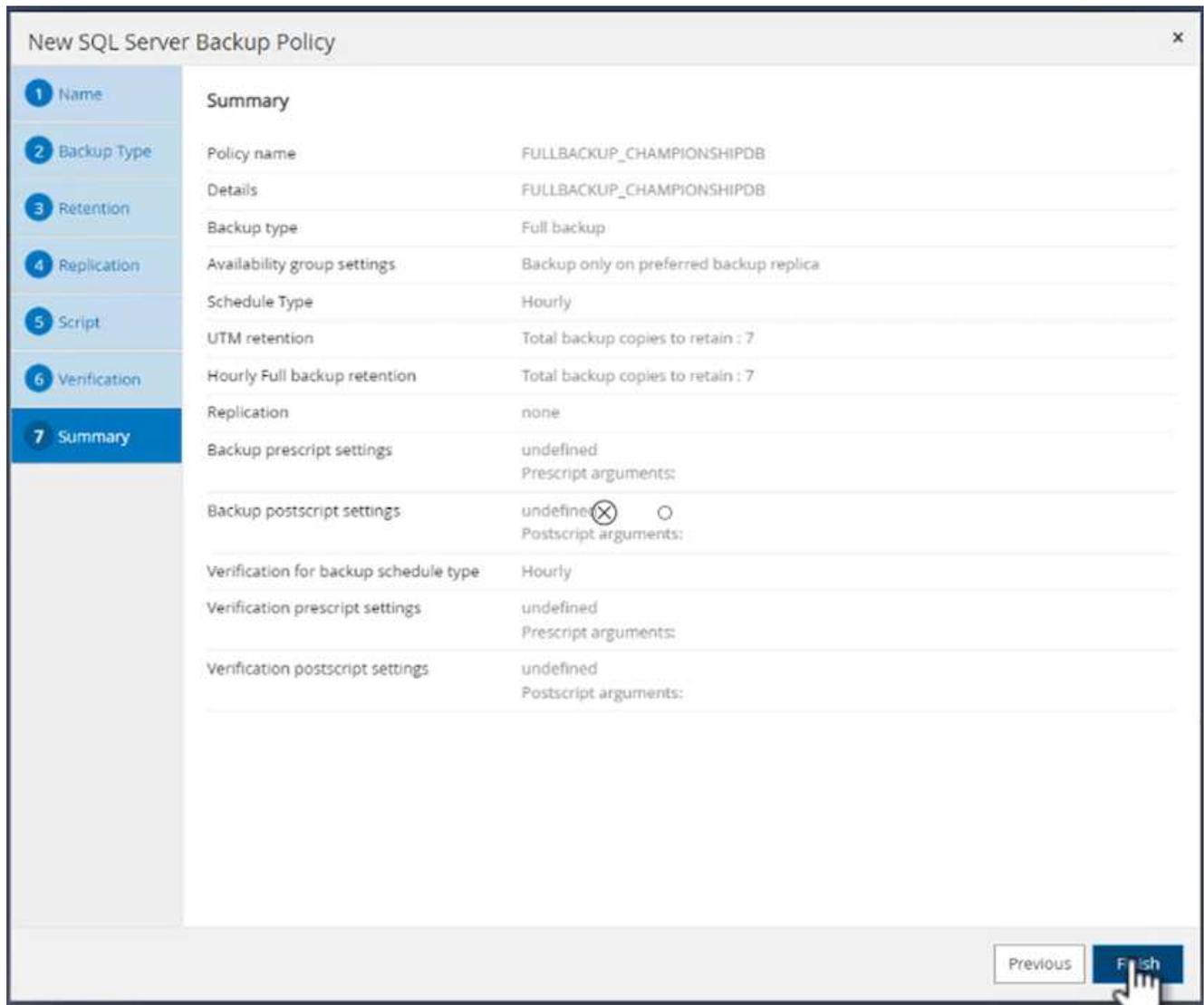
Prescript full path:

Prescript arguments:

Postscript full path:

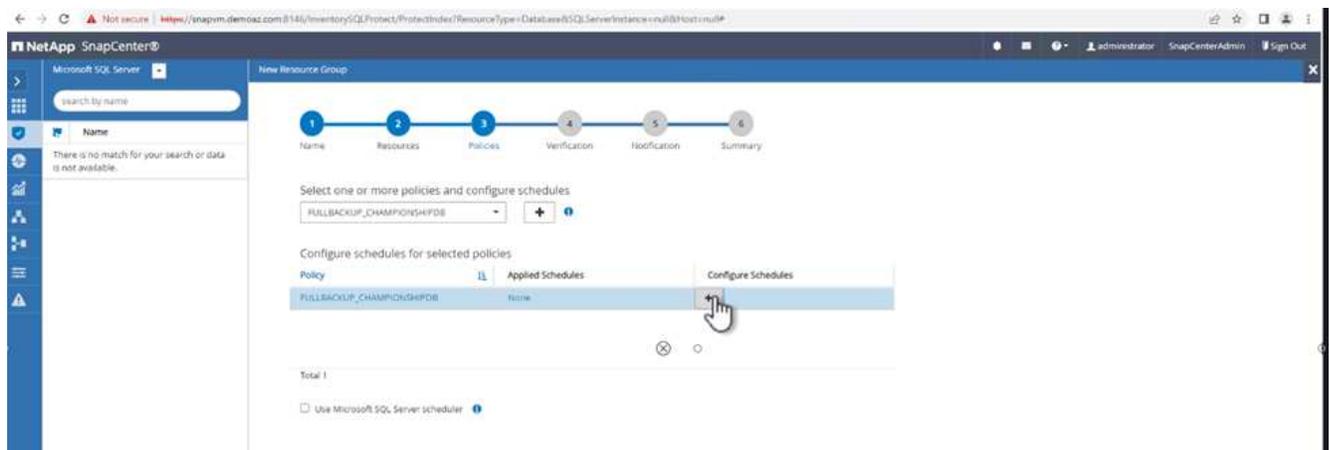
Postscript arguments:

12. \*概要\*ページで情報を確認し、\*完了\*をクリックします。



## 複数の SQL Server データベースを構成および保護する

1. (+) 記号をクリックして、開始日と有効期限を設定します。



2. 時間を設定します。

Add schedules for policy FULLBACKUP\_CHAMPIONSHIPDB



Hourly

Start date

11/11/2022 05:30 pm



Expires on

12/11/2022 05:27 pm



Repeat every

1



hours

0

mins



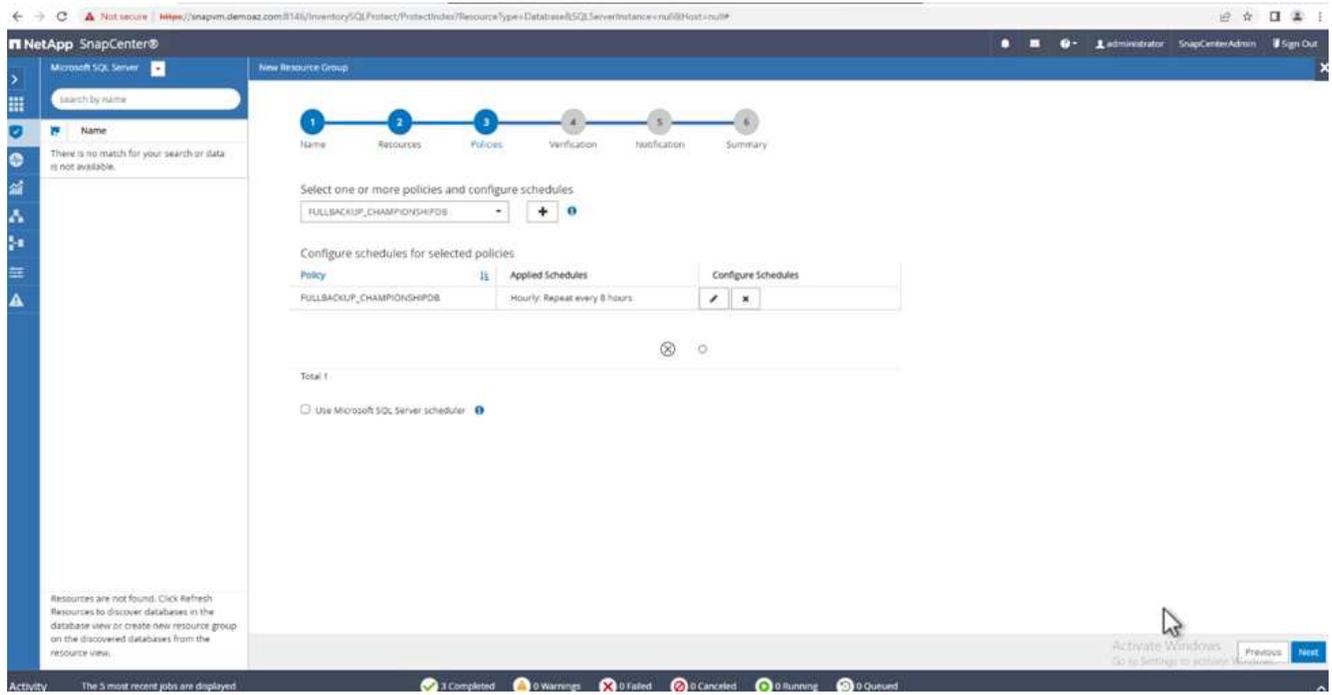
The schedules are triggered in the SnapCenter Server time zone.



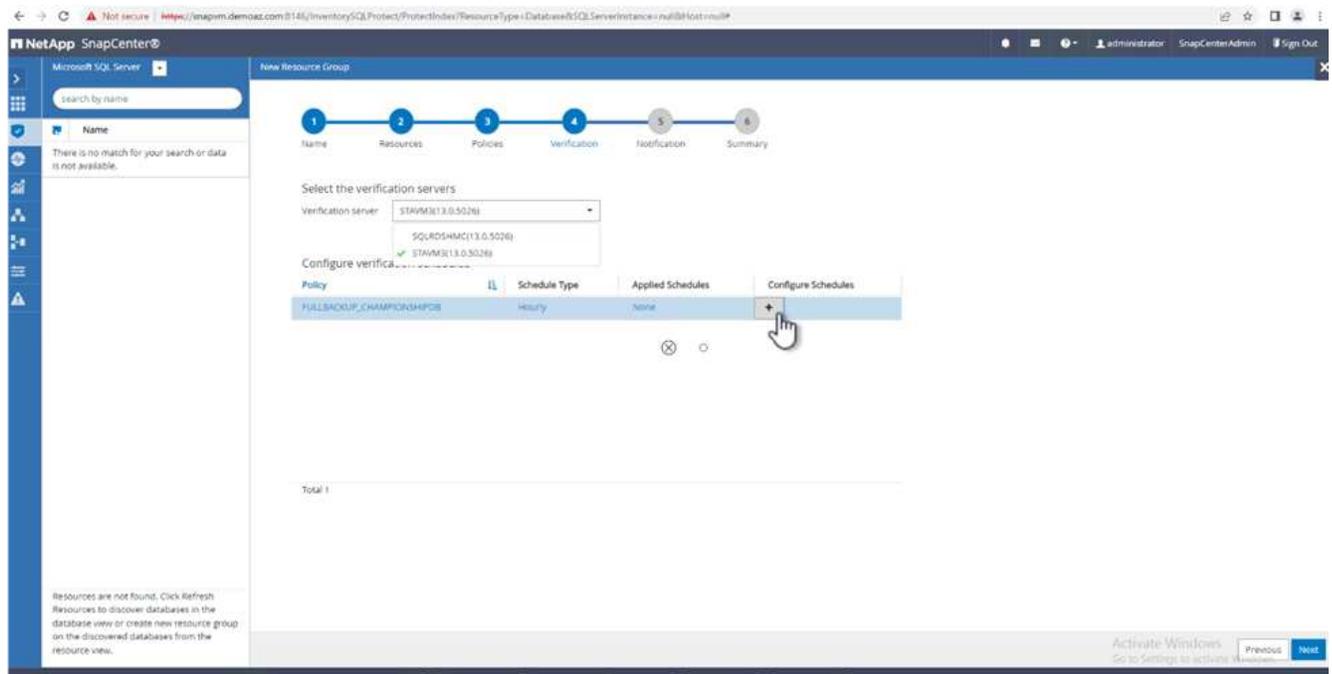
Cancel

OK

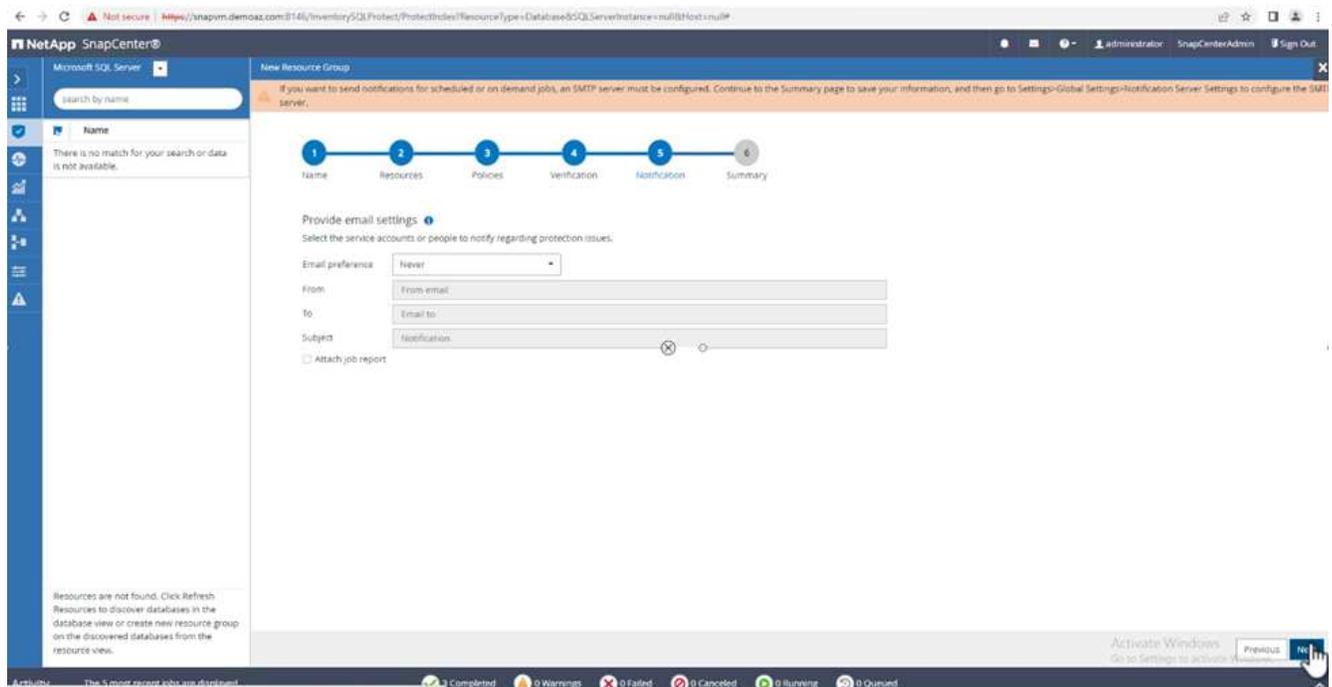




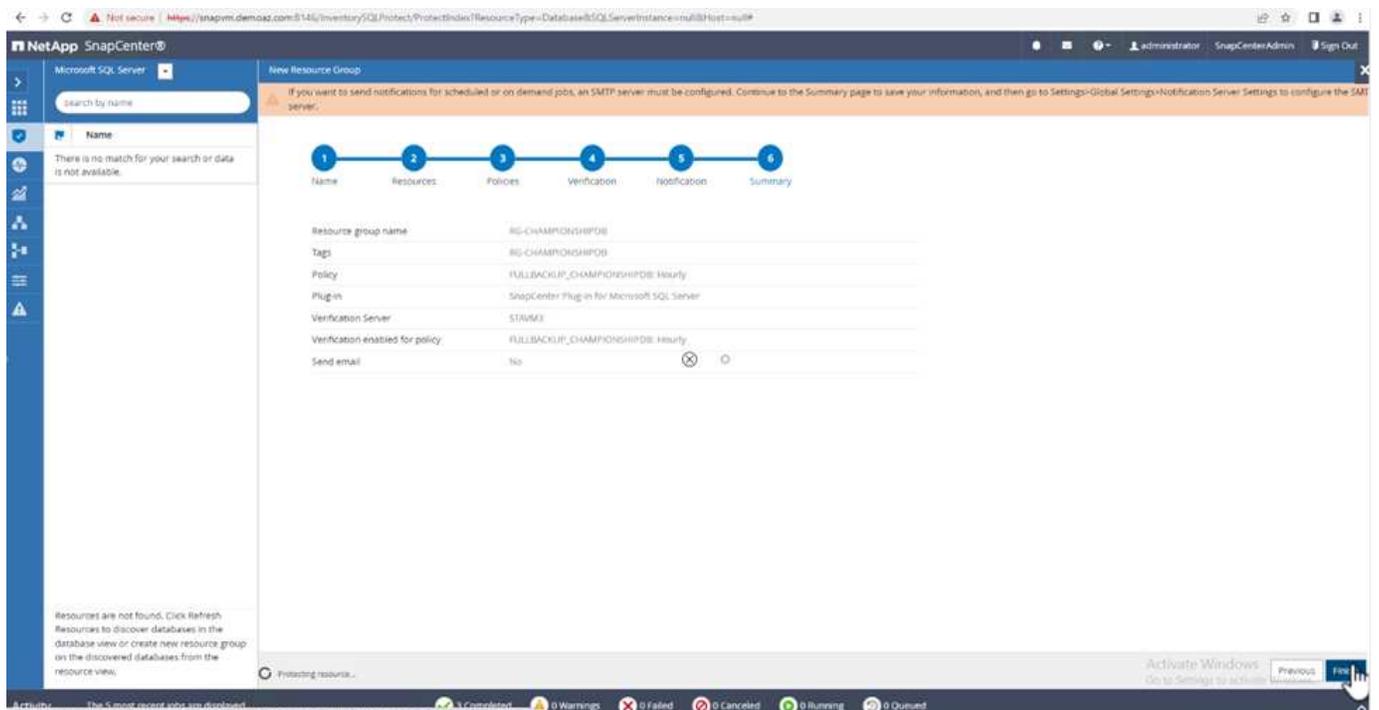
3. \*検証\*タブからサーバーを選択し、スケジュールを構成して\*次へ\*をクリックします。



4. 電子メールを送信するように通知を設定します。

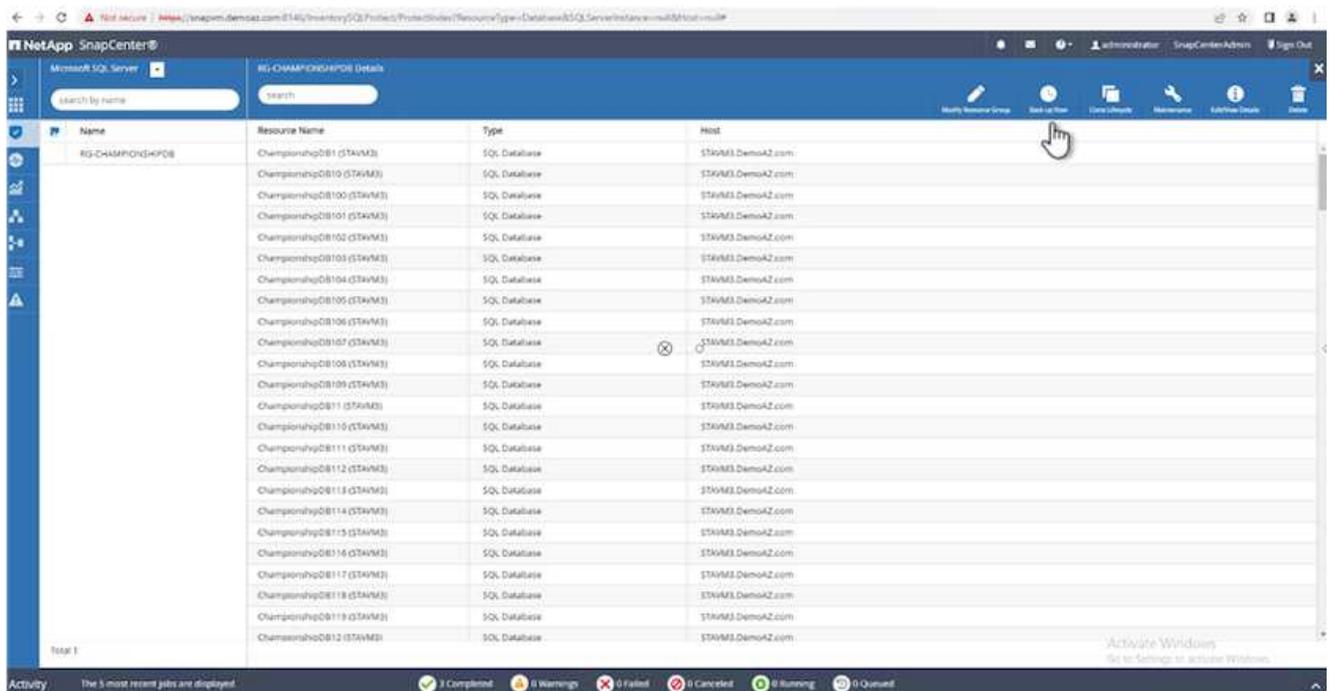


これで、複数の SQL Server データベースをバックアップするためのポリシーが構成されました。

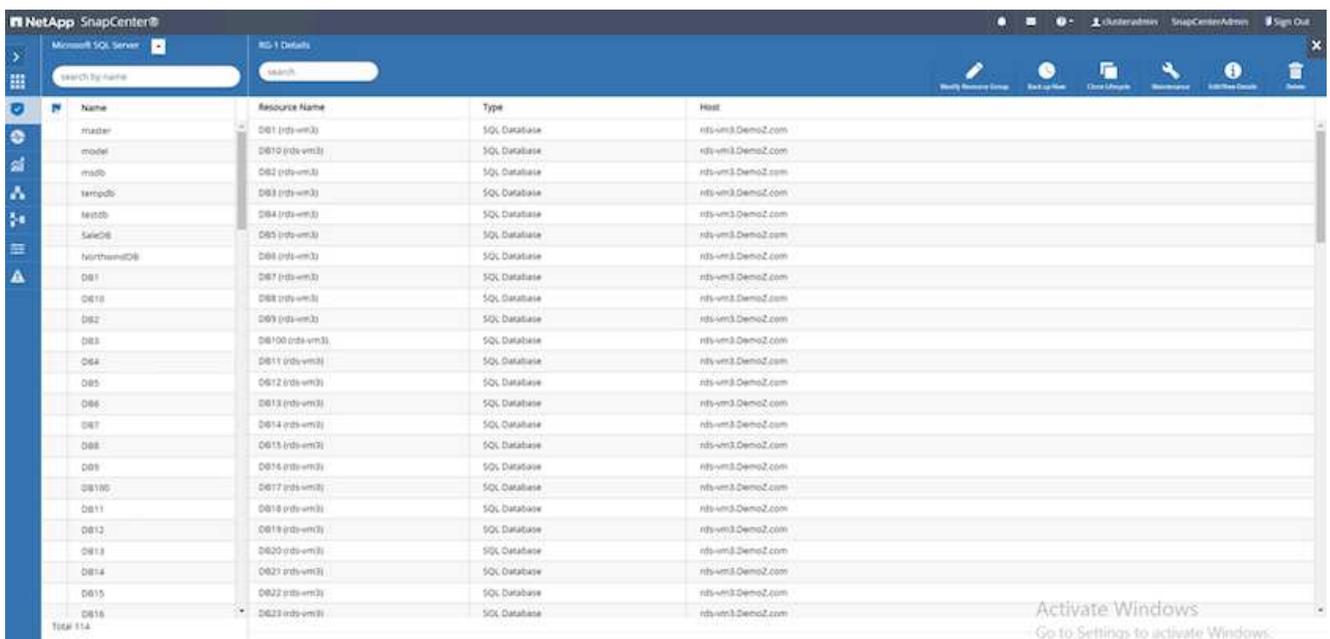


## 複数の SQL Server データベースのオンデマンド バックアップをトリガーする

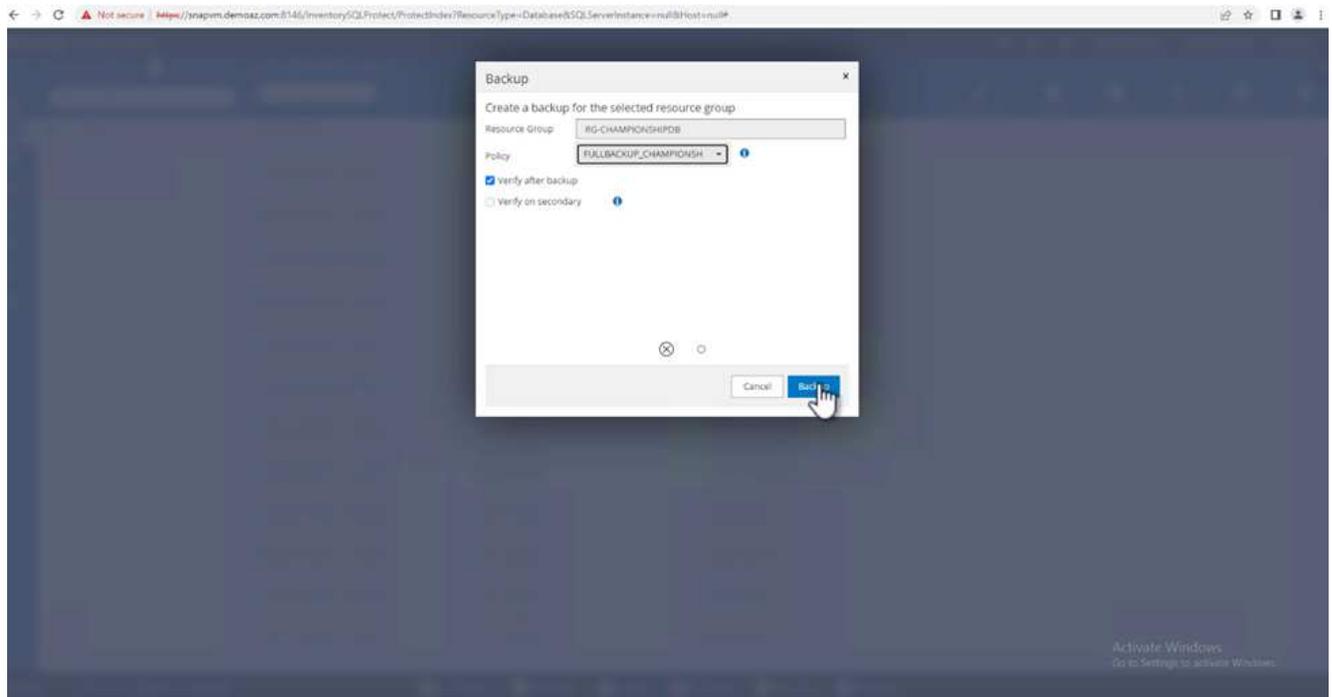
1. リソース\*タブから、ビューを選択します。ドロップダウンメニューから、[\*リソース グループ] を選択します。



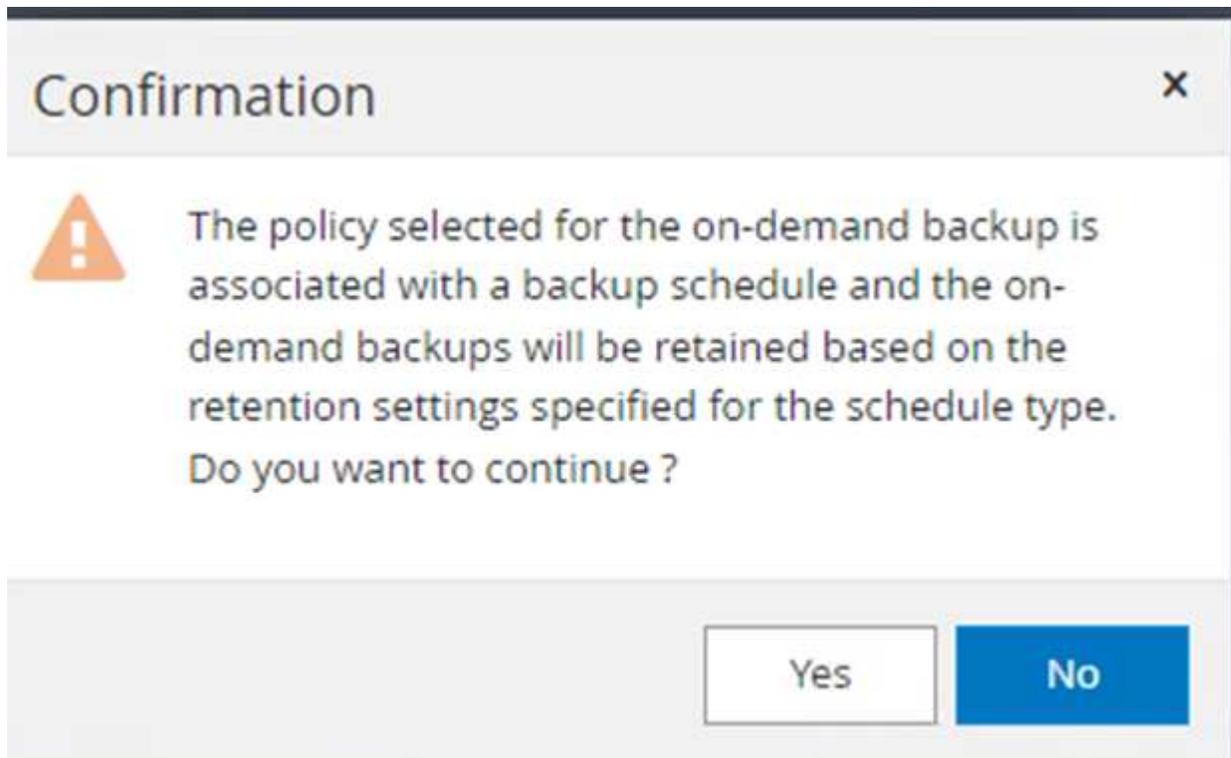
2. リソース グループ名を選択します。
3. 右上の\*今すぐバックアップ\*をクリックします。



4. 新しいウィンドウが開きます。\*バックアップ後に検証\*チェックボックスをクリックしてから、バックアップをクリックします。

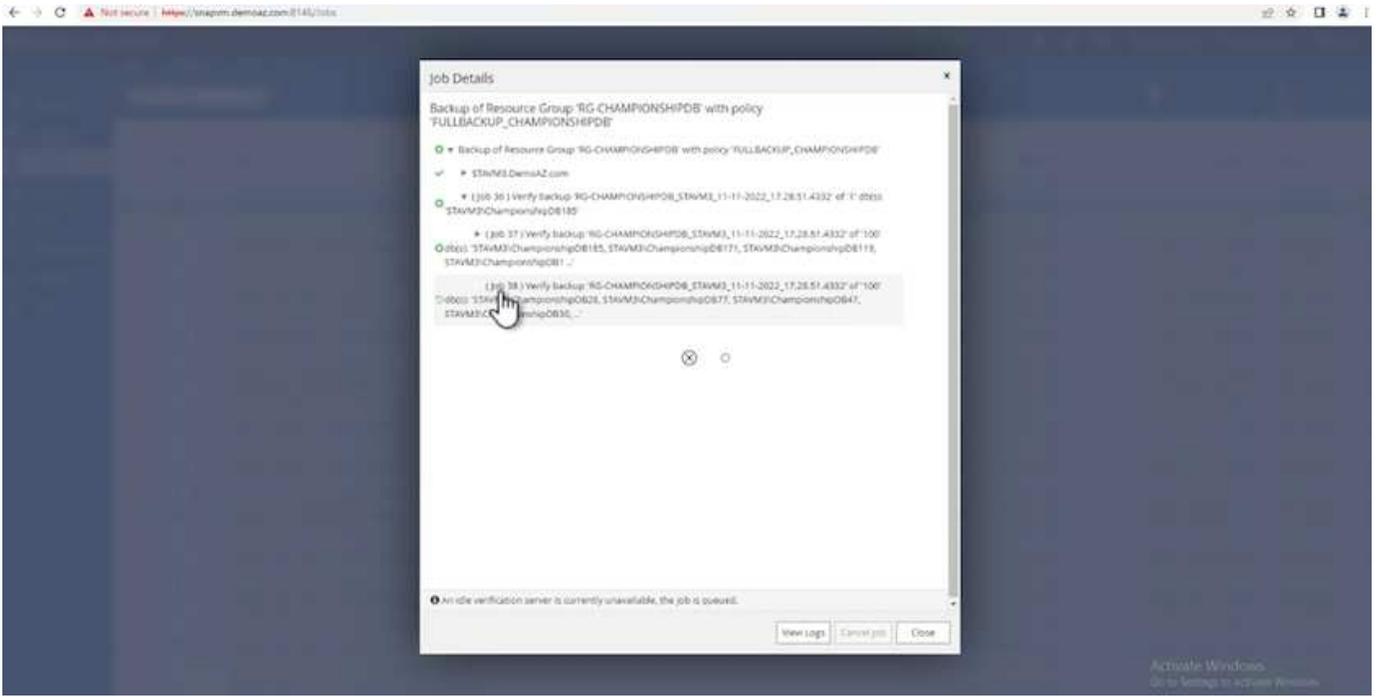


5. 確認メッセージが表示されます。\*はい\*をクリックします。

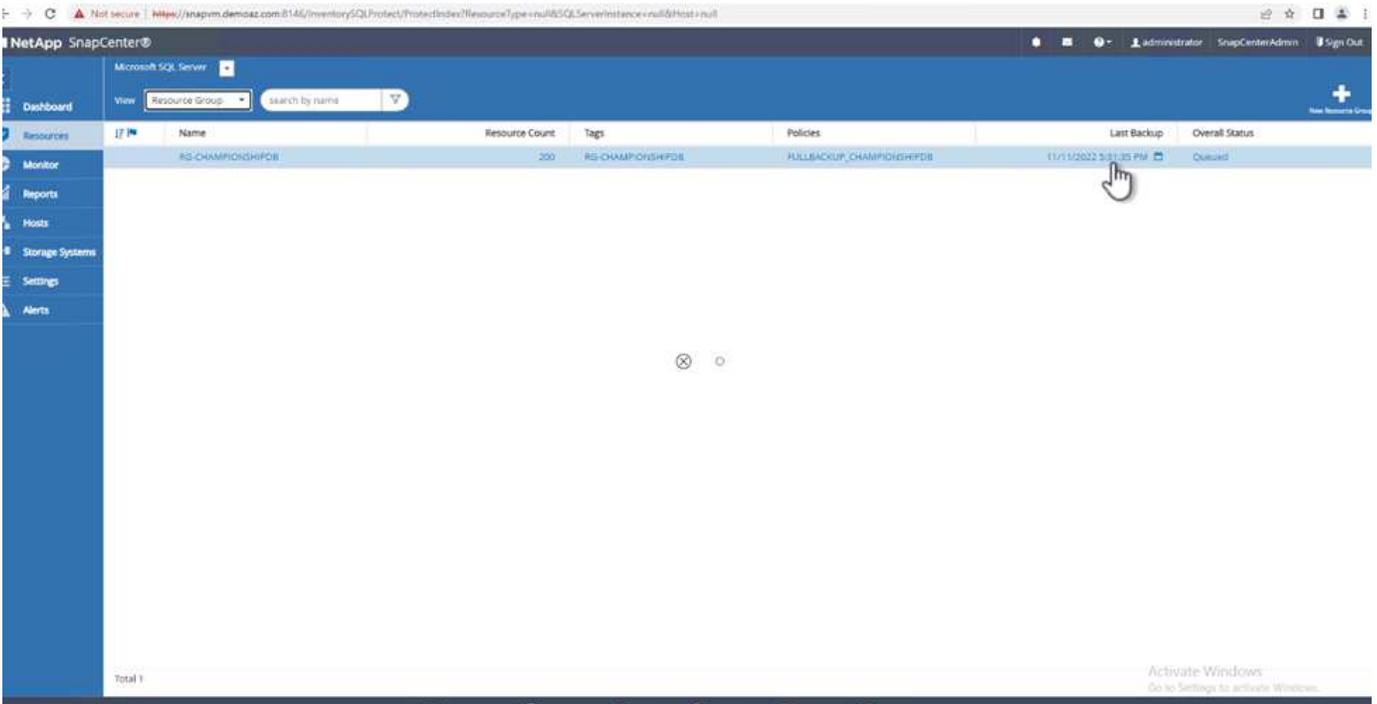


## 複数のデータベースのバックアップジョブを監視する

左側のナビゲーションバーから [モニター] をクリックし、バックアップジョブを選択して [詳細] をクリックし、ジョブの進行状況を表示します。



リソース タブをクリックすると、バックアップが完了するまでにかかる時間が表示されます。

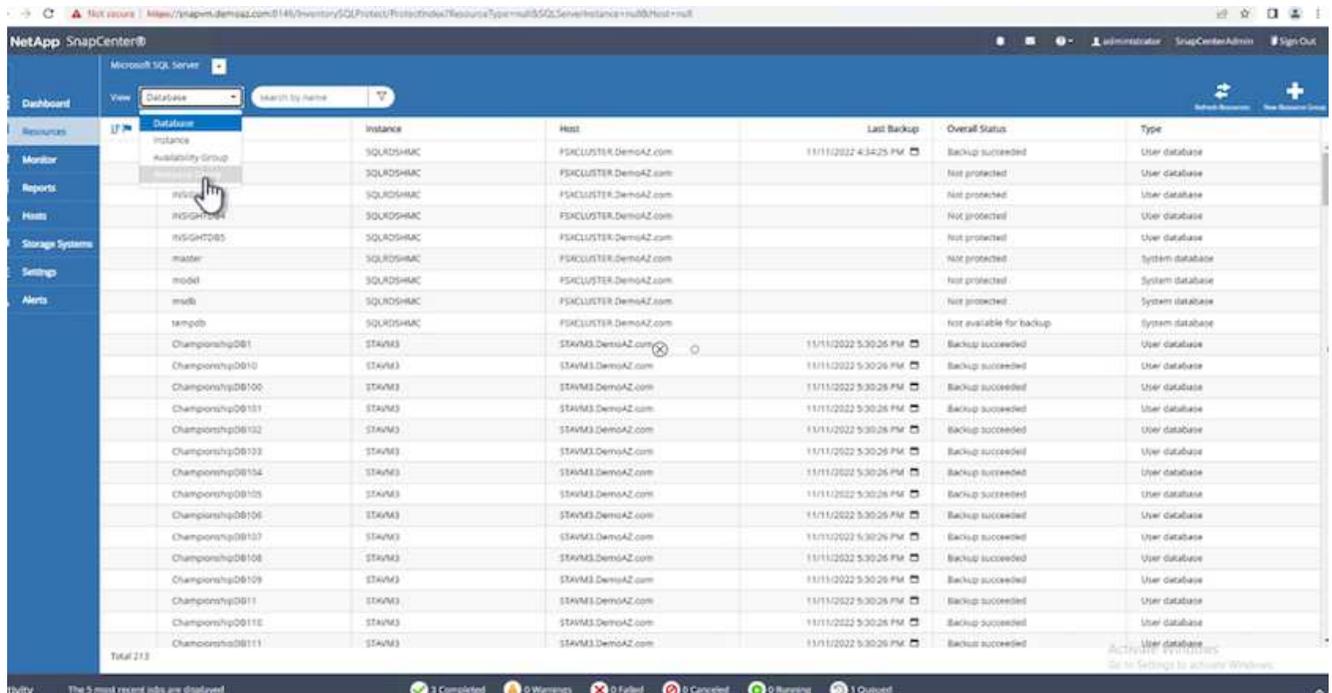


## 複数のデータベースのバックアップのためのトランザクションログ バックアップ

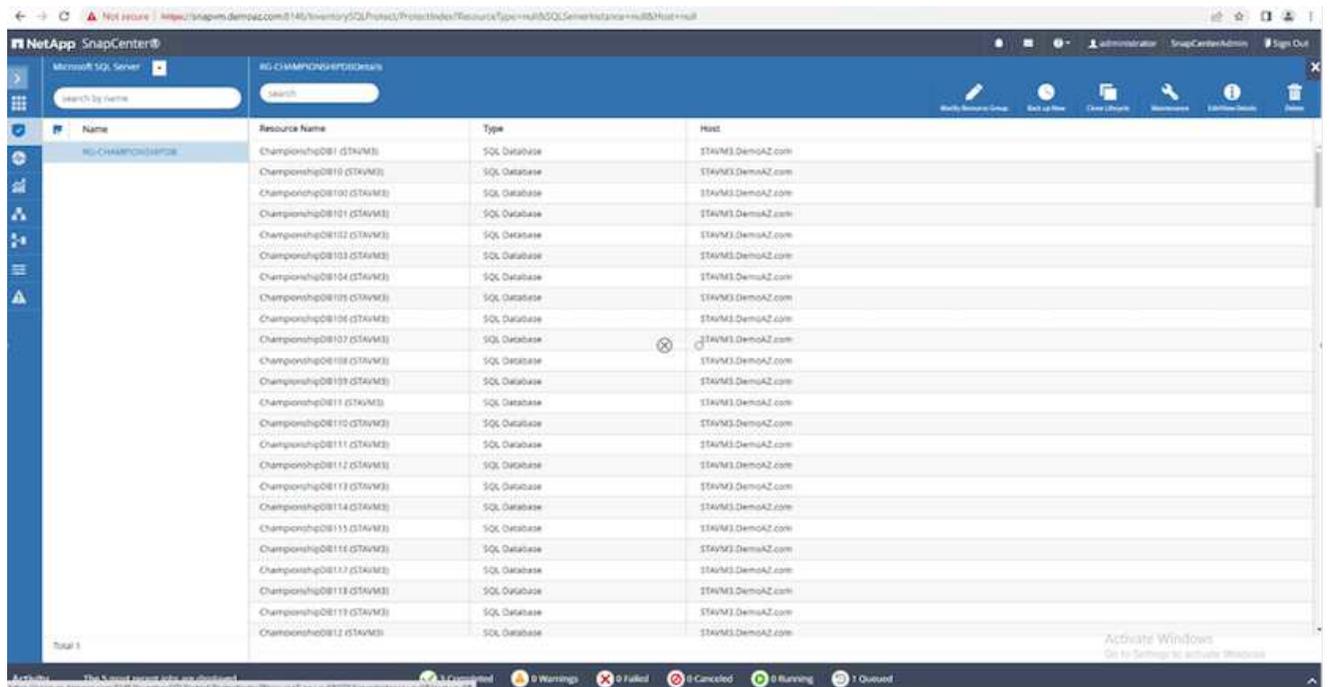
SnapCenter は、完全復旧モデル、一括ログ復旧モデル、およびシンプル復旧モデルをサポートしています。シンプル リカバリ モードでは、トランザクション ログのバックアップはサポートされません。

トランザクション ログのバックアップを実行するには、次の手順を実行します。

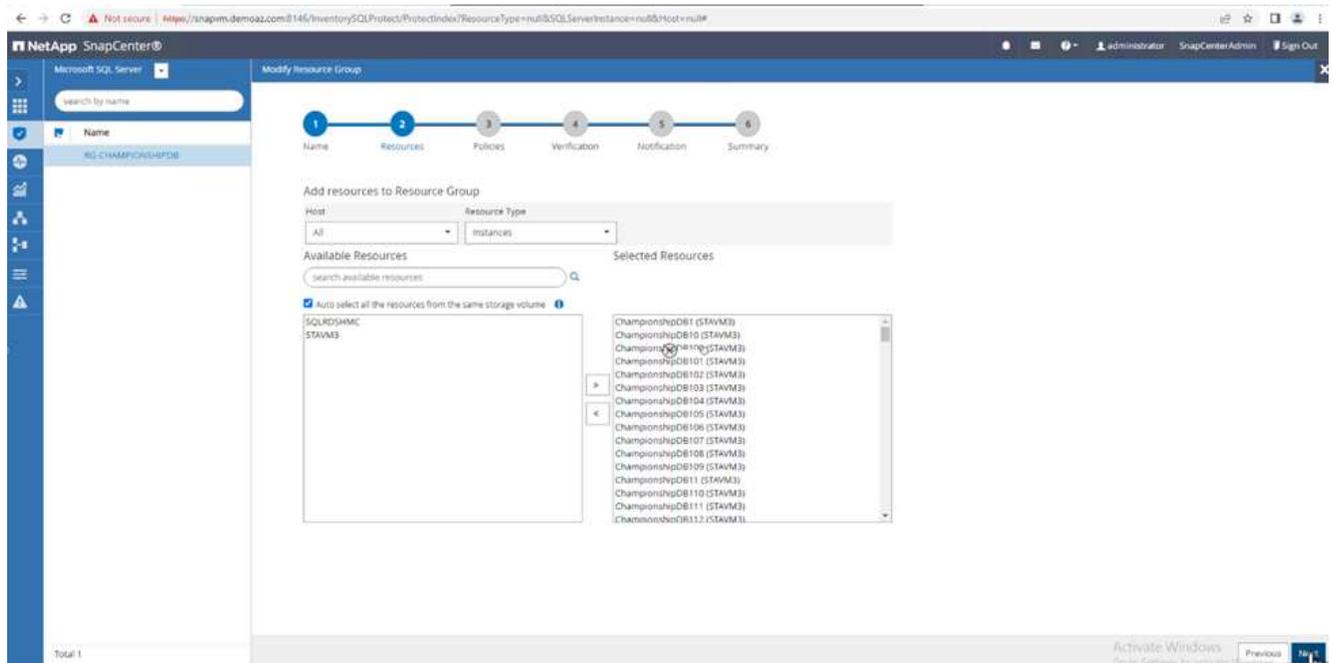
1. \*リソース\*タブで、表示メニューを\*データベース\*から\*リソース グループ\*に変更します。



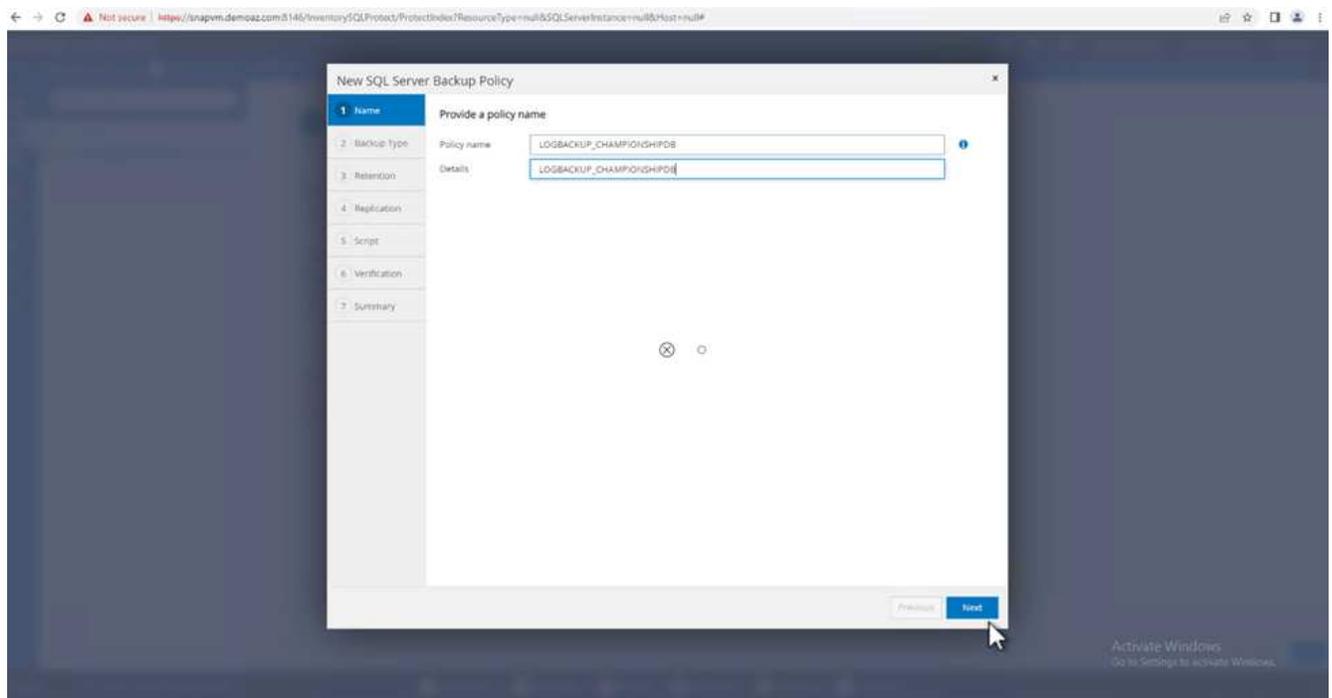
2. 作成されたリソース グループ バックアップ ポリシーを選択します。
3. 右上にある\*リソース グループの変更\*を選択します。



4. 名前 セクションのデフォルトは、バックアップ ポリシーの名前とタグです。\*次へ\*をクリックします。  
リソース タブには、トランザクション バックアップ ポリシーを構成するベースが強調表示されます。



5. ポリシー名を入力します。



6. SQL Server バックアップ オプションを選択します。
7. ログバックアップを選択します。
8. 会社の RTO に基づいてスケジュール頻度を設定します。\*次へ\*をクリックします。

New SQL Server Backup Policy ×

- 1 Name
- 2 Backup Type**
- 3 Retention
- 4 Replication
- 5 Script
- 6 Verification
- 7 Summary

### Select SQL server backup options

Choose backup type

Full backup and log backup

Full backup

Log backup

Copy only backup i

Maximum databases backed up per Snapshot copy:  i

Availability Group Settings ▼

### Schedule frequency

Select how often you want the schedules to occur in the policy. The specific times are set at backup job creation enabling you to stagger your start times.

On demand

Hourly

Daily

Weekly

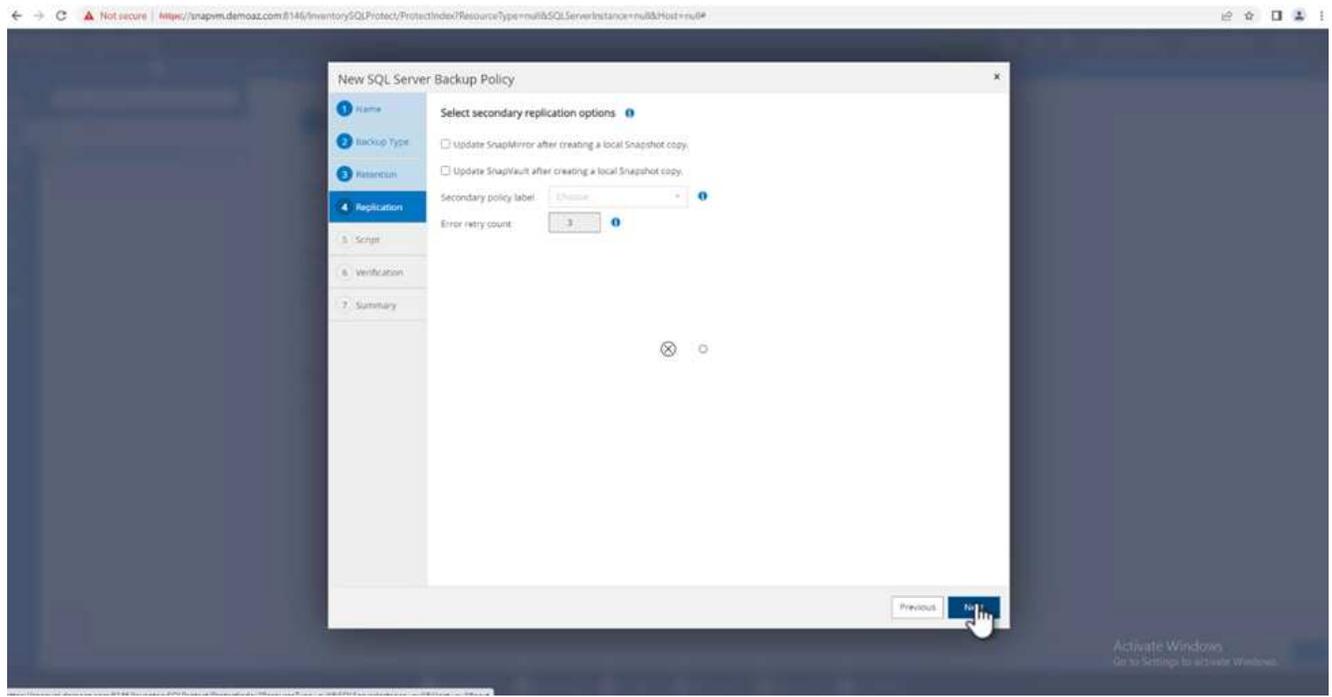
Monthly

9. ログ バックアップの保持設定を構成します。\*次へ\*をクリックします。

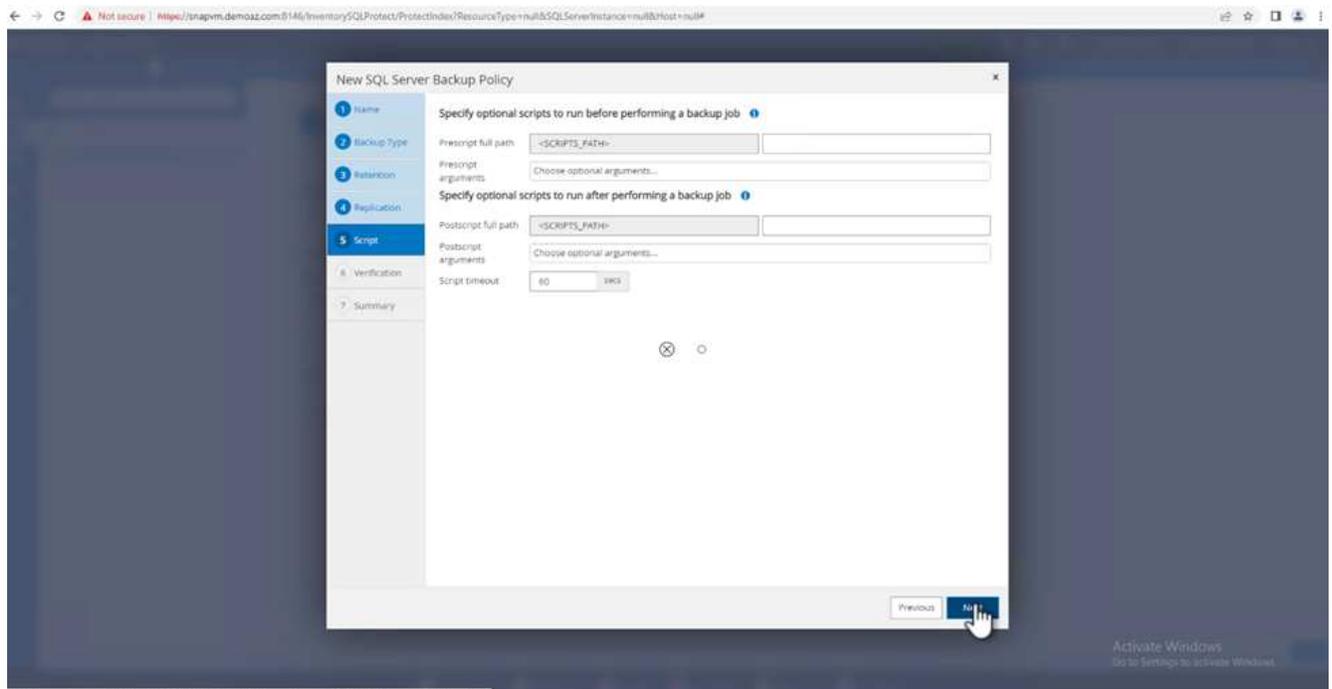
|                    |  |
|--------------------|--|
| 1 Name             | <b>Log backup retention settings</b><br><br>Up-to-the-minute (UTM) retention settings retains log backups created as part of full backup and full and log backup operations. UTM retention settings also decides for how many full backups the log backups are to be retained. For example, if UTM retention settings is configured to retain log backups of the last 5 full backups, then the log backups of the last 5 full backups are retained and the rest are deleted. |
| 2 Backup Type      |  |
| <b>3 Retention</b> |  |
| 4 Replication      |  |
| 5 Script           |  |
| 6 Verification     |  |
| 7 Summary          |  |

Previous Next

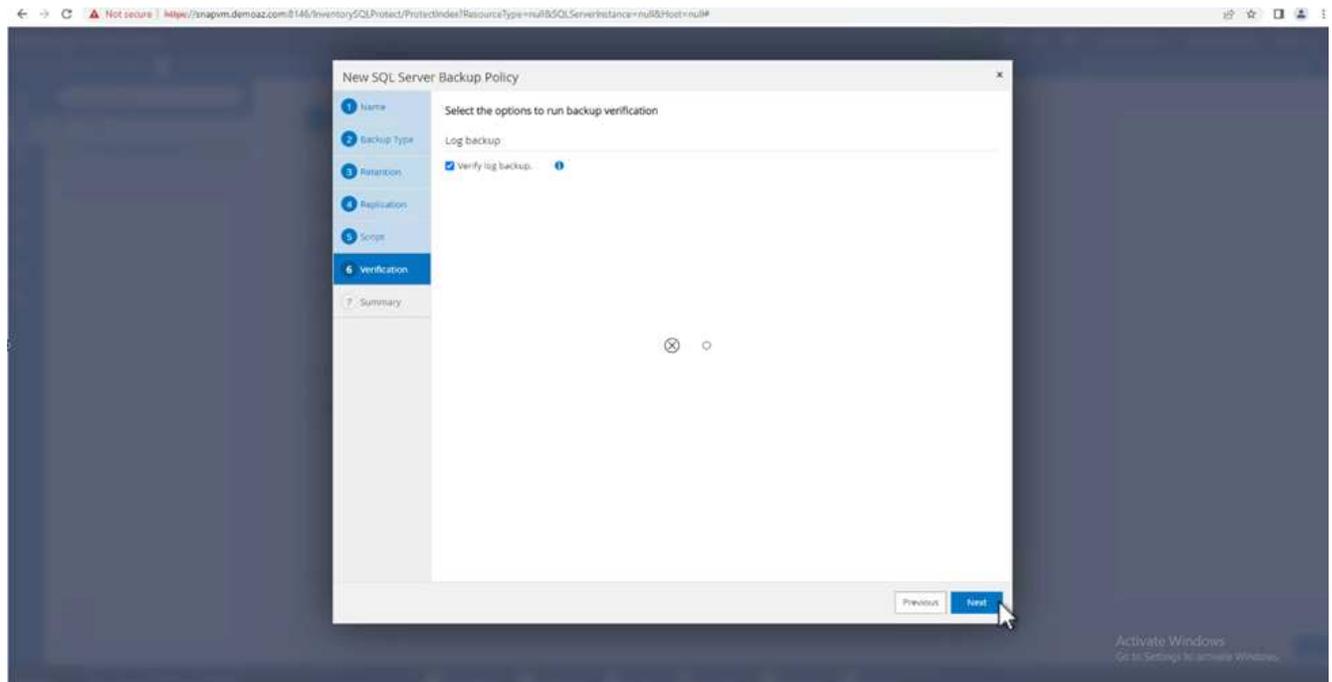
10. (オプション) レプリケーション オプションを構成します。



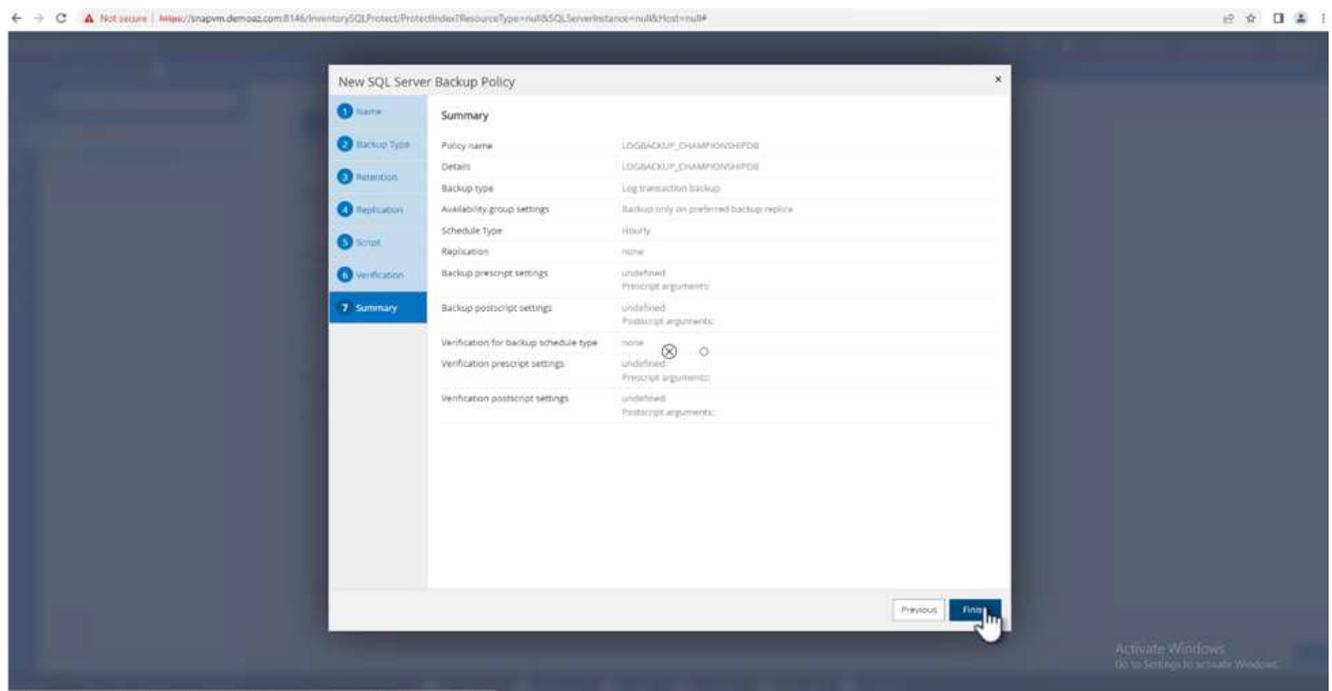
11. (オプション) バックアップ ジョブを実行する前に実行するスクリプトを構成します。



12. (オプション) バックアップ検証を構成します。

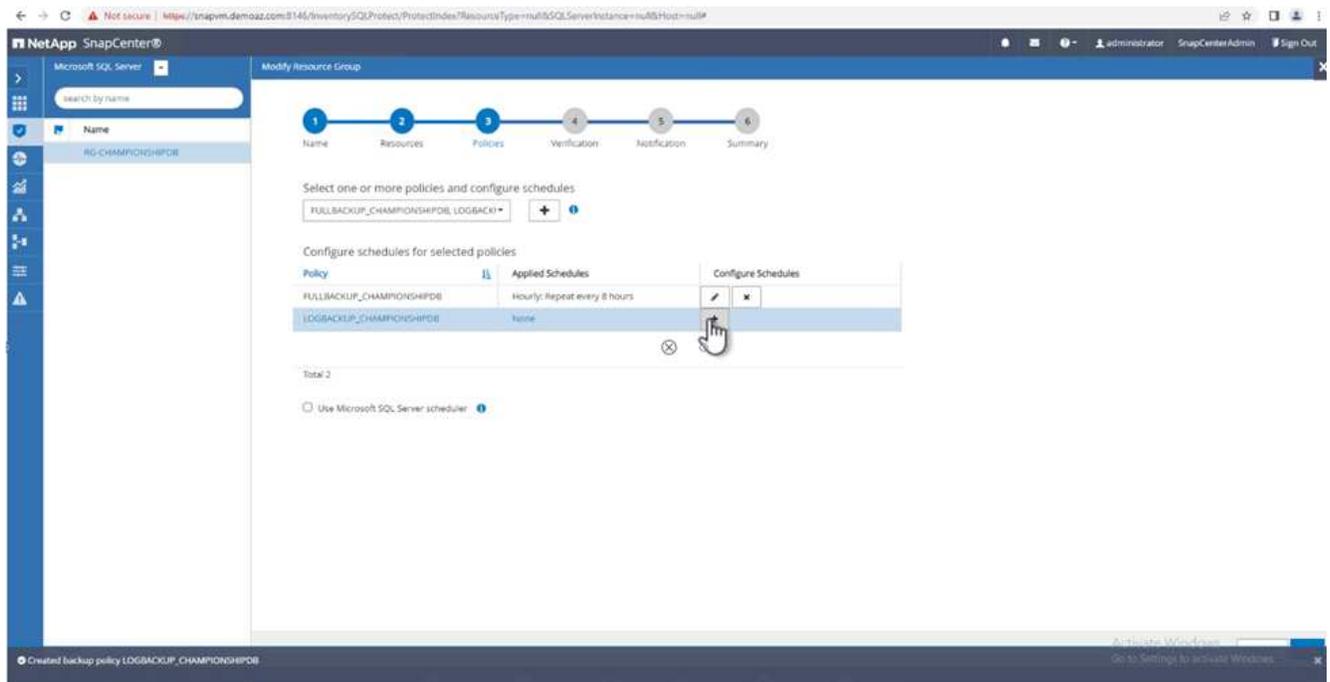


13. \*概要\*ページで\*完了\*をクリックします。

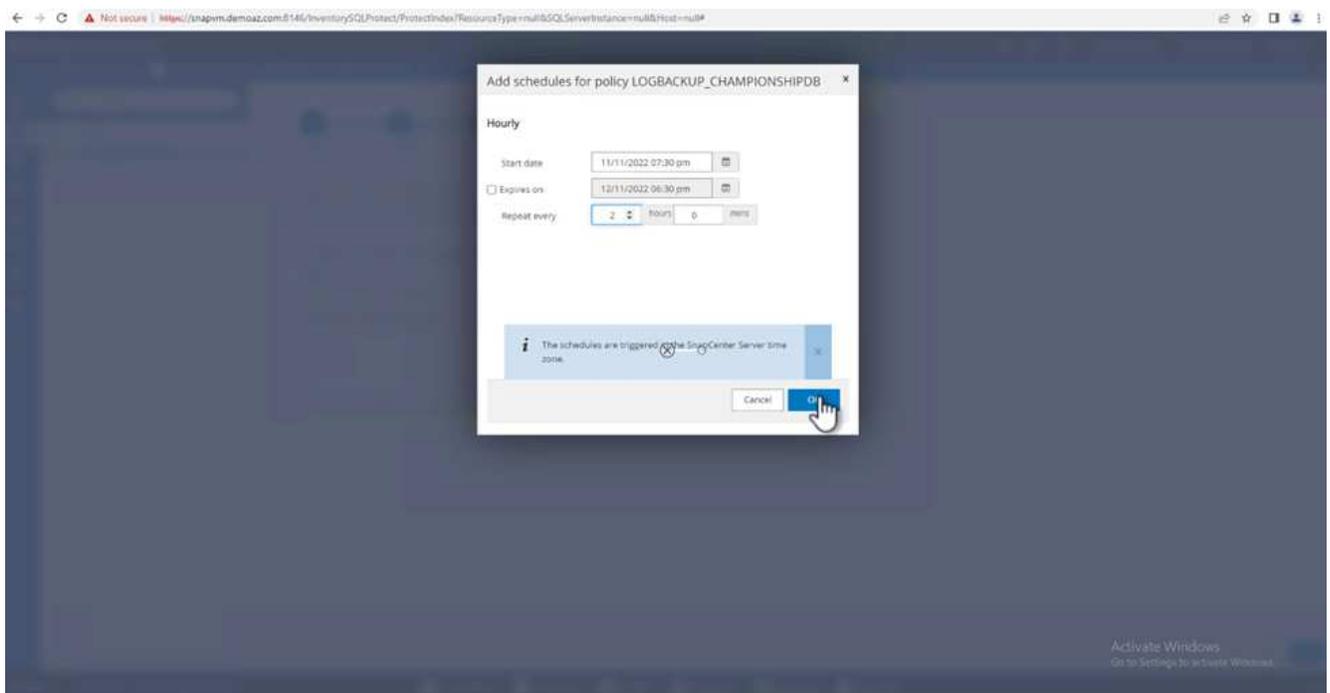


## 複数の MSSQL Server データベースを構成および保護する

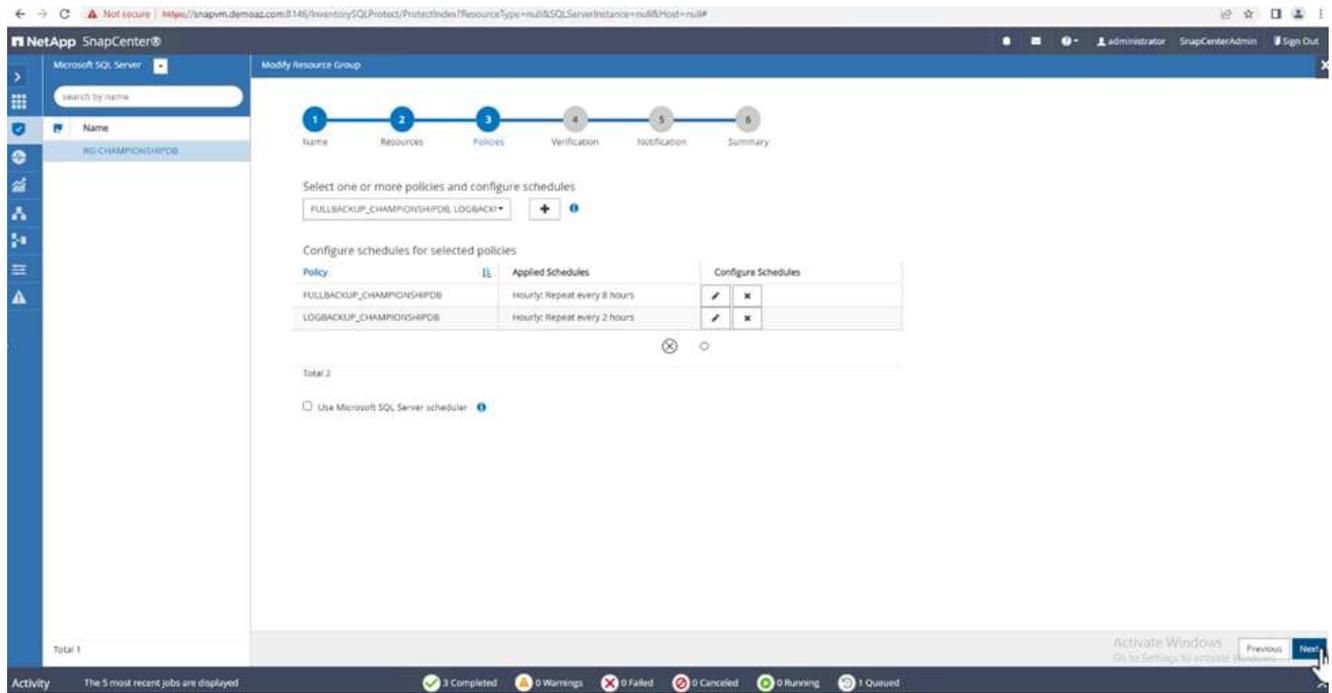
1. 新しく作成されたトランザクション ログ バックアップ ポリシーをクリックします。



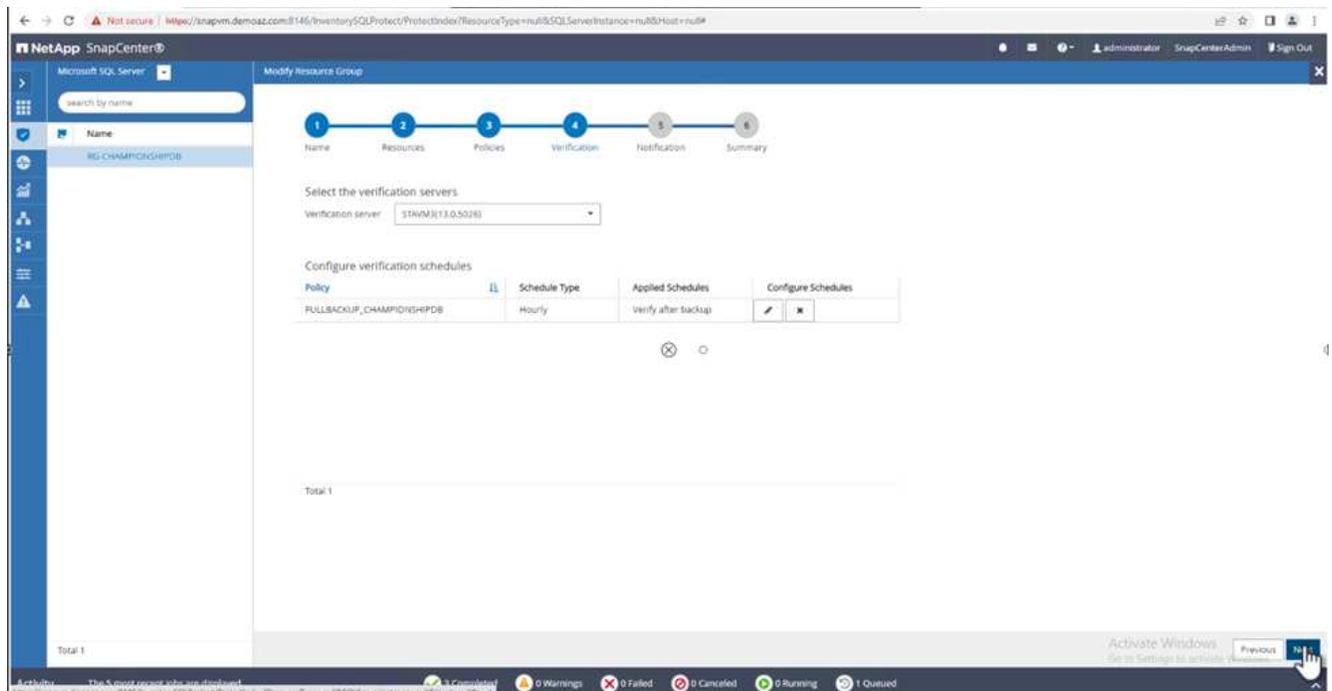
2. \*開始日\*と\*有効期限\*の日付を設定します。
3. SLA、RTP、RPO に応じてログ バックアップ ポリシーの頻度を入力します。[OK]をクリックします。



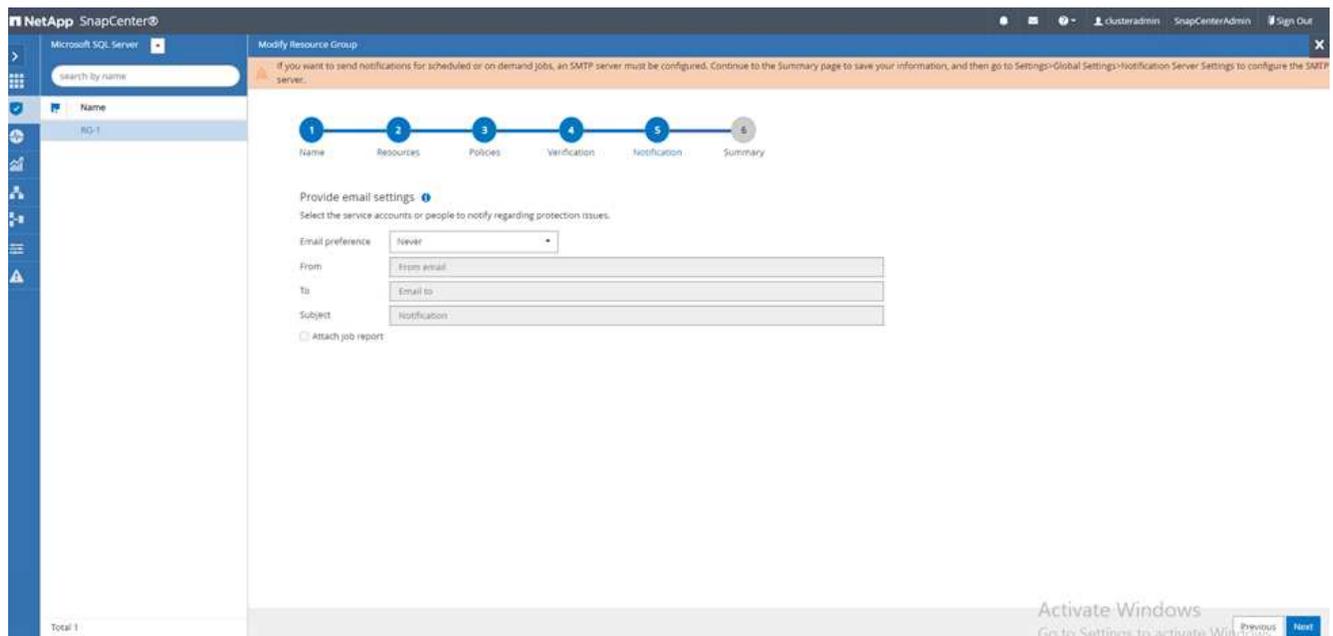
4. 両方のポリシーを見ることができます。\*次へ\*をクリックします。



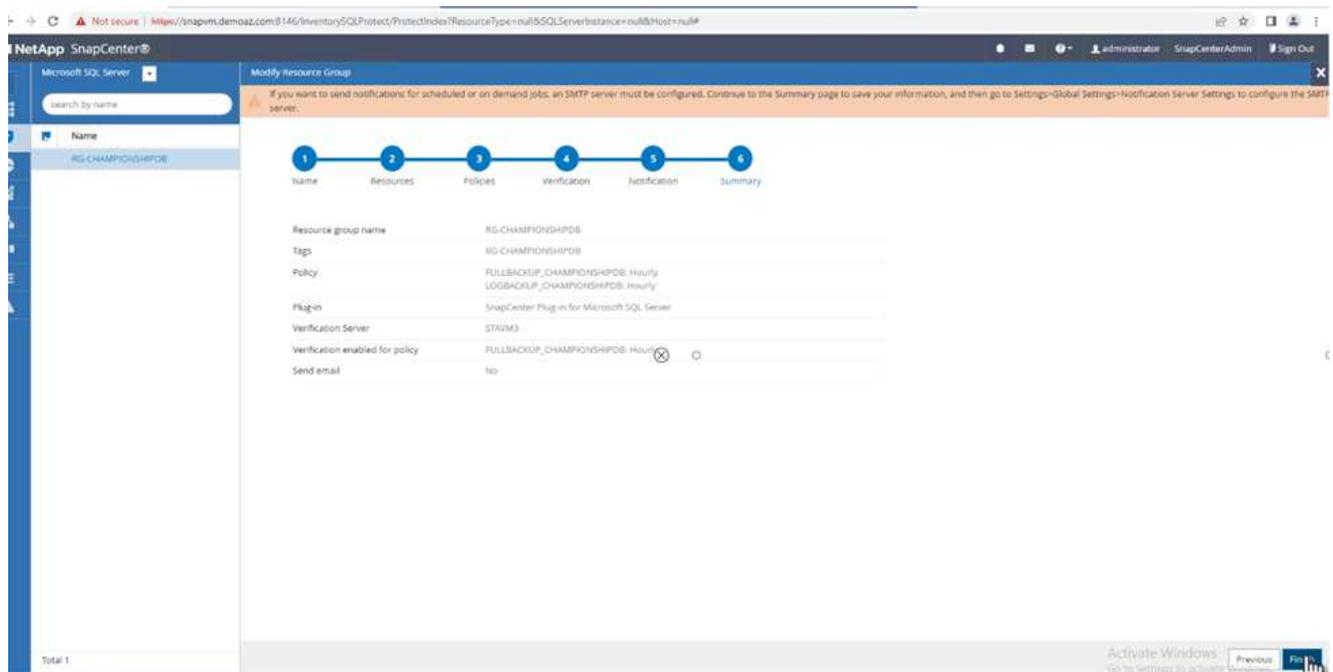
5. 検証サーバーを構成します。



6. 電子メール通知を設定します。



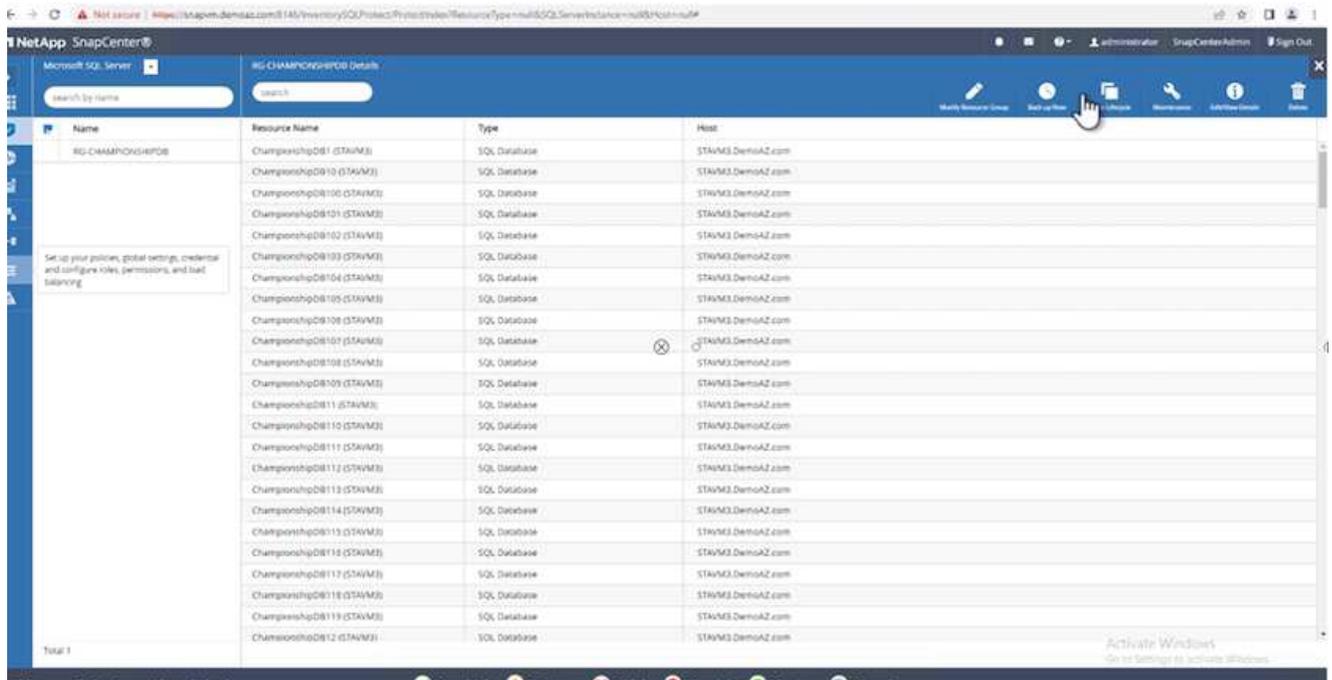
7. \*概要\*ページで\*完了\*をクリックします。



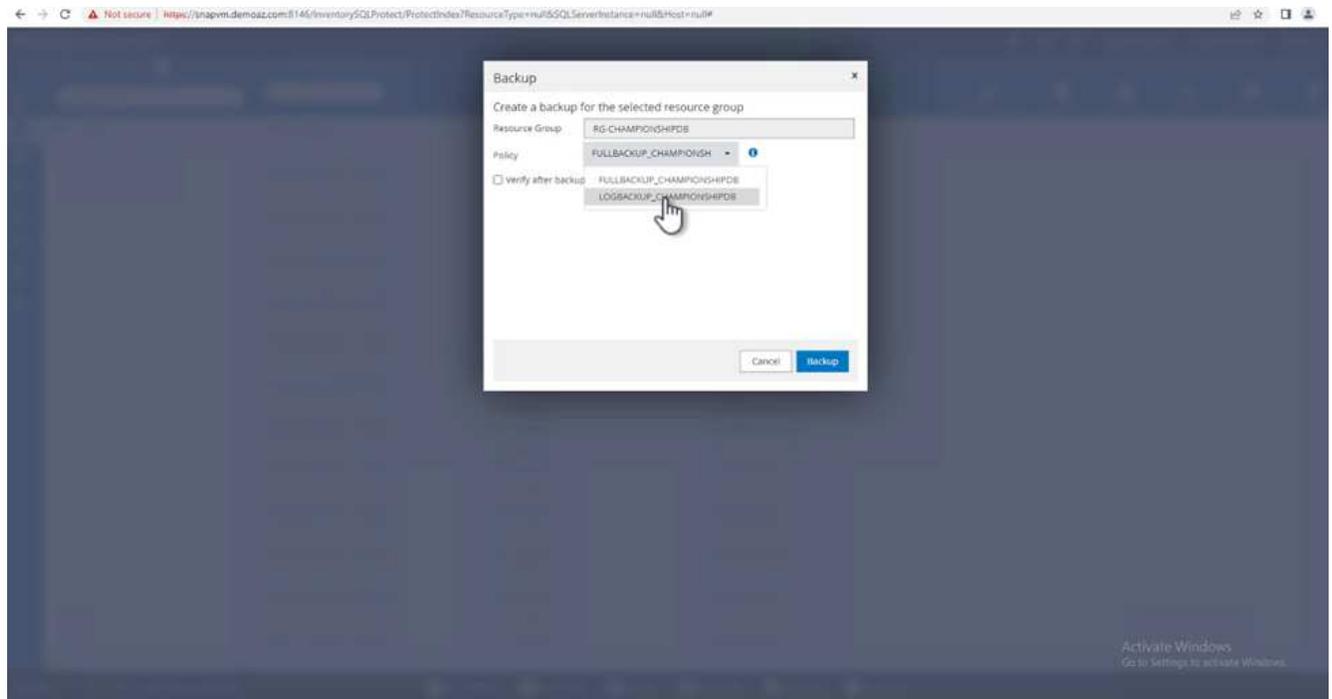
## 複数の SQL Server データベースのオンデマンド トランザクション ログ バックアップをトリガーする

複数の SQL Server データベースのトランザクション ログのオンデマンド バックアップをトリガーするには、次の手順を実行します。

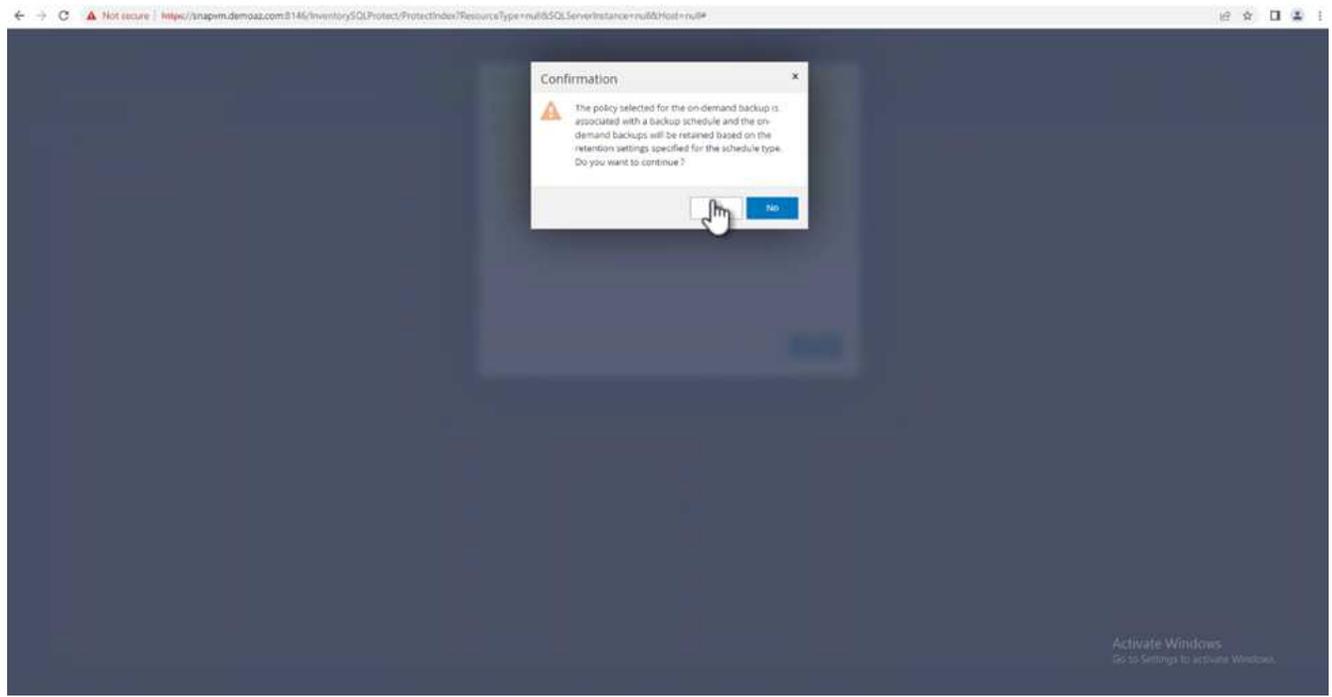
1. 新しく作成されたポリシー ページで、ページの右上にある [今すぐバックアップ] を選択します。



2. ポリシー タブのポップアップからドロップダウン メニューを選択し、バックアップ ポリシーを選択して、トランザクション ログ バックアップを構成します。

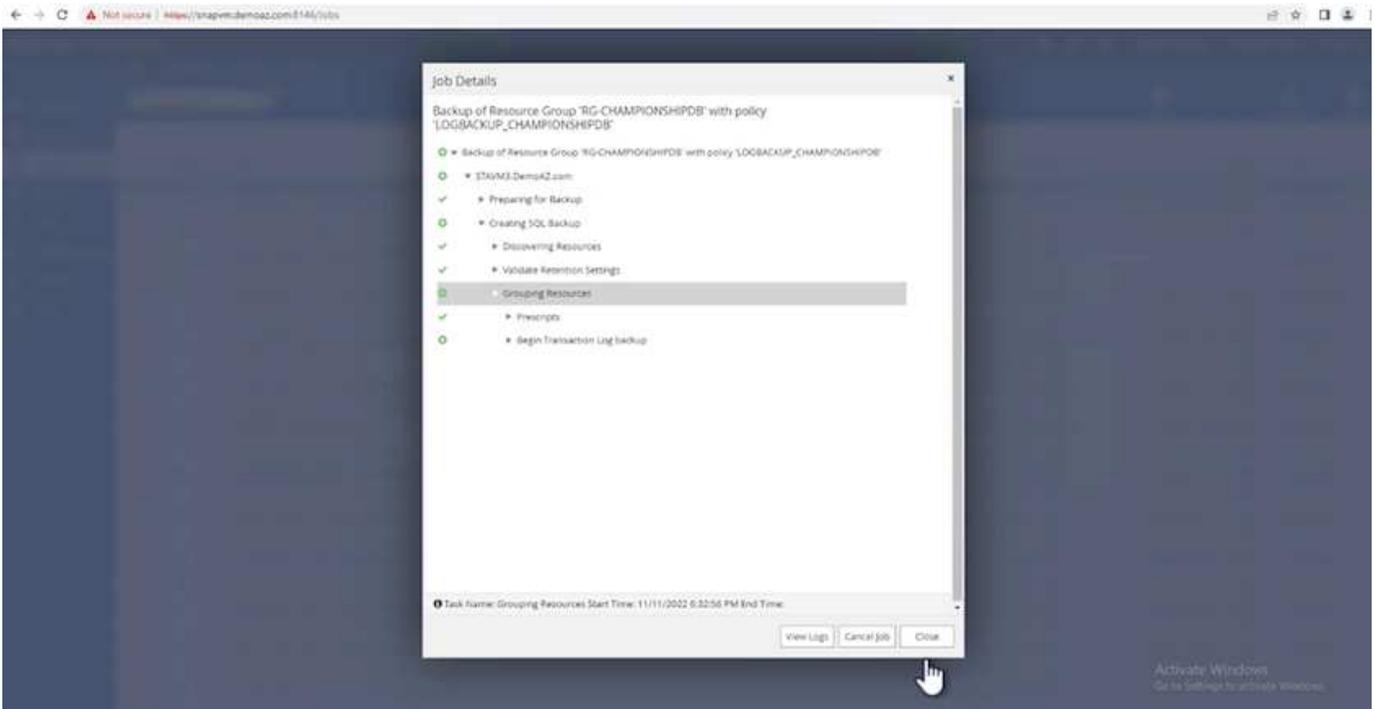


3. \*バックアップ\*をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
4. バックアップ ポリシーを確認するには、[はい] をクリックします。



## 監視

\*監視\*タブに移動して、バックアップジョブの進行状況を監視します。



## リストアとリカバリ

SnapCenterで SQL Server データベースを復元するために必要な次の前提条件を参照してください。

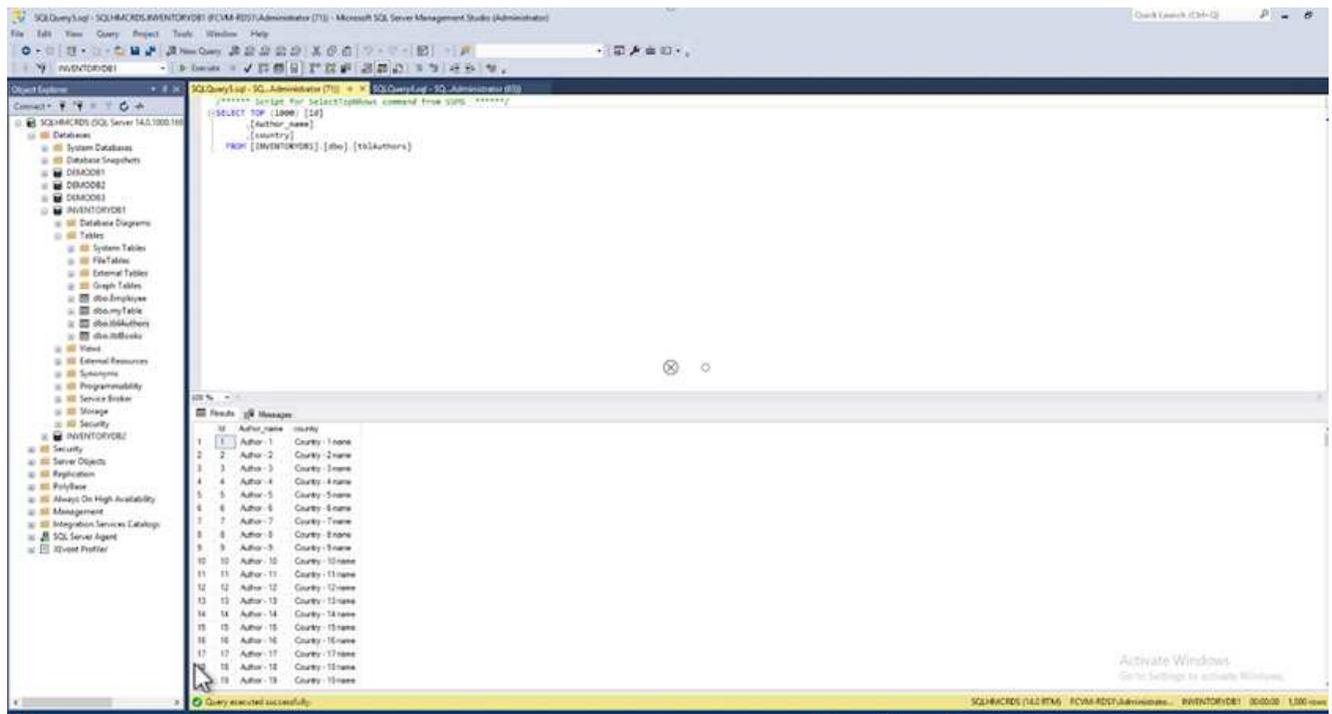
- 復元ジョブが完了する前に、ターゲット インスタンスがオンラインで実行されている必要があります。

- SQL Server データベースに対して実行するようにスケジュールされているSnapCenter操作は、リモート管理サーバーまたはリモート検証サーバー上でスケジュールされているジョブも含めて無効にする必要があります。
- カスタム ログ ディレクトリのバックアップを代替ホストに復元する場合は、SnapCenterサーバとプラグイン ホストに同じバージョンのSnapCenterがインストールされている必要があります。
- システム データベースを別のホストに復元できます。
- SnapCenter は、SQL Server クラスター グループをオフラインにすることなく、Windows クラスター内のデータベースを復元できます。

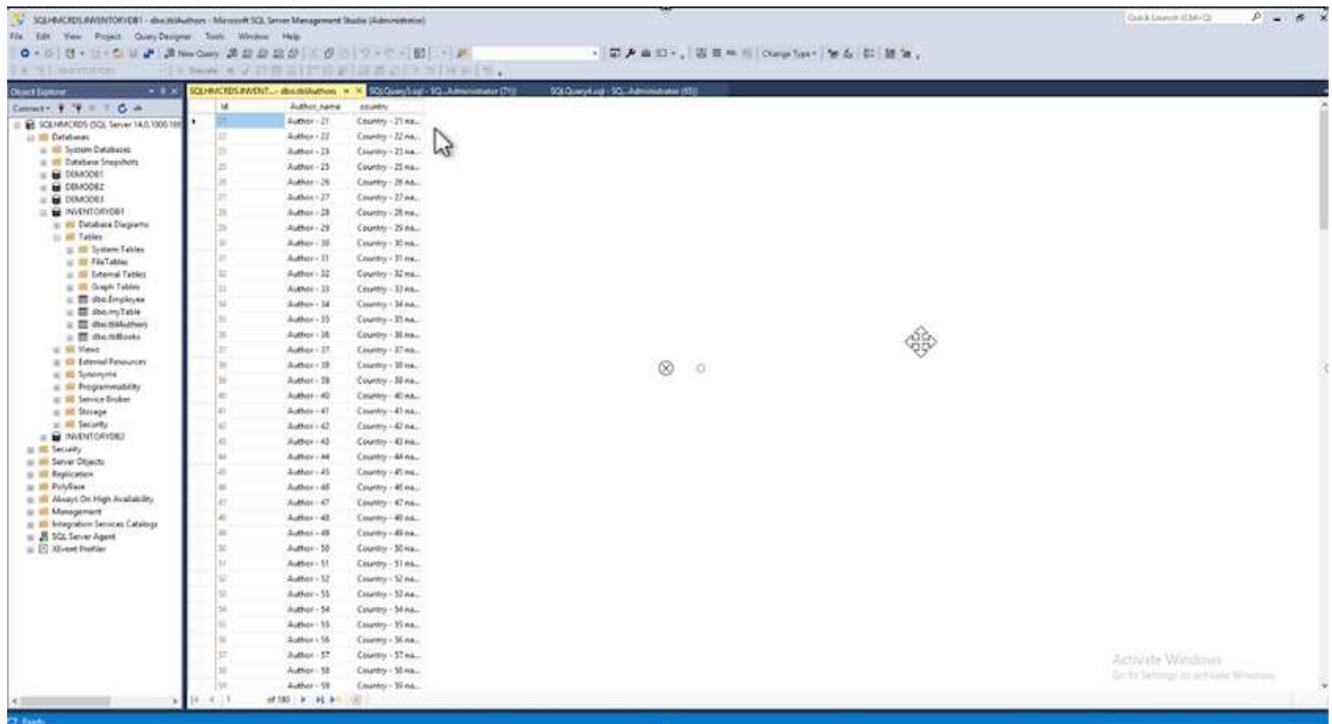
## SQL Server データベース上の削除されたテーブルを特定の時点で復元する

SQL Server データベースを特定の時点で復元するには、次の手順を実行します。

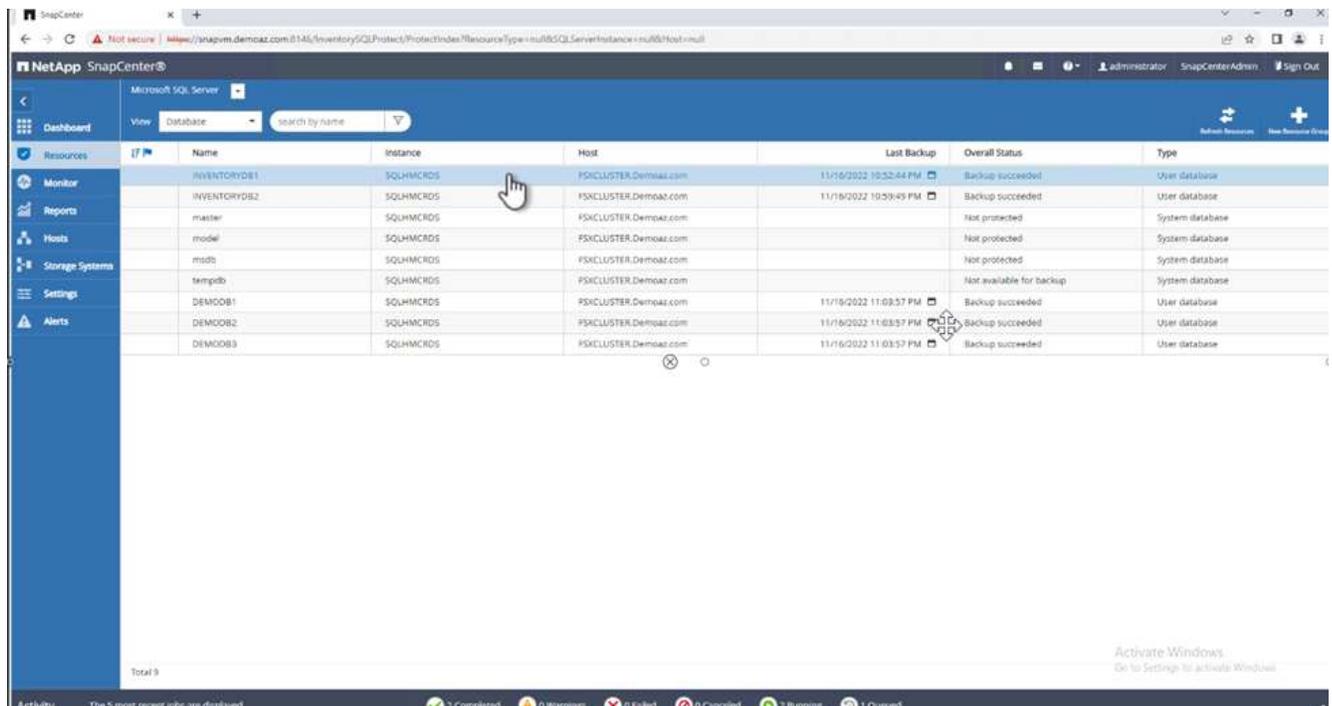
1. 次のスクリーンショットは、テーブルが削除される前の SQL Server データベースの初期状態を示しています。



スクリーンショットには、テーブルから 20 行が削除されたことが示されています。

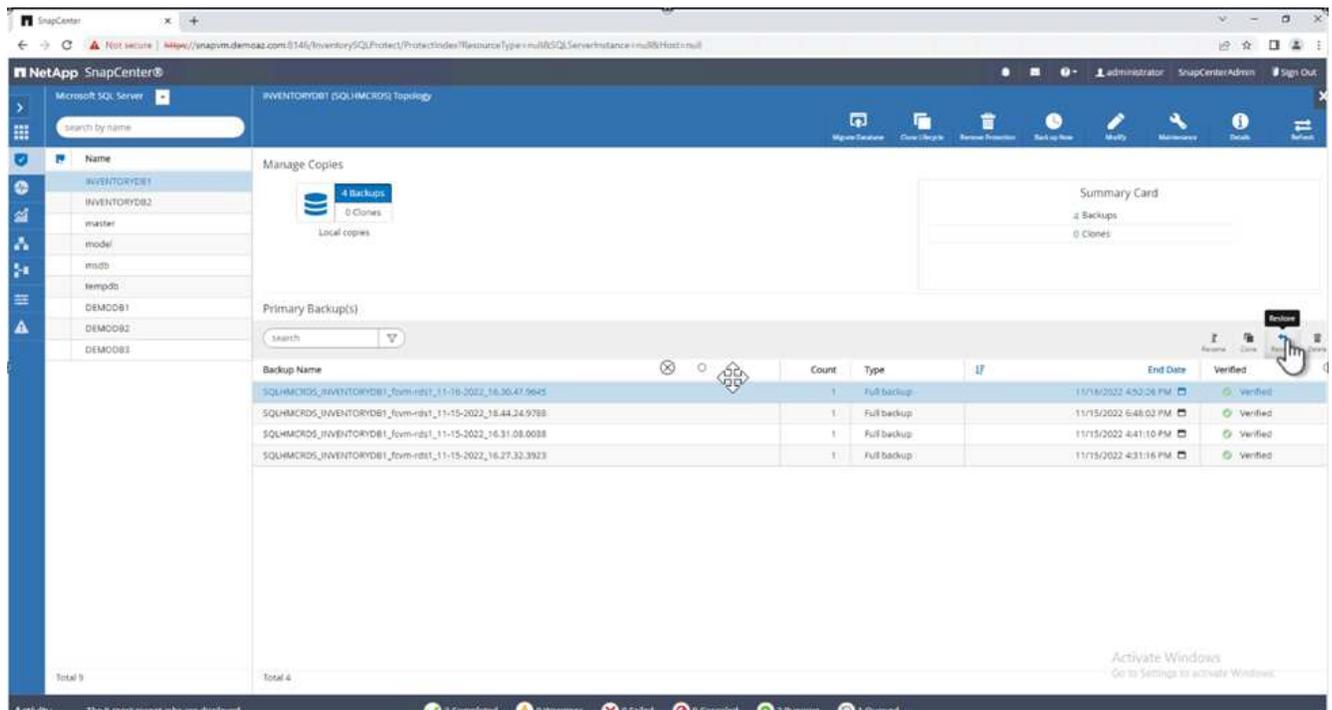


2. SnapCenter Server にログインします。 \*リソース\*タブからデータベースを選択します。

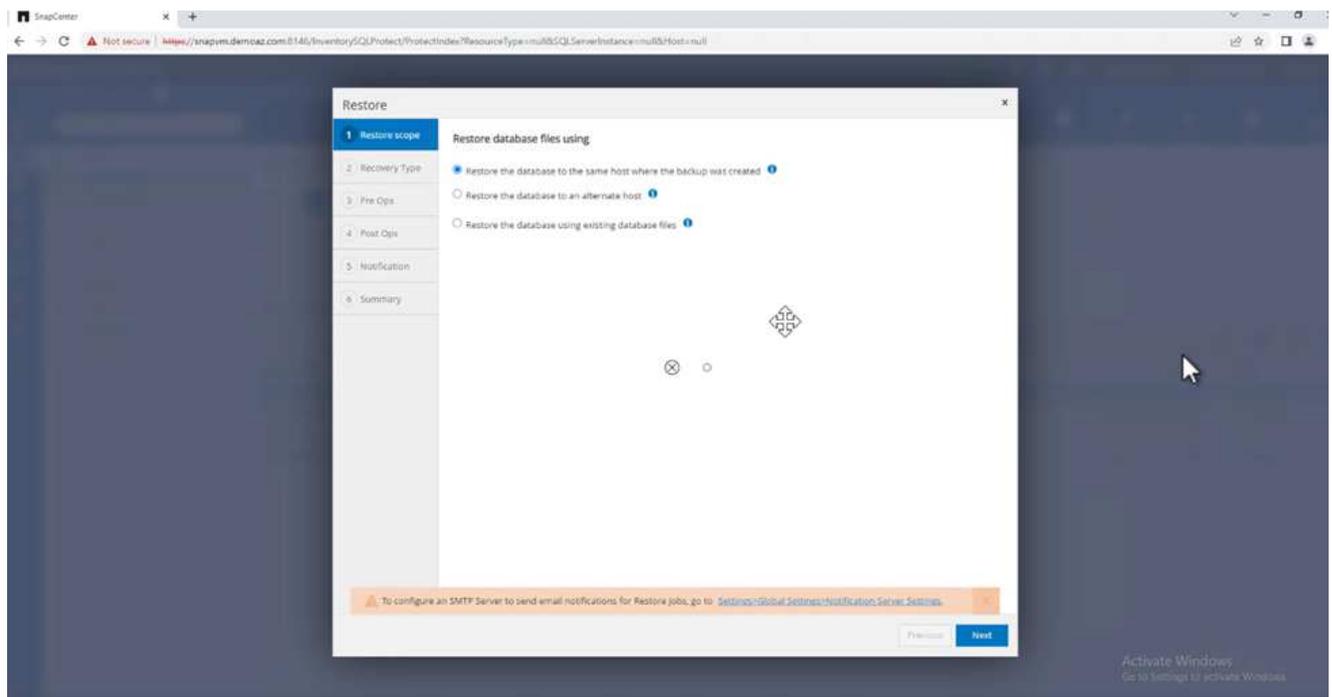


3. 最新のバックアップを選択します。

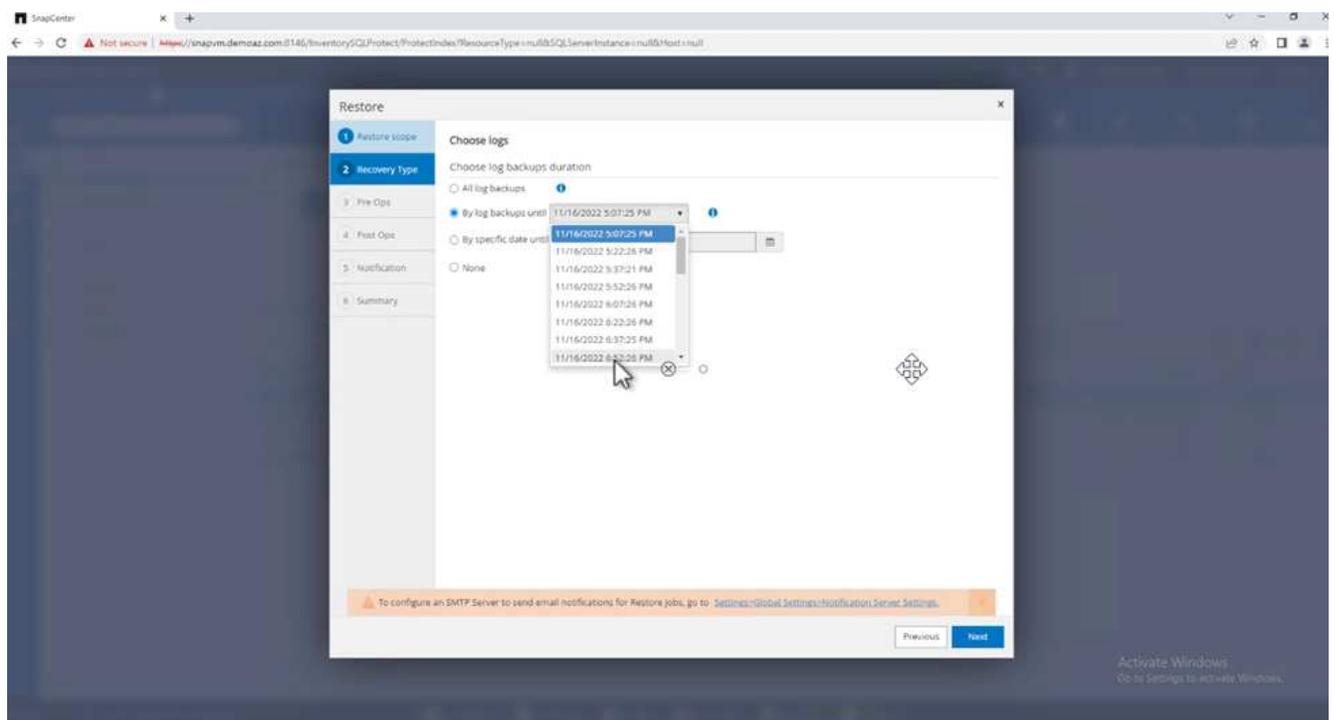
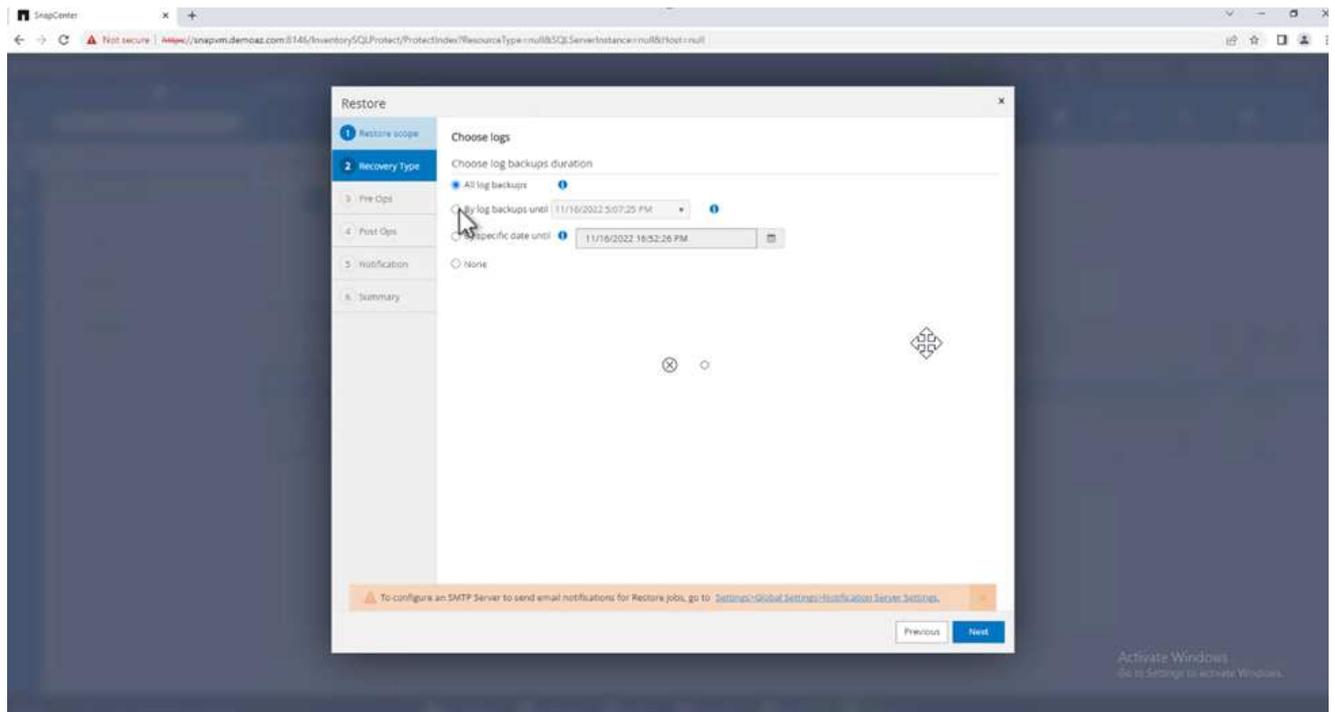
4. 右側で、[復元] を選択します。



5. 新しいウィンドウが表示されます。\*復元\*オプションを選択します。
6. バックアップが作成されたのと同じホストにデータベースを復元します。\*次へ\*をクリックします。

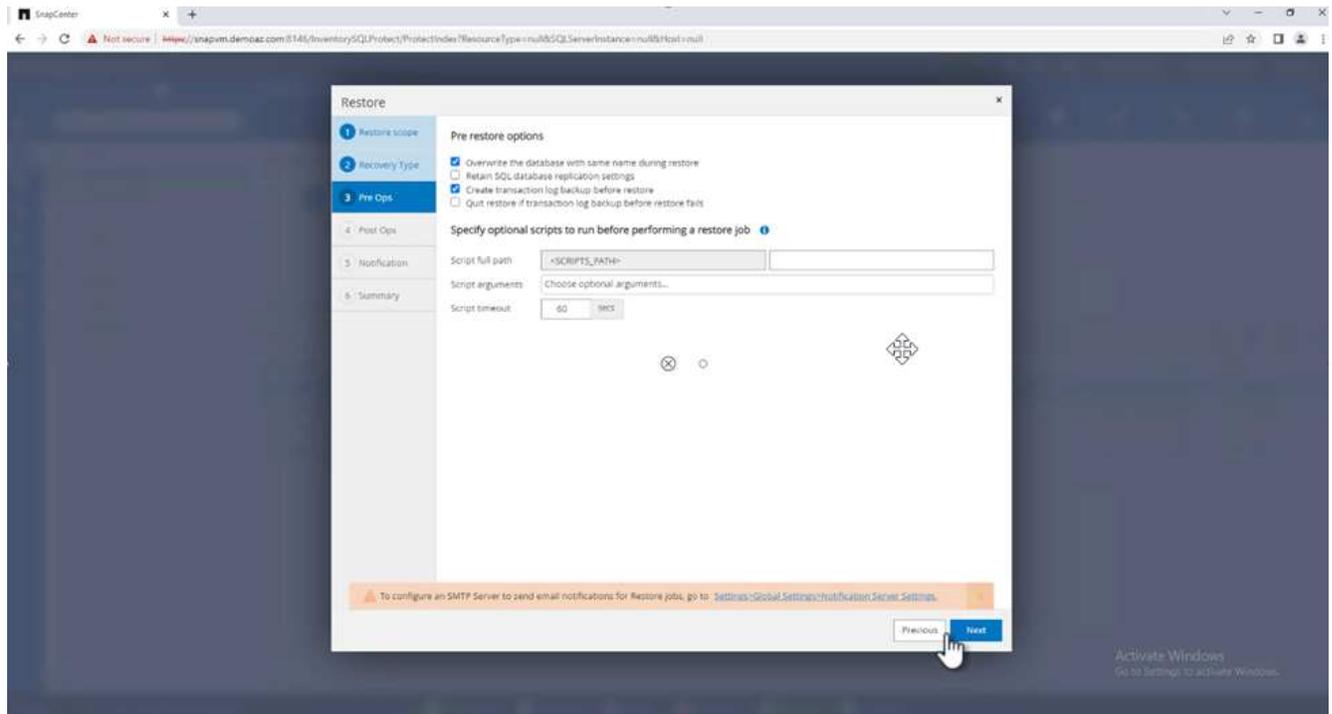


7. \*回復の種類\*では、\*すべてのログ バックアップ\*を選択します。\*次へ\*をクリックします。



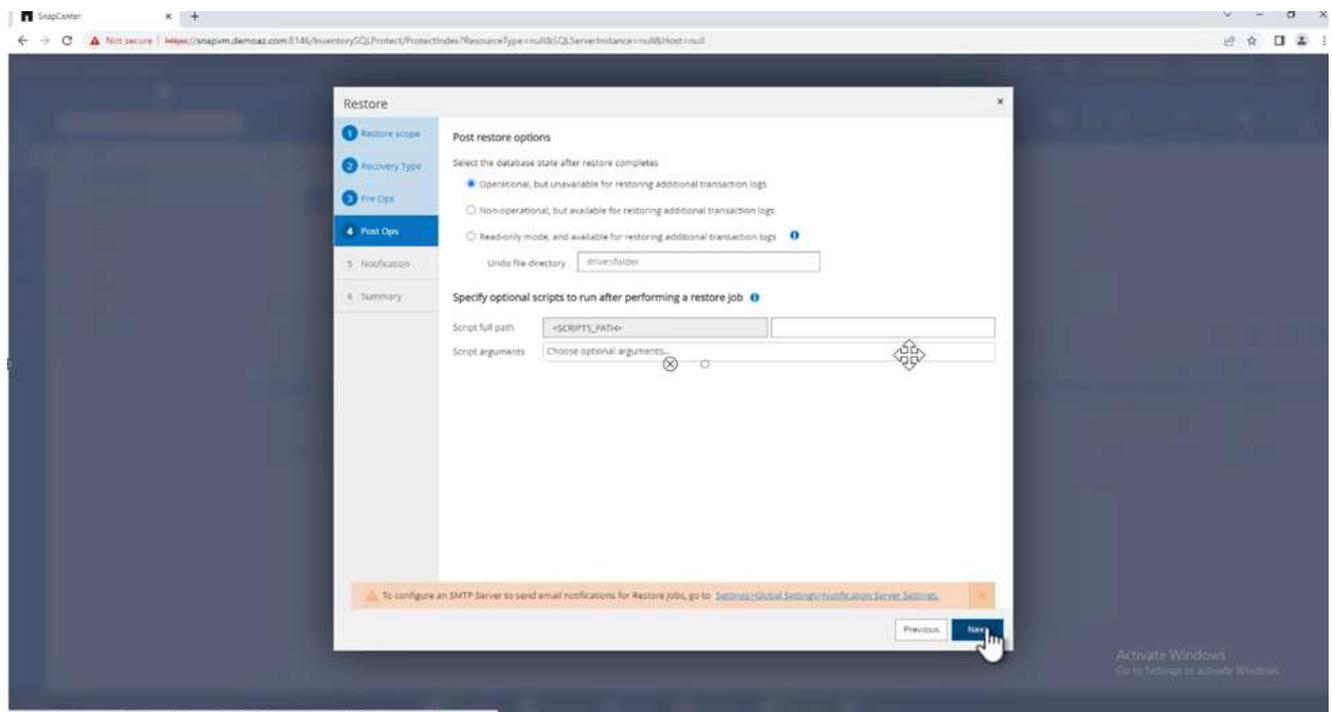
復元前のオプション:

1. \*復元中に同じ名前のデータベースを上書きする\*オプションを選択します。 \*次へ\*をクリックします。

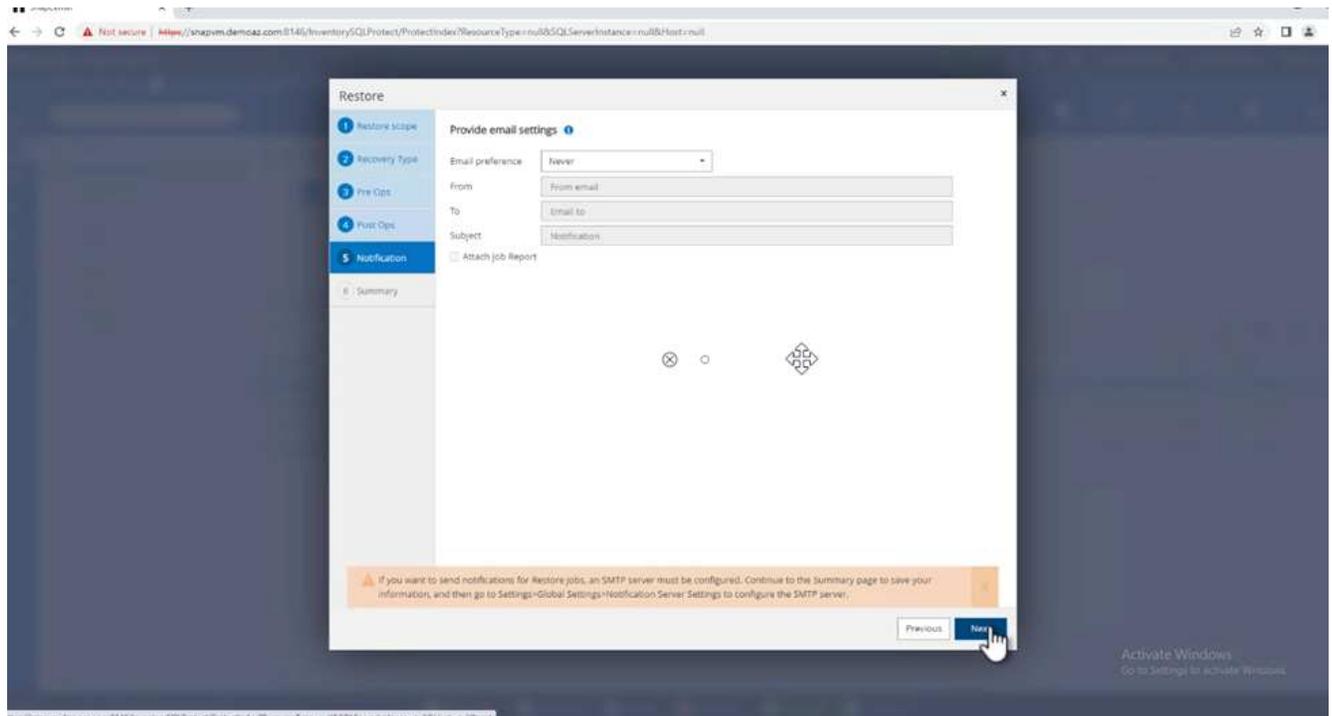


復元後のオプション:

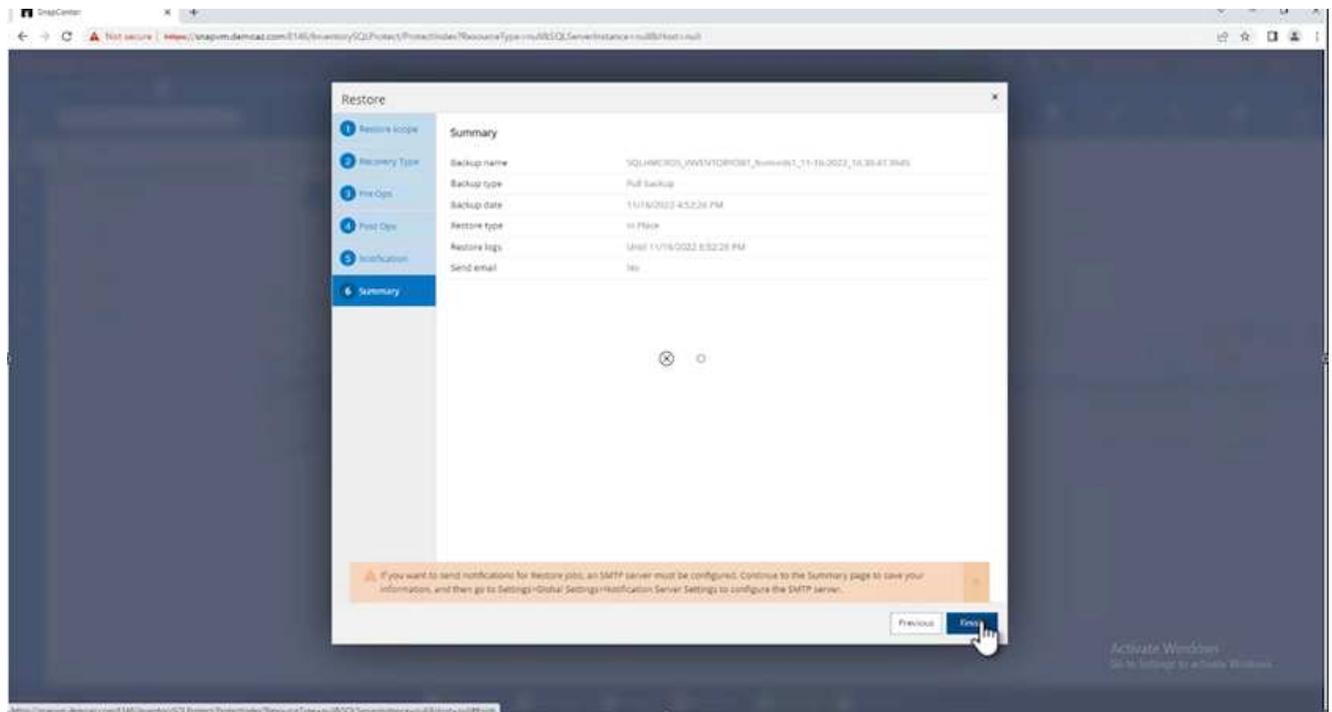
1. 操作可能だが、追加のトランザクション ログの復元には使用できません オプションを選択します。 \*次へ\*をクリックします。



2. 電子メール設定を指定します。 \*次へ\*をクリックします。



3. \*概要\*ページで\*完了\*をクリックします。



## 復元の進行状況の監視

1. 監視 タブで復元ジョブの詳細をクリックし、復元ジョブの進行状況を表示します。

The screenshot shows the NetApp SnapCenter Jobs page. The interface includes a search bar, a filter dropdown, and a table of jobs. A mouse cursor is pointing at the 'Info' icon in the top right corner of the table.

| ID  | Status | Name  | Start date             | End date               | Owner         |
|-----|--------|---|------------------------|------------------------|---------------|
| 174 | ✓      | Restore 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1'   | 11/16/2022 11:11:03 PM |                        | Administrator |
| 150 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 11:00:01 PM |                        | Administrator |
| 154 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 10:59:02 PM | 11/16/2022 11:10:54 PM | Administrator |
| 153 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB2' with policy 'InventoryDB2_MSIBackup'       | 11/16/2022 10:55:01 PM | 11/16/2022 10:58:50 PM | Administrator |
| 152 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 10:45:01 PM | 11/16/2022 11:10:54 PM | Administrator |
| 151 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 10:44:02 PM | 11/16/2022 10:55:53 PM | Administrator |
| 150 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 10:30:01 PM | 11/16/2022 10:55:54 PM | Administrator |
| 148 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 10:29:02 PM | 11/16/2022 10:40:53 PM | Administrator |
| 148 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 10:15:01 PM | 11/16/2022 10:40:53 PM | Administrator |
| 147 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 10:14:02 PM | 11/16/2022 10:25:53 PM | Administrator |
| 146 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 10:00:01 PM | 11/16/2022 10:25:53 PM | Administrator |
| 145 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 9:58:02 PM  | 11/16/2022 10:10:53 PM | Administrator |
| 144 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 9:45:01 PM  | 11/16/2022 10:10:53 PM | Administrator |
| 142 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 9:44:02 PM  | 11/16/2022 9:55:54 PM  | Administrator |
| 142 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 9:30:01 PM  | 11/16/2022 9:55:54 PM  | Administrator |
| 141 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 9:29:02 PM  | 11/16/2022 9:40:53 PM  | Administrator |
| 140 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 9:15:01 PM  | 11/16/2022 9:40:53 PM  | Administrator |
| 139 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 9:14:02 PM  | 11/16/2022 9:25:54 PM  | Administrator |
| 138 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 9:00:01 PM  | 11/16/2022 9:25:54 PM  | Administrator |
| 137 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 8:59:02 PM  | 11/16/2022 9:10:53 PM  | Administrator |
| 136 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 8:45:01 PM  | 11/16/2022 9:10:53 PM  | Administrator |
| 135 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 8:44:02 PM  | 11/16/2022 8:55:54 PM  | Administrator |
| 134 | ✓      | Backup of Resource Group 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1' with policy 'InventoryDB_logbackup_policy' | 11/16/2022 8:30:01 PM  | 11/16/2022 8:55:54 PM  | Administrator |
| 133 | ✓      | Backup of Resource Group 'RG1-DEMO00' with policy 'demoDB_logbackup_policy'                 | 11/16/2022 8:29:02 PM  | 11/16/2022 8:40:53 PM  | Administrator |

2. ジョブの詳細を復元します。

The screenshot shows the 'Job Details' dialog box for a restore job. The dialog lists the job name, the source resource group, and the steps of the backup process. A mouse cursor is clicking the 'Close' button at the bottom right.

**Job Details**

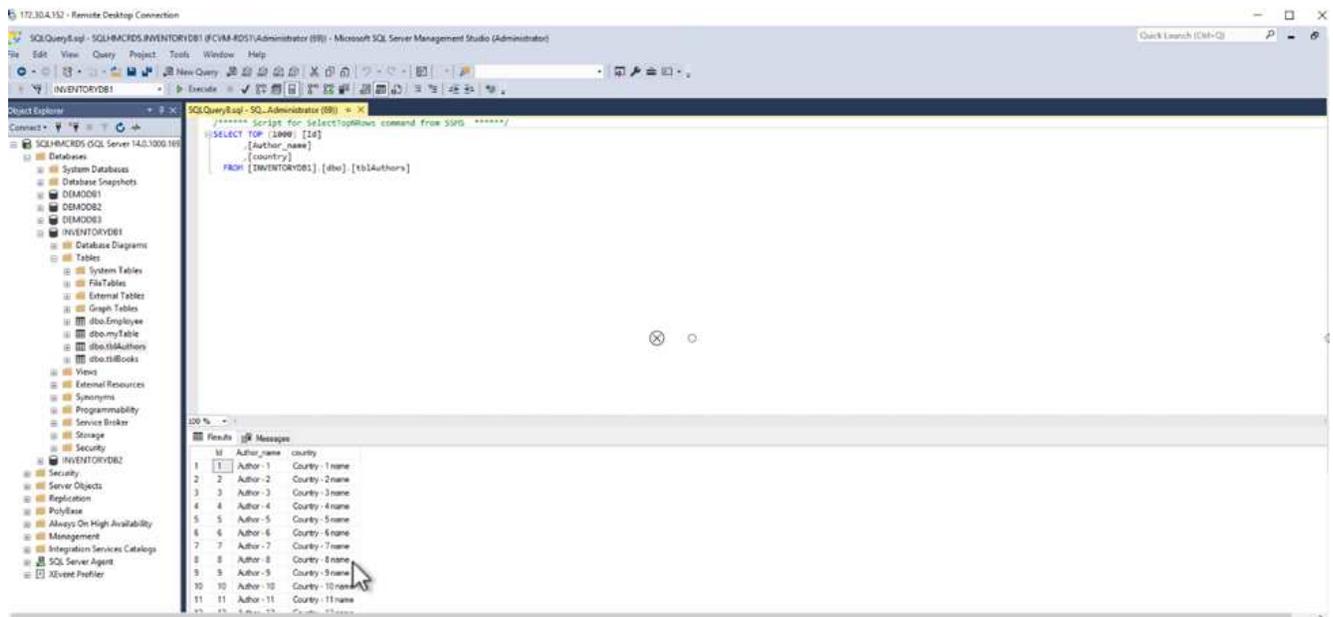
Restore 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1'

- Restore 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1'
- (Job 157) Tail log backup of 'SQLMCRD5\INVENTORYDB1'
  - FCVM-RD01.Demo02.com
  - Preparing for Backup
  - Creating SQL Backup
  - Finalizing Backup
  - Send EMS Messages
- FCVM-RD01.Demo02.com

Task Name: Send EMS Messages Start Time: 11/16/2022 11:18:54 PM End Time: 11/16/2022 11:18:54 PM

View Logs   Cancel   **Close**

3. SQL Server ホスト > データベース > テーブルに戻ります。



## 詳細情報の入手方法

このドキュメントに記載されている情報の詳細については、次のドキュメントや Web サイトを参照してください。

- "TR-4714: NetApp SnapCenterを使用した Microsoft SQL Server のベスト プラクティス ガイド"

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/12400-tr4714pdf.pdf>

- "データベースをリストアする際の要件"

"[https://docs.netapp.com/us-en/snapcenter-45/protect-scsql/concept\\_requirements\\_for\\_restoring\\_a\\_database.html](https://docs.netapp.com/us-en/snapcenter-45/protect-scsql/concept_requirements_for_restoring_a_database.html)"

- クローンデータベースのライフサイクルを理解する

"<https://library.netapp.com/ecmdocs/ECMP1217281/html/GUID-4631AFF4-64FE-4190-931E-690FCADA5963.html>"

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。